2020年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻

まえがき

本冊子は、皆さんが歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受けるうえで、知っておいていただきたい事項をまとめたものです。本専攻での履修を円滑かつ充実したものにするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項(シラバス)は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム(ドリームキャンパス)に、それぞれアクセスして参照してください。また、授業に関するお知らせや資料等も随時e-learning システムの WebClass に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いします。

2020年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」 を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端を行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健工学専攻〉

- 1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
- 2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
- 3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
- 4. QOLの向上に関わるものつくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。
- 5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
- 6.保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
- 7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件(東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則)を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の 実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基 礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健工学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

- 1. 全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の医療倫理、コミュニケーション学、 PBL テュートリアルで行うヘルスプロモーション等の履修をとおして、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。
- 2. 全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、さらに統合力を必要とする 卒業研究、再建工学包括臨床実習等の履修をとおして、学際的科学的視点と問題提起、解決能力を育成する。
- 3. 歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶ ことにより、最新の情報工学を駆使した歯科補綴装置作成の理論と実際への理解を深め、 新たな技術開発への基礎力を培う。
- 4. 高齢者歯科工学等の履修をとおして、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援する使命感を養う。
- 5. 全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語、グローバルロ腔保健工学実習等の履修により、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

歯学部長 依田 哲也

口腔保健学科口腔保健工学専攻では、「造形と製作加工の技術を科学的に裏付けされた 匠の技として発展させ、人々の健康に寄与する」ことを謳っています。口腔保健工学専攻 は、平成23年4月に歯学部附属歯科技工士学校を改組して新設されました。新時代の歯 科技工士の未来を拓く、世界のリーダーとなりうる人材の輩出を目指し、歯科技工の技術 だけに偏るのではなく、幅広い知識と専門的技能を有し、多方面で活躍できる人材の育成 を図っています。

本専攻の歴史は、昭和4年、本学の前身である東京高等歯科医学校に設置された技工士養成科にまで遡ります。この間、多くの人材を輩出し、国内はもとより、国際的に活躍する諸先輩も多く、歯科技工士養成学校として本学は高く評価されています。皆さんはすでに業界での地位の確立された大学に入学し、専門教育を受けるのですから、卒業時には当然、皆さんに対する社会的な期待も大きなものになります。その期待にこたえるべく、教育内容は十分に検討したものです。世界中どこと比較しても、胸を張れる教員組織、環境、設備、そして教育内容です。ひとつひとつの科目に真剣に取り組み、達成すべき項目をすべて修得すれば、本学科の卒業生として、どこに出ても自信を持って活躍できるはずです。

グローバル化する社会においても、皆さんに対する期待は増すばかりです。社会の期待にこたえて専門職業人として、歯科医療に貢献する、歯科保健工学に貢献する、そして業界のリーダーとして、業界の未来を築いていってくれることを願っています。皆さんの将来は輝かしい可能性に満ちています。どうか先生方を信頼し、同胞とともに助け合いながら、力いっぱい勉学に励み、自分の人生を切り開く基盤を形成してください。

お知らせ

2020年度の授業日程及び行事日程については、適宜変更となります。

目 次

| まえがき | |
|------------------------------------|----|
| 基本的理念 | |
| 一般教育目標 | |
| 口腔保健学科のディプロマポリシー | |
| 口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー | |
| 歯学部長あいさつ | |
| 東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(2018年度以前入学者) | 1 |
| 東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(2019年度以降入学者) | 12 |
| 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 | 17 |
| 東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項 | 19 |
| 東京医科歯科大学試験規則 | 21 |
| 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規 | 24 |
| ユニット試験(筆記試験)時の注意事項 | 25 |
| | |
| 学生周知事項 | |
| 歯科技工士国家試験について | 27 |
| 学生周知事項 | 29 |
| 災害関係連絡事項 | 35 |
| 学生・女性支援センター (5号館3階) について | 37 |
| 保健管理センター (5号館2階) について | 38 |
| 実習要件(抗体検査・ワクチン接種)について | 39 |
| 図書館 (M&Dタワー3・4階) について | 41 |
| 国立美術館キャンパスメンバーズについて | 43 |
| 1号館西・2号館・7号館の管理、使用について | 44 |
| 湯島キャンパス案内 | 48 |
| 1号館西6~8階平面図 | 49 |
| 2号館見取り図 | 50 |
| 2号館避難経路 | 51 |
| 7号館平面図 | 52 |
| 2020年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表 | 53 |
| 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻教員連絡先一覧 | 54 |

第 1 学年 履修ユニット

| 口腔保健工学概論 | 55 |
|---------------------------------------|-----|
| メディア情報学基礎 | 58 |
| 造形美術概論実習 | 60 |
| 早期臨床体験実習 | 62 |
| 人体の構造と機能 | 64 |
| 加工技術基礎 | 66 |
| | |
| | |
| the o where the transfer and the | |
| 第 2 学年 履修ユニット 科学英語 I | 68 |
| ヘルスプロモーション | |
| グローバルロ腔保健工学 | |
| 感染予防 | |
| う蝕と歯周病 | |
| り既と歯向柄 | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | |
| 全身疾患と治療の基礎 | |
| 歯の形態基礎実習 | |
| 歯の形態実習 | |
| 咬合学 | |
| 口腔保健理工学 | |
| 口腔保健理工学実習 | |
| 精密铸造学実習 | |
| 全部床義歯工学 | 96 |
| 全部床義歯工学実習 | 98 |
| 部分床義歯工学 | |
| 部分床義歯工学実習 I | 107 |
| 歯冠修復工学 | 109 |
| 歯冠修復工学基礎実習 | 110 |

第3学年 履修ユニット

| 科学英語Ⅱ | 113 |
|-----------------|-----|
| コミュニケーション学 | 115 |
| 歯科技工士と法律 | 117 |
| 口腔保健工学管理学 | 119 |
| 口腔外科工学 | 121 |
| 高齢者歯科工学 | 123 |
| 臨床咬合学 | 125 |
| 口腔保健工学特論 | 127 |
| 部分床義歯工学実習Ⅱ | 131 |
| 顎補綴工学 | 133 |
| 顎補綴工学実習 | 129 |
| 歯冠修復工学応用 | 136 |
| 歯冠修復工学応用演習 | 138 |
| 歯冠修復工学応用実習 | 140 |
| 審美修復工学 | 142 |
| 審美修復工学実習 | 144 |
| インプラント工学実習 | 148 |
| 発育口腔工学 | 151 |
| 小児歯科工学 | 153 |
| 矯正歯科工学 | 155 |
| 再建工学包括臨床実習 I | 159 |
| 医療倫理 | 164 |
| 卒業研究 I | |
| 口腔保健工学エクスターンシップ | |
| , | |
| | |
| 第4学年 履修ユニット | |
| 画像解析学 | 173 |
| スポーツ歯科工学 | |
| オーラルアプライアンス工学 | |
| CAD/CAMシステム工学実習 | |
| 再建工学包括臨床実習Ⅱ | |
| 卒業研究Ⅱ | |
| 卒業製作 | |
| 口腔保健工学エクスターンシップ | 204 |

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日 規 則 第 4 1 号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関して は、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この 規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

- 第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。
- 2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものと する。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目と する。

(授業時間)

- 第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
 - (2) 実習については、30時間から45時間
- 2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
 - (1) 学習目標を十分に満たすこと
 - (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保
- 3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

- 第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修 得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。
- 2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。
- 3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通 科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

- 第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。
- 2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。
- 3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業 科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得する ことができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われな ければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1 号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
- 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、 書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えら れたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄し たものとみなす。
- 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学 部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるもの とする。

(卒業認定)

第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則(平成16年規則第201号)は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則(平成16年規則第213号)は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学,転入学するものについては,改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学,転入学する者については,改正後の別表の規程にかかわらず,なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則(平成23年3月4日規則第15号)

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成23年 4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の 規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成24年2月3日規則第19号)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成24年3月30日規則第60号)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成24年 4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の 規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年3月29日規則第56号)

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1 (3)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成25年5月30日規則第73号)

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則(平成26年3月25日規則第8号)

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
 - (在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した 者にのみ改正後の別表1(7)を適用する。

(平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置)

3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1 (7)は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

| | 拉 米 利日 | 単位 | | | 履修対 | 象学年 | | |
|------|-------------------|----|----|----|-------------|-------------|----|----|
| | 授業科目 | 数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| | 医療リーダーシッ プ特論 1 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| | 医療リーダーシッ プ特論 2 | 1 | | 0 | | | | |
| | 医療リーダーシッ プ特論 3 | 1 | | 0 | | | | |
| 選択 | 医療リーダーシッ プ特論 4 | 1 | | | 0 | O (** 2) | | |
| 選択科目 | 医療リーダーシッ プ特論 5 | 1 | | | O (** 1) | | | |
| | 国際教養特論 1 | 1 | 0 | 0 | | | | |
| | 国際教養特論2 | 1 | | 0 | 0 | O (**2) | | |
| | 国際教養特論3 | 1 | | 0 | 0 | O (*2) | | |
| | 計 | 8 | | | | | | |

- ※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3 を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。
- ※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則(平成27年3月10日規則第16号)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年3月10日規則第17号)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年6月1日規則第140号)

(施行期日等)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年 12月1日において、現に本学に在学する者(以下「平成23年度以降に入学した在学者」とい う。)及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入 学、転入学又は編入学する者の別表1(4)の

| 1 | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|-----------------|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 包括臨床実習 | 41 | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| 」は、 「 | | | | | | | | | | | | | |
| 包括臨床実習 | 43 | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| ر ر | | | | | | | | | | | | | |
| 長寿口腔健康科学 コース | 2 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 168 | 1 ~ 6 | | | | | | | | | | | |
| 」は、 「 | | | | | | | | | | | | | |
| 長寿口腔健康科学 コース | | 2 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 168 | 1~ 8 | | | | | | | | | | | |

- 」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。
- 3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者 (以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。)及び平成27年4月1日以降に平成22 年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の 別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、 次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

| 授業科目 | 3 | 年 | 4 | 年 | 5 | 年 | 6 | 年 |
|------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 人体の構造と機能 | 0 | 0 | | | | | | |
| 生命の分子的基盤と | 0 | | | | | | | |
| 細胞の機能 | | | | | | | | |
| 病理 | | 0 | | | | | | |
| 感染と生体防御 | | 0 | | | | | | |
| 生体材料 | | 0 | | | | | | |
| 歯科放射線基礎 | | 0 | | | | | | |
| 歯科医療入門 | 0 | | | | | | | |
| 歯科医療基礎 | | | 0 | | | | | |
| 咬合育成・発達 | | | | 0 | | | | |
| う蝕と歯髄疾患 | | | | 0 | 0 | | | |
| 歯周病 | | | | | 0 | | | |
| 咬合回復 | | | | 0 | 0 | | | |
| 顎口腔医療 | | | | | 0 | 0 | | |
| 全身と歯科医療 | | | | | 0 | 0 | | |
| 臨床体験実習 | 0 | 0 | | 0 | | | | |
| 学年混合選択セミナー | 0 | | 0 | | 0 | | | |
| 課題統合セミナー | | 0 | | 0 | 0 | | | |
| 総合課題演習 | 0 | 0 | | | | | | |

| 研究体験実習 | | | 0 | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 臨床情報処理 | | | | | | 0 | | |
| 包括臨床実習 | | | | | | 0 | 0 | 0 |
| デンタルエクスターン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| シップ(選択科目)※ | | | | | | | | |
| 長寿口腔健康科学コ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ース(選択科目) | | | | | | | | |

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則(平成28年3月31日規則第70号)

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成28 年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別 表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1(2)の「

| Learning Medical English | | 0 | 0 | 0 | |
|--------------------------|--|---|---|---|--|
| | | | | | |

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則(平成28年3月31日規則第71号)

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成28年3月31日規則第73号)

(施行期日等)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(在学する者等に関する経過措置)

- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の(2)及び(3)のうち次に掲げる科目並びに(7)及び(8)を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
 - 別表1(2) 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ
 - 別表 1 (3) アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修(I)、短期海外研修(I)、短期海外研修(II)、短期海外研修(II)及び Learning Medical English
- 3 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

| 評価区分 | 評価 |
|------|-----|
| 秀 | A + |
| 優 | А |
| 良 | В |
| 可 | С |
| 不可 | D |

附則(平成28年11月7日規則第159号)

- 1 この規則は、平成29 年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及 び平成29 年4月1日以降に 在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別 表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、別表1(2)の「

| 実践看護英語 | | | | | | 0 | | |
|--------|--|--|--|--|--|---|--|--|
|--------|--|--|--|--|--|---|--|--|

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則(平成29年3月30日規則第50号)

- 1 この規則は、平成29 年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成29年4月1日以降に 在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の(2)のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
 - 別表1(2)実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則(平成29年3月31日規則第54号)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則(平成29年6月1日規則第68号)

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。 (在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の(1)のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
 - 別表 1 (1) 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、 研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムV

附 則(平成29年7月6日規則第101号)

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。 (在学する者等に関する経過措置)
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3(1)医学科(7)及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年12月27日規則第137号)

- この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する 附 則(平成30年5月8日規則第32号)
- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成30年 4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1(2)及 び(3)のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
 - 別表 1 (2) 国際保健福祉 A、国際保健福祉 B、国際保健福祉 C、国際保健福祉 D
 - 別表 1 (3) 短期海外研修 (A)、短期海外研修 (B)、短期海外研修 (C)、短期海外研修 (D) 生体医工学の科目については、平成 28年度入学者から適用する。

附 則(平成30年12月20日規則第119号)

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成27年 4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の 規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (1)~(5)省略

(6)口腔保健学科(口腔保健工学専攻)教育課程

| | | | 2 | 只 / 十 米 | | | | | 履修 | 学年 | | | |
|---|----------------|---------------|---|---------|-------------|---|---|---|----|----|---|---|---|
| | 区分 | 授業科目 | | 单位数 | 汉 | 1 | 年 | 2 | 年 | 3 | 年 | 4 | 年 |
| | 区 八 | 汉本行口 | | 選 | ; | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| | | | 修 | 択 | 由 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 |
| | | 口腔保健工学概論 | 1 | | | 0 | | | | | | | |
| | | 科学英語 I | 1 | | | | | 0 | | | | | |
| 基 | 21 W // ET ± | 科学英語Ⅱ | 1 | | | | | | | 0 | | | |
| 礎 | 科学的思考 の基盤 | ヘルスプロモーション | 2 | | | | | 0 | | | | | |
| 分 | の金温 人間と生活 | メディア情報学基礎 | 1 | | | | 0 | | | | | | |
| 野 | | コミュニケーション学 | 1 | | | | | | | 0 | | | |
| | | 造形美術概論実習 | 1 | | | | 0 | | | | | | |
| | | グローバルロ腔保健工学実習 | 1 | | | | | | 0 | | | | |
| | 歯科技工と 歯科医療 | 歯科技工士と法律 | 1 | | | | | | | 0 | | | |
| | | 感染予防 | 1 | | | | | 0 | | | | | |
| | | 口腔保健工学管理学 | 1 | | | | | | | | 0 | | |
| | | 早期臨床体験実習 | 1 | | | 0 | 0 | | | | | | |
| | | 口腔外科工学 | 1 | | | | | | | | 0 | | |
| | | う蝕と歯周病 | 1 | | | | | 0 | | | | | |
| 専 | | 高齢者歯科工学 | 2 | | | | | | | | 0 | | |
| 門 | | 口腔保健工学特論 | 1 | | | | | | | 0 | | | |
| 基 | | 人体の構造と機能 I | 2 | | | | 0 | | | | | | |
| 礎 | | 人体の構造と機能Ⅱ | 5 | | | | | 0 | 0 | | | | |
| 分 | | 画像解析学 | | 1 | | | | | | | | 0 | |
| 野 | 歯・口腔の 構造と機能 | 歯の形態実習 | 1 | | | | | 0 | | | | | |
| | | 歯の形態修復演習 | 1 | | | | | | 0 | | | | |
| | | 咬合学 | 1 | | | | | 0 | | | | | |
| | | 臨床咬合学 | 1 | | | | | | | 0 | | | |
| | ᅸᆉᇄᆉᆉᇄ | 加工技術基礎 | 1 | | | | 0 | | | | | | |
| | 歯科材料・歯科技工機器と | 口腔機材開発工学 | 1 | | | | 0 | | | | | | |
| | 加工技術 | 口腔保健理工学 | 2 | | | | | 0 | | | | | |

| | | | | | | 1 | 1 | | | | | |
|-----|-------------|------------------|----|---|--|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口腔保健理工学実習 | 2 | | | | 0 | | | | | |
| | | 精密鋳造学演習 | 1 | | | | 0 | | | | | |
| | | プロセスデバイス工学 | | 2 | | | | 0 | | | | |
| | | 顎補綴工学 | 1 | | | | | | | 0 | | |
| | | 顎補綴工学実習 | 2 | | | | | | | 0 | | |
| | | スポーツ歯科工学 | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | | オーラルアプライアンス工学 | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | 有床義歯 技工学 | 全部床義歯工学 | 2 | | | | 0 | | | | | |
| | - | 全部床義歯工学実習 | 3 | | | | 0 | | | | | |
| | | 部分床義歯工学 | 2 | | | | 0 | 0 | | | | |
| | | 部分床義歯工学実習 I | 4 | | | | | 0 | | | | |
| | | 部分床義歯工学実習Ⅱ | 1 | | | | | | 0 | | | |
| | | 歯冠修復工学基礎 | 2 | | | | | 0 | | | | |
| 専 | | 歯冠修復工学基礎演習 | 1 | | | | | 0 | | | | |
| 門 | | 歯冠修復工学基礎実習 | 4 | | | | | 0 | | | | |
| | | 歯冠修復工学応用 | 1 | | | | | | 0 | | | |
| | 歯冠修復 | 歯冠修復工学応用演習 | 1 | | | | | | 0 | | | |
| 野 | 技工学 | 歯冠修復工学応用実習 | 2 | | | | | | 0 | | | |
| | | 審美修復工学 | 1 | | | | | | 0 | | | |
| | | 審美修復工学実習 | 3 | | | | | | 0 | | | |
| | | CAD/CAM システム工学実習 | 1 | | | | | | | | 0 | |
| | | インプラント工学実習 | 1 | | | | | | | 0 | | |
| | 小児歯科 | 小児歯科工学 | 2 | | | | | | | 0 | | |
| | 技工学 | 発育口腔工学 | 1 | | | | | | | 0 | | |
| | 矯正歯科 技工学 | 矯正歯科工学 | 3 | | | | | | | 0 | | |
| | 歯科技工 | 再建工学包括臨床実習I | 4 | | | | | | | 0 | | |
| | 実習 | 再建工学包括臨床実習Ⅱ | 10 | | | | | | | | 0 | 0 |
| | | 医療倫理 | 1 | | | | | | | 0 | | |
| | | 卒業研究 I | 2 | | | | | | | 0 | | |
| . 1 | | | | | | 1 | | | | | 1 | |

| 統 | 総合口腔保健 | 卒業研究Ⅱ | 3 | | | | | | 0 | 0 |
|----|--------|---------------------|----|---|---|--|--|---|---|---|
| 合分 | 工学 | 卒業製作 | 3 | | | | | | | 0 |
| 野 | | ロ腔保健工学エクスターン シップ | | | 1 | | | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 97 | 5 | 1 | | | | | |

※ 選択科目から3単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

| | 授業科目 | | | | 履修対 | 象学年 | | |
|------------------|---------------------------|---|----|----|-----|-----|----|----|
| | 投 条件日 | 数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| | Moral and Political | 1 | C | 0 | C | C | 0 | C |
| | Philosophy for Medicine | - |) | |) |) | | 0 |
| | Introduction to Medical | 1 | 0 | | C | C | 0 | C |
| | Anthropology | ı | O | 0 | | O | | O |
| | Bio-social | 1 | 0 | 0 | C | C | 0 | C |
| | Research Methods | - |) | |) |) | | 0 |
| | Decision-making in the | 1 | C | 0 | 0 | C | 0 | C |
| 自 | Health Sciences | - |) | |) |) | | 0 |
| 自 由 科 目 | Problem-solving in the | 1 | C | 0 | C | С | 0 | C |
| 目 | Health Sciences (※) | • |) |) |) |) |) | |
| | Contemporary Japanese | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | Society | • |) |) |) |) |) | |
| | Applied Critical Thinking | 1 | 0 | 0 | С | С | 0 | C |
| | for Health Sciences | • |) | |) |) | | |
| | Fundamentals of Global | 1 | C | 0 | C | C | 0 | |
| | Health | | | | | | | |
| | 計 | 8 | | | | | | |

[※] 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

| 評価基準 | 評価 | 単位認定 |
|---------------------------|-----|------|
| 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した | A + | |
| 当該科目の到達目標を全て達成した | А | 合格 |
| 当該科目の到達目標を概ね達成した | В | 口伯 |
| 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した | С | |
| 当該科目の到達目標を達成していない | D | 不合格 |
| 到達目標の達成度を評価できない | F | 个百倍 |

別表3 (1)~(4)省略

- (5)口腔保健学科(口腔保健工学専攻)
- (1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 2学年に進級することができない。

口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、 人体の構造と機能I、加工技術基礎、口腔機材開発工学

(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3学年に進級することができない。

科学英語 I、ヘルスプロモーション、グローバルロ腔保健工学実習、感染予防、う蝕と歯周病、人体の構造と機能 II、歯の形態学実習、歯の形態修復演習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鋳造学演習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習 I、歯冠修復工学基礎、歯冠修復工学基礎演習、歯冠修復工学基礎実習

(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、 第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用演習、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習

(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 4学年に進級することができない。

科学英語 II、コミュニケーション学、歯科技工士と法律、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、口腔保健工学特論、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、歯冠修復工学応用、審美修復工学、インプラント工学実習、小児歯科工学、発育口腔工学、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習 I、医療倫理、卒業研究 I

別表 1 (1) ~ (5) 省略

(6)口腔保健学科(口腔保健工学専攻)教育課程

| | | | | 単位数 | | | | | | 履修 | 学年 | | | |
|----------|----------------|----------------|---|-----|---|------------|---|---|---|----|----|---|----|---|
| | 区分 | 授業科目 | | 干凹刻 | • | 時間数 | 1 | 年 | 2 | 年 | 3 | 年 | 4年 | |
| | | JXXII I | 必 | 選 | 自 | F.) [F] 3X | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 | 前 | 後 |
| | Г | | 修 | 択 | 由 | | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 | 期 |
| | | 口腔保健工学概論 | 1 | | | 15 | 0 | | | | | | | |
| | | 科学英語 I | 1 | | | 15 | | | 0 | | | | | |
| | | 科学英語Ⅱ | 1 | | | 15 | | | | | 0 | | | |
| | | ヘルスプロモーシ | 1 | | | 15 | | | 0 | | | | | |
| | | ョン | 1 | | | 13 | | |) | | | | | |
| 基 | 科学的思考 | メディア情報学基 | 1 | | | 15 | | 0 | | | | | | |
| 礎 | の基盤 | 礎 | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 人間と生活 | コミュニケーショ ン学 | 1 | | | 15 | | | | | 0 | | | |
| | | 造形美術概論実習 | 1 | | | 40 | | 0 | | | | | | |
| | | グローバルロ腔保 | 1 | | | 15 | | | | 0 | | | | |
| | | 健工学 | ' | | | 10 | | | | | | | | |
| | | グローバルロ腔保 健工学実習 | 1 | | | 45 | | | | | 0 | 0 | | |
| | | 歯科技工士と法律 | 1 | | | 15 | | | | | | | 0 | |
| | | 感染予防 | 2 | | | 30 | | | 0 | | | | | |
| | | 口腔保健工学管理学 | 1 | | | 15 | | | | | 0 | | | |
| 専 | 歯科技工と 歯科医療 | 早期臨床体験実習 | 1 | | | 30 | | 0 | | | | | | |
| 門 | | 口腔外科工学 | 1 | | | 15 | | | | | | 0 | | |
| 基 | | う蝕と歯周病 | 1 | | | 15 | | | 0 | | | | | |
| 一礎 一分 | | 高齢者歯科工学 | 2 | | | 30 | | | | | | 0 | | |
| 野 | | 人体の構造と機能 | 2 | | | 30 | | 0 | | | | | | |
| | # = *** | 口腔医学の基礎 | 2 | | | 30 | | | 0 | | | | | |
| | 歯・口腔の 構造と機能 | 全身疾患と治療の | 3 | | | 45 | | | | 0 | | | | |
| | 1舟坦 こ 1成形 | 基礎 | | 1 | | | | | | | | | | |
| | | 画像解析学 | | 1 | | 15 | | | | | | | 0 | |

| | | 歯の形態基礎実習 | 1 | | 45 | | 0 | | | | | |
|------|-------------------------|-------------------|---|---|-----|---|---|---|---|---|---|--|
| | | 歯の形態実習 | 1 | | 45 | | | 0 | | | | |
| | , | 咬合学 | 1 | | 15 | | 0 | | | | | |
| | | 臨床咬合学 | 1 | | 15 | | | | 0 | | | |
| | | 加工技術基礎 | 1 | | 15 | 0 | | | | | | |
| | | 口腔保健理工学 | 3 | | 45 | | 0 | | | | | |
| | 歯科材料・ 歯科技工機 器と加工技 | 口腔保健理工学実 習 | 2 | | 80 | | 0 | | | | | |
| | 術 | 精密鋳造学実習 | 1 | | 30 | | 0 | | | | | |
| | | プロセスデバイス 工学 | | 1 | 15 | | | | 0 | | | |
| | | 顎補綴工学 | 1 | | 15 | | | | | 0 | | |
| | | 顎補綴工学実習 | 2 | | 70 | | | | | 0 | | |
| | | 顔面補綴工学実習 | 1 | | 30 | | | | | 0 | | |
| | | 臨床義歯管理工学 | 1 | | 30 | | | | | 0 | | |
| | 有床義歯 | スポーツ歯科工学 | | 1 | 15 | | | | | | 0 | |
| | | オーラルアプライ アンス工学 | | 1 | 20 | | | | | | 0 | |
| | 技工学 | 全部床義歯工学 | 1 | | 20 | | 0 | | | | | |
| 専門 | | 全部床義歯工学実 習 | 3 | | 120 | | 0 | | | | | |
| 1 1 | | 部分床義歯工学 | 1 | | 20 | | | 0 | | | | |
| 分野 | | 部分床義歯工学実 習 I | 4 | | 160 | | | 0 | | | | |
| ± j' | | 部分床義歯工学実 習 Ⅱ | 1 | | 45 | | | | 0 | | | |
| | | 歯冠修復工学 | 2 | | 30 | | | 0 | | | | |
| | | 歯冠修復工学基礎 実習 | 4 | | 165 | | | 0 | | | | |
| | 歯冠修復 技工学 | 歯冠修復工学応用 実習 | 1 | | 30 | | | | 0 | | | |
| | | 審美修復工学 | 1 | | 15 | | | | 0 | | | |
| | | 審美修復工学実習 | 3 | | 120 | | | | 0 | | | |

| | | CAD/CAM システム 工学実習 | 1 | | | 45 | | 0 | | | |
|-----|--------------|----------------------|----|---|---|------|--|---|---|---|---|
| | | CAD/CAM システム 工学演習 | 1 | | | 15 | | | | 0 | |
| | | インプラント工学 実習 | 2 | | | 60 | | 0 | | | |
| | 小児歯科 | 小児歯科工学 | 1 | | | 17 | | | 0 | | |
| | 技工学 | 小児歯科工学実習 | 1 | | | 30 | | | 0 | | |
| | 矯正歯科 技工学 | 矯正歯科工学 | 2 | | | 36 | | 0 | | | |
| | | 再建工学包括臨床 実習 I | 4 | | | 180 | | | 0 | | |
| | 歯科技工 | 再建工学包括臨床 実習 II | 7 | | | 300 | | | | 0 | 0 |
| | 実習 | 再建工学包括臨床 実習Ⅲ | | 1 | | 45 | | | | | 0 |
| | | 統合基礎実習 | 2 | | | 70 | | | | 0 | 0 |
| | | 統合応用実習 | | 2 | | 60 | | | | | 0 |
| | | 医療倫理 | 1 | | | 15 | | 0 | | | |
| | | 卒業研究 I | 2 | | | 60 | | | 0 | | |
| //± | | 卒業研究Ⅱ | 6 | 1 | | 180 | | | | 0 | 0 |
| 統合 | 総合口腔保 健工学 | 卒業研究Ⅲ | | 1 | | 45 | | | | | 0 |
| 分 | ,~, | 卒業製作 | 3 | | | 135 | | | | 0 | 0 |
| 野 | | ロ腔保健工学エク スターンシップ | | | 1 | 45 | | | 0 | 0 | 0 |
| | | 計 | 95 | 8 | 1 | 3008 | | | | | |

[※] 選択科目から3単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

| | 授業科目 | | | | 履修対 | 象学年 | | |
|------|---|---|----|----|-----|-----|----|----|
| | 技未 科日 | 数 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 |
| | Moral and Political Philosophy for Medicine | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Introduction to Medical Anthropology | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Bio-social Research Methods | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 選 | Decision-making in the Health Sciences | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 選択科目 | Problem-solving in the Health Sciences (%) | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Contemporary Japanese Society | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Applied Critical Thinking for Health Sciences | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | Fundamentals of Global Health | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 8 | | | | | | |

[※] 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

| 評価基準 | 評価 | 単位認定 |
|---------------------------|-----|-------|
| 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した | A + | |
| 当該科目の到達目標を全て達成した | Α | 合格 |
| 当該科目の到達目標を概ね達成した | В | |
| 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した | С | |
| 当該科目の到達目標を達成していない | D | 不会故 |
| 到達目標の達成度を評価できない | F | · 不合格 |

別表 3 (1) ~ (4) 省略

- (5)口腔保健学科(口腔保健工学専攻)
 - (1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 2学年に進級することができない。

口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、 人体の構造と機能、加工技術基礎

(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 3学年に進級することができない。

科学英語 I、ヘルスプロモーション、グローバルロ腔保健工学、感染予防、 う蝕と歯周病、口腔医学の基礎、全身疾患と治療の基礎、歯の形態基礎実習、 歯の形態実習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鋳造学実習、 全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習 I、 歯冠修復工学、歯冠修復工学基礎実習

(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、 第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習、 インプラント工学実習

(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第 4学年に進級することができない。

科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、グローバルロ腔保健工学実習、 口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、臨床咬合学、顎補綴工学、 顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習、臨床義歯管理工学、審美修復工学、 CAD/CAM システム工学実習、小児歯科工学、小児歯科工学実習、矯正歯科工学、 再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。)第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

- 第2条 定期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに 履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。
- 2 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 3 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」 を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級)

- 第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。
- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(GP)

第4条 評価とGPとの対応は次のとおりとする。

| 評価 | A + | А | В | С | D | F |
|----|------|------|------|------|-----|-----|
| GP | 4. 0 | 3. 5 | 3. 0 | 2. 0 | 1.0 | 0.0 |

2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としGPA (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者(以下「在学者」という。) 及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の 規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成28年3月31日制定)

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則(平成28年10月19日制定)

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

| 評価区分 | 評価 |
|------|-----|
| 秀 | A + |
| 優 | А |
| 良 | В |
| 可 | С |
| 不可 | D |

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日 制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則(平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規(平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規(平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規(平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規(平成23年制定)に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

- 第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価(A+, A, B, C, D, F)を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。
- 2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。
 - (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
 - (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
 - (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目(成績表ではGPA除外科目として明示される)
 - (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目(シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

| | п пш~О | 11 ddo 101111 (d1 / 12.)(0/2 83 / 2 / 3) | | | |
|------------------------|---------------|---|--|--|--|
| 評 価 | GP | 評価基準 | | | |
| A + | 4. 0 | 当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した | | | |
| A 3.5 当該科目の到達目標を全て達成した | | | | | |
| В | 3. 0 | 当該科目の到達目標を概ね達成した | | | |
| С | 2. 0 | 当該科目の到達目標のうち最低限を達成した | | | |
| D | 1.0 | 当該科目の到達目標を達成していない | | | |
| F | 0.0 | 到達目標の達成度を評価できない | | | |

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目につい

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算 するものとする。

* GPAの計算式

当該年度のGPA=

(4×A+取得単位数+3.5×A取得単位数+3×B取得単位数+2×C取得単位数+1×D可取得単位数)

当該年度の総履修登録単位数

累 積GPA=

_(4×A+取得単位数+3.5×A取得単位数+3×B取得単位数+2×C取得単位数+1×D可取得単位数)

総履修登録単位数

- 2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修 取消とした科目の単位は含まない。
- 3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。 平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良を B、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成23年4月1日 規 則 第 1 号

(趣旨)

第1条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目(以下「授業科目」という。)の試験に関して、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則(平成16年規則第217号。)及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則(平成22年規則第41号。)に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第2条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第3条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

- 第4条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。
- 2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

- 第5条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。
- 2 定期試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。
- 3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。
- (1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の3分の2以上履修した者
- (2) 実習 当該授業科目の授業時間数の4分の3以上履修した者
- 4 定期試験の結果は、公示する。
- 5 第3項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、 歯学部又は教養部(以下「部局」という。)において別に定めることができる。

(共用試験)

- 第6条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験 (CBT) 及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験 (OSCE) をいう。
- 2 共用試験の実施日時は、試験実施日の2週間前までに公示する。
- 3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

- 第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。
- 2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。
- 3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、 その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。
- 4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。
- 5 試験の結果は、公示する。
- 6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において 別に定めることができる。

(再試験)

- 第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。
- 2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。
- 3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。
- 4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。
- 5 試験の結果は、公示する。
- 6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において 別に定めることができる。

(試験の成績)

- 第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。
- 2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部 歯学科において別に定める。

(成績の報告)

- 第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。
- 2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所 定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければな らない。

(罰則)

第11条 試験において不正行為があったときは、学則第58条の規定による懲戒 の手続きをとるものとする。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則(平成16年規則202号)は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則(平成16年規則214号)は廃止する。
- 4 この規則は、平成23年3月31日において現に医学部または歯学部に在学する者(以下「在学者」という。)及び平成23年4月1日以降在学者が所属する学年に再入 学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科 歯科大学 医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則(平成28年3月31日規則第74号) この規則は、平成28年4月1日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日 歯 学 部 長 制 定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則(平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。) 第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項 を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

- 第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット(以下「ユニット」 という。)について定期的に行う試験をいう。
- 2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。
- 3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻(以下、「各専攻」という。)において別に定める。

(追試験)

第4条 追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1. この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 2. 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者(以下「在学者」という。)及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、 転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

口腔保健科学生 各位

歯学部長 口腔保健学科教育委員長

ユニット試験(筆記試験)時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験(筆記試験)時に下記事項を遵守しない場合には不正行為 を行ったとみなす。

- 1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
- 1) 机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。 教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
- 2) テイッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティシュペーパー は袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
- 2. 遅刻は、ユニット試験開始30分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
- 3. ユニット試験開始30分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
- 4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製(撮影を含む)した場合、当該試験は無効となる。

参考:「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

(東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋)

| (1)代理(替玉)受験を行った場合又は行わせた場合 | 退学 |
|------------------------------|---------|
| (2) 許可されていないノート及び参考書等を参照した場合 | 停学 |
| (3) 答案を交換した場合 | 停学 |
| (4) その他、試験において不正行為を行った場合 | 停学または訓告 |

学 生 周 知 事 項 等

歯科技工士国家試験について

【試験の実施】

試験は毎年1回実施しますが、試験を施行する期日及び場所並びに受験願書の提出 期限等は9月初旬に官報で公告いたします。

平成27年度から全国統一国家試験になりました。以下に、令和2年2月に実施され た令和元年度歯科技工士国家試験について示します。

1. 試験日

令和2年2月16日(日)

2. 集合時間

各試験場とも午前9時15分までに受験番号に従い指定された試験会場に入室して ください。災害等によって試験の開始時間等に変更が生じた場合は、「一般財団法人歯 科医療振興財団」のホームページに掲載します。

3. 試験場(※本専攻は東京都の試験場で受験します。)

| | 受験地 | 試験場 | 所在地 | | |
|---|-----|------------------|---------------------|--|--|
| | 北海道 | 吉田学園医療歯科専門学校 | 北海道札幌市中央区南3条西1-11-1 | | |
| | 宮城県 | 東北大学歯学部(星稜キャンパス) | 宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号 | | |
| * | 東京都 | 日本歯科大学生命歯学部 | 東京都千代田区富士見 1-9-20 | | |
| | 大阪府 | 大阪歯科大学 (楠葉学舎) | 大阪府枚方市楠葉花園町8番1号 | | |
| | 福岡県 | 博多メディカル専門学校 | 福岡県福岡市博多区千代 4-32-1 | | |

4. 試験科目

学説試験:歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工

学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学及び関係法規

実地試験:歯科技工実技

5. 受験資格

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者
- (2) 都道府県知事の指定した歯科技工士養成所を卒業した者
- (3) 歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者
- (4) 外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技 工士免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記(1)から(3)までに掲げる者と 同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

6. 受験手続

試験を受けようとする者は、受験願書、卒業証明書若しくは卒業見込証明書、歯科 医師国家試験等を受けることができる者である旨を証する書類又は歯科技工士国家試 験受験資格認定書の写し及び写真(出願前6月以内に脱帽正面で撮影した縦6cm、横 4cmのもので、その裏面に撮影年月日及び氏名を記載すること)が必要です。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、当財団から 10 月下旬に各 学校・養成所に送付されます。

受験に関する書類は指定期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に提出してください。(本学では大学でまとめて送付します。)なお、卒業見込証明書を提出した者にあたっては、指定期日までに卒業証明書を提出してください。当該期日までに提出されないときは、当該受験は無効となります。(本学では大学でまとめて送付します。)

7. 受験手数料

受験手数料の額は30,000円です。

8. 試験当日の持参品

- (1) 受験票
- (2) HBの鉛筆(シャープペンシル不可)及び黒のボールペン、マジック
- (3)消しゴム(砂消しゴムは不可)
- (4) 昼食
- (5) 実地試験に必要な技工用器具
- (6) その他(電卓機能及びメールの送受信機能がある時計は使用を禁止)

9. 合格者の発表

合格者の発表は令和2年3月26日午後2時、一般財団法人歯科医療振興財団および厚生労働省において、受験地、受験番号を掲示して発表し、即日合格証書を郵送します。また、財団ホームページおよび厚生労働省のホームページでも合格者及び正答肢を発表します。

一般財団法人歯科医療振興財団: http://www.dc-training.or.jp 厚生労働省: http://www/mhlw.go.jp

10. その他

視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能に障害を有するもので受験を希望する者は、期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に申し出てください。申し出た者については、受験の際にその障がいの状況に応じて必要な配慮を講ずることがあります。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

教務連絡用掲示板は 2 号館 2 階、玄関脇に設置されている。また、e ラーニングシステム (WebClass) や電子メール (Webメール) によって連絡されることがあるので頻繁に確認すること。特にWebClassからのメールは重要事項が多いため、各自、転送設定をするなど行い、確実に見落とさないよう注意すること。

2. 学生証について

- (1) 学生証は常に携帯すること。
- (2) 学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課(1号館西1階)に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用(1,500円)は学生本人の負担とする。
- (3) 学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- (1) 課外活動または帰省等で JR 線を利用し、乗車区間が片道 100km を超える場合、旅客運賃の割引 (2割) を受けることができる。
- (2) 学割証の不正使用(第三者への貸与等)は絶対にしないこと。
- (3) 年間使用限度枚数は 1人 10枚 (1回につき 2枚まで)
- (4) 私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係(1号館西1階)に問い合わせること。
- (5) 学割証が必要なときは 5 号館 4 階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。利用日時:月曜日~金曜日、8:30~21:00問い合わせ先:学務企画課企画調査係(内線5075)

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

$\underline{http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html}$

- (1) 次に掲げるものは、歯学系教務係(歯科棟南 2 階)で発行するので歯学部証明書交付 願を記入し提出すること(受付時間 $8:30\sim17:15$)
 - (①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要する。)
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時:月曜日~金曜日、8:30~21:00)

(問い合わせ先:学務企画課企画調査係(内線 5074))

- ①在学証明書
- ②卒業見込証明書(第4学年在学者のみ)
- (3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係(1号館西1階)で発行する。
 - ①通学証明書(交通機関から請求された場合に限る)

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅 にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等(電話番号を含む)に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1)授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係(歯科棟南2階)へ提出すること。(病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。) 就職活動により欠席する場合は、別に定める(14の(6)に詳細を記載)。

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き 3 か月以上休学する場合は、休学願(保証人連署) を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。(病気の場合は、必ず医師の診断書 を添付すること。)

休学を許可される期間は、通算して 2年以内。 (特別の事情があるときは、さらに 1年以内の休学が許可されることがある。)

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願(保証人連署)を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。(病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。)

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願(保証人連署)を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院の実習中には必ずネーム プレートを着用すること。3年次後期からの病院実習では登院式で交付されるネームプレ ートを着用すること。

プレートは貸与とし(卒業時に要返却)、紛失または破損した場合は、再交付を受ける ものとする。この場合は実費を負担すること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール (例「OE2」)を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中(大学行事、課外授業を含む)の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」 の対象となる。(詳細は「キャンパスガイドブック」を参照すること。)

問い合わせ先:学生支援事務室(5号館3階)内線(5077)

http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

- (1)講義室、実習室、ロッカー室: 歯学系教務係(歯科棟南 2 階: 内線 5411) 学部防災センター(歯科棟北 1 階)
- (2) 上記(1) 以外: 歯学部総務課(歯科棟南 2階: 内線 5406)

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。 前期分授業料は 5月中に、後期分授業料は 11月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

- (1) 平日の午前 8時 30分から午後 5時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを 原則禁止
- (2) 歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。
 - 1) 聖門⇔1 号館、2 号館、7 号館
 - 2) 正門⇔1号館、2号館、7号館
 - 3) 御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇔1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター (歯学部時間外通用口)
- (3) 白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。
- (4) 臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、 私語を慎むこと。<u>歩きスマホは禁止です。</u>

(5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピューター、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピューター、タブレット端末、スマートフォンなどの携 帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) **当該授業に関係のない機器**を使用することを禁ずる。
- (2) 授業担当者あるいは授業補助者が、当該授業中に学生が授業と関係なく使用している と認めたときはこれを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。
- (3) 講義室および実習室でのスマートフォンの充電を禁ずる。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。

学生証を忘れた等でカードリーダーにタッチしなかった場合、当日中(できるだけ当該 授業時間内)に担当教員に申し出ること。後日に申し出た場合は欠席とする。

14. 授業の出席・欠席・遅刻・早退の取り扱いについて

- (1) 定期試験受験資格:講義科目の全授業時間数の 2/3 以上、実習・演習科目は3/4 以上出席しなかった者には定期試験の受験資格を与えない。
- (2) 出席率は各自ドリームキャンパスで確認すること。出席不良者に対して注意喚起をし、 科目責任者から学生に指導を行う。
- (3) 出席は基本的にはカードリーダーへの学生証のタッチによりカウントする。
- (4) 遅刻・早退の取り扱い:遅刻・早退を出席扱いとするか欠席扱いとするかは、授業担当教員が判断する。交通機関の事故等の理由で遅刻した場合は基本的には<u>遅刻扱い</u>とする。授業終了時に担当教員に遅延の証明となる書類を提出し、教員の判断を仰ぐこと。<u>後日の</u>提出は認めない。

(5) 病欠の扱い:原則として欠席とする。ただし、医師の診断を受けた者は欠席届と診断書を、出席可能となった最初の日から 1週間以内に歯学系教務係に提出すること。それ以後の提出は認めない。なお、学校保健安全法により出席停止となる病気に関しては出席扱いとなるので、出席可能となった最初の日から1週間以内に診断書を添付した欠席届を歯学系教務係に提出すること。

(6) 就職活動の取り扱い

就職活動の場合も原則として欠席とする。ただし、WebClassの0E1-4学生連絡コース内にある書式を用い、

- 1) 事前に担当教員(科目責任者)、科目毎に欠席届を提出し許可を得る。
- 2) 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを添付した報告書を担当教員に提出する。

以上2つの条件が満たされた場合には、就職活動による欠席を<u>総授業時間数に含めない</u>こととする。報告書は**欠席した翌日から1週間以内に**担当教員(科目責任者)に提出すること。 (7)忌引の取り扱い:忌引は出席扱いとする(父母・保証人7日以内、父母以外の直系親族3日以内)。ただし、欠席届と忌引を証明できる書類を出席可能となった最初の日から1週間以内に歯学系教務係に提出すること。それ以後の提出は認めない。

(8) 4年生の再建工学包括臨床実習・卒業研究・卒業製作の時間に関して カードリーダーへの学生証のタッチを行い、実習室から離れて実習・研究を行う場合は、 **第2実習室前方入り口外のインジケーターで所在を示す**こと。所在が不明の場合は欠席と することがあるので注意すること。

事由ごとの対応一覧表

| 事由 | 取り扱い | 提出(添付)書類 | 提出期限 | 提出先 |
|---------------|-----------------|---------------------|---------------------------|-------------------|
| カードリーダー | 授業担当 | なし | 当日 | 授業担当教員 |
| へのタッチ忘れ | 教員が判断 | 14 C | (当該授業時間内) | (科目責任者) |
| 遅刻 | 授業担当 | 期日が記された遅延 | 当日 | 授業担当教員 |
| 上 列 | 教員が判断 | 証明書 | | (科目責任者) |
| 病気・けが | 原則欠席 | 医師の診断書 | 出席可能となった最初 の日から 1 週間以内 | 歯学系教務係 |
| 出席停止とな る病気 | | | 出席可能となった最初 の日から 1 週間以内 | 歯学系教務係 |
| 就職活動 | 総授業時間数 に含めない | 報告書・就職活動を 証明する書類 | 事前に欠席届→欠席翌 日から 1週間以内 | 授業担当教員 (科目責任者) |
| 忌 引 | 出席 | 忌引を証明する書類 | 出席可能となった最初 の日から 1週間以内 | 歯学系教務係 |

15. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス(学籍番号下6桁にks@tmd. ac. jp)宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

16. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、5号館4階談話室内にあるメールボックスにて保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

(2) 事務の窓口

教 務 事 務: 歯学系教務係(歯科棟南 2 階、内線 5411)

授業料の納入: 財務施設部財務管理課収入管理係(1号館西3階、内線5048)

奨 学 金、授業料免除:学生支援事務室(5号館3階、内線5077)

奨学金: http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html
http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置(湯島地区)

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html

- ○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合
- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・夜間(午後6時以降)の授業を休講、夜間(午後6時以降)の試験を延期とする場合は、 午後4時までに公示する。
- ○首都圏における交通機関 (JR および大手私鉄・地下鉄など) が全面的に運転を休止している場合
- ・午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前6時30分までに公示する。
- ・午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・夜間(午後6時以降)の授業を休講、夜間(午後6時以降)の試験を延期とする場合は、 午後4時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。講義室や実習室等、2号館内にいる場合、教員の指示によりいったん2号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&Dタワー前の避難場所に移動する。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震(震度 5 強以上を想定)が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先: 歯学系教務係(歯科棟南 2 階) 03-5803-5411 なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

(学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報)

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認 のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム(https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/)にアクセスし、ID(学籍番号)とパスワード(初期値は ID と同じ)によりログインして自身の安否を入力すること。

安否確認システムに連絡先を登録すること。その際、<u>大学メール以外の連絡先(携帯の</u> メールアドレスや携帯電話番号など)も必ず登録すること。両方が登録されないと登録さ れたことにならないので注意してください。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。 (学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業(仕事)と家庭との両立に関することなど、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所:5号館3階 ・業務時間:月~金(平日)9:00~17:00

※連絡先は 03-5803-XXXX の下 4 ケタです

※HP: 本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

| 担当名 | 内容 | 連絡 先 | 備考 | НР |
|--|---|---------------|--|---|
| 学生支援室 | 生活支援、修学支援、就職支援、メンタル(保健管理センターと連携)に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関すること。 | | 個別に相談に応じています 〈学生支援室〉 相談時間:月~金(10:30~16:00) 1回50分 | 上記>学生 支援室/障 害学生支援 室 > 専用 Web サイト |
| 障害学生支 援室 | 障害によってハンディを被ることなく 修学できる様、個々人のニーズに合わせ た支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に 関する支援及びその相談。 | 4959/ 4571 | 《障害学生支援室》 相談時間:火・水・金(10:30~16:00) 1回50分 〈国府台キャンパス(保健管理センター内)〉 水曜日(12:00~14:00)相談に応じて います。希望者は事前に予約してくだ さい。 | (http://ww w.tmd.ac.j p/cmn/stdc /) |
| 男女協働参画支援室 | 今後の進路や生き方に関する支援及び その相談、妊娠・出産・育児と学業・仕 事との両立、保育園入園、介護に関する 支援及びその相談。マタニティ白衣の貸 出、キャリアに関する図書の貸出。 | 4921 | 個別に相談に応じています | 上記>男女 協働参展支 援室/保ラ 支援室サイト (http://ww |
| 保育支援室 | 病児保育、病後児保育、一時保育、お泊 り保育の利用に関する支援及びその相 談。授乳・搾乳室の設置。 | | 要予約 | w.tmd.ac.j p/ang/inde x.html) |
| ダイバーシ ティ・ ダイヤモン ド(DD)ユニ ット | 研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究との両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。 | 4921 | 順天堂大学・株式会社ニッピと連携して 女性研究者の研究力を強化する事業を 実施しています | 専用HP http://www .tmd.ac.jp /cmn/ddu/i ndex. |

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、 心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

| 名称 | 場所 | 連絡先 | 業務内容 |
|------------|---------------|--------------|-------------------|
| | | | 1. 健康相談 |
| 保健管理センター | 湯島 5 号館 2 階 | 03-5803-5081 | 2. メンタルヘルス相談 |
| | | | 3. 健康診断 |
| | | | 4. 健康診断証明書の発行 |
| 保健管理センター分室 | 国府台 シャン・ドゥ・コー | 047-300-7108 | 5. 応急処置・診察・治療(軽い怪 |
| | ズリー1 階 | | 我・風邪など) |
| | | | 6. 各種抗体検査・ワクチン接種 |

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表、もしくは当センター入り口に掲示してあります健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日~金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。その他、湯島では、 リフレッシュエリアにて、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドを使用する ことも可能です。

※現在、新型コロナウィルスの感染拡大の影響により、リフレッシュエリアは閉鎖しております。再開時期については、保健管理センターに適宜確認してください。

| 開室時間 | 湯島地区 | 8時45分~17時00分 | | |
|------|-------|--------------|--|--|
| 用主时间 | 国府台地区 | 9時45分~16時15分 | | |

ホームページ: http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html

下記が実施済であることを実習要件とする(2017年6月27日教育戦略会議にて決定)

- ・4 種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ·B型肝炎抗体価が陽性または non-responder (計 6 回ワクチン接種をしても陽性とならない)である
- ·T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である
- *ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする
- <4 種ワクチン接種>
 - ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
 - ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
 - ・妊娠していることが明らかな者
 - ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者
- 〈B型肝炎ワクチン接種〉
- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適当と判断された者

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

図書館について

- 1.場所:M&D タワー3階(カウンター、閲覧席等)、4階(閲覧席、情報検索室等)
- 2. 利用可能時間:

| 開館時間 | 平日 | 8:30~22:00 |
|---------|-----|-------------|
| | 土日祝 | 8:30~18:30 |
| (情報検索室) | 平日 | 9:00~21:00 |
| | 土日祝 | 11:00~17:30 |
| 休館日 | | 年末年始 |

※8・3月の土日祝10:00~18:30

- 3. 利用方法:(詳細は「図書館ホームページを参照してください。)
 - 図書館の利用には、利用証が必要です。ICカードタイプの学生証が利用証になります。 入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入 館はできますが、貸出ができません。
 - 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索(OPAC)でお調べください。
 - 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROMなどの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて5冊まで、貸出期間は図書は2週間、製本雑誌は1週間です。
 - 引き続き資料を利用したい場合、期限日内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
 - 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。(来館でのお申込みのみになります)
 - 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。(返却日は厳守してください) 開館時:カウンターに返却してください。

閉館時: M&D タワー1階、図書館入口のブックポストに返却してください。

- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
 - 出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。 図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお 支払いください。両替はできません。料金:モノクロ1枚 10円 カラー1枚 30円
- 情報検索室の PC が利用できます。(ただし、利用できない日もあります) ネットワーク の利用には学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 1 台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター(モノクロ、カラー・有料)から出力されます。 3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇(モノクロ、
- 利用したい資料が学内(講座・電子ジャーナル含む)になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。(紹介状は訪問希望日の3日前までにお申し込みください) 訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。(1月、7月は利用不可、3月貸出停止)
- 館内での飲食は原則禁止です。(本館では、3階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。)
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。
- 4. 問い合わせ先: 内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp ホームページ: https://www01s.ufinity.jp/tmdu/

カラー・有料)にあります。

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用すること と、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とす る制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

- 1. 対象: 本学の学部学生・大学院生・教職員
- 2. 特典:所蔵作品展の「無料観覧」(所蔵作品を持たない国立新美術館を除く) 特別展・共催展の「割引観覧」(学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金)
- 3. 利用方法:各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。
- 4. 利用機関:以下の3館

国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館

5. ホームページ: http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html http://www.campusmembers.jp/

1号館西・2号館・7号館の管理、使用について

- 1. 1号館西・2号館・7号館の出入口の施錠(平日)について
 - 1号館西出入口

1号館西 正面玄関 終日出入可(防災センター管理)

1号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2 号館出入口

2階正面玄関解錠7:00施錠18:002階外階段解錠7:00施錠18:00

2 階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチする

ことで外から入ることが可能です。

歯科棟出入口

歯科棟南1階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ること

が可能です。2階に歯学系教務係があります。

7 号館側接続口 1・4 階は出入不可、2・3・5 階はカードリーダーに学生証

をタッチすることで外から入ることが可能です(ただし、実

習により病院を訪れる場合に限ります)。

7号館出入口

1 階聖門側、EV 前 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口(東側1~6階) 1階は解錠 7:00 施錠 18:00、

2~6 階は常時開放

1号館東接続口(2~5階) 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7 号館 1 階歯科棟側接続口、1 号館東接続口(2、3 階)は施錠すると出入りできません。

2. 1号館西・2号館・7号館内各室の施錠について

1号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2号館講義室 随時(口腔保健工学専攻教員が解・施錠)

7号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00 (教務指示による)

2号館学生ロッカー室 番号ロック制

- 3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について 講義室は、原則として目的外使用は許可しません。
- 4. 学生ロッカー室 (2号館3階) について
 - (1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。
 - (2) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。 学生ロッカー1 は男子学生が、学生ロッカー2 は女子学生が使用します。 また、各人の責任による破損等については各人の負担により原状回復してください。
 - (3) ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、 盗難に注意しましょう。 ロッカーでの盗難が多発しているので、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。ロッカーの鍵でのトラブル (開かない、閉まらないなど) などが生じた場合は速やかに口腔保健工学専攻教員に申し出ること。
 - (4) ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - (5) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。
 - (6) 飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。
 - (7) ロッカー室でサークルの集会をしたり、マージャン等をしたりしないこと。

近年、2号館の電気使用量が増加しています。特に誰もいないロッカー室の電気やエアコンがつけっぱなしになっています。<u>節電を心がけてください。</u>

- 5. リフレッシュルーム (2号館) の使用について
 - (1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。
 - (2) 口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用します。
 - (3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。
 - (4) リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。
 - (5) リフレッシュルームに設置してあるパソコンやプリンターは共用で使用します。 インクや紙の補給などの管理は学生に任されています。
 - (6) 注意事項
 - ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物 は、適宜、予告なしに処分されます。
 - ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。
 - ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。
 - ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

- ・全員退出する際には電源を全て消すこと。
- ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの 連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたも のや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。
- ・リフレッシュルームは共用です。きれいに使用しましょう。<u>掃除もしてください</u>。
- (7) リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

近年、2 号館の電気使用量が増加しています。電気やエアコンなど、節電を心がけ、 エアコンの <u>設定温度</u> にも注意してください (大学推奨基準は夏 28℃、冬 19℃です)。

6. 歯学部リフレッシュルーム (7号館) の使用について

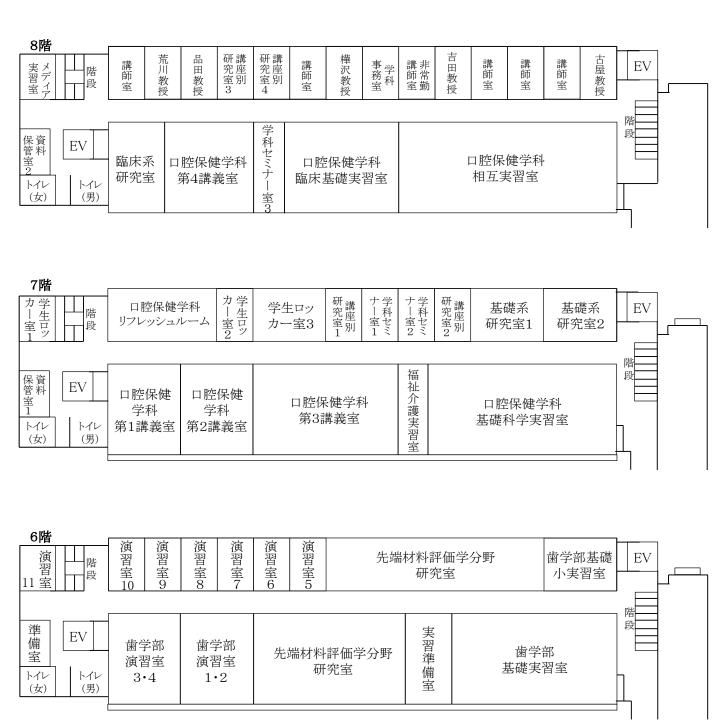
7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

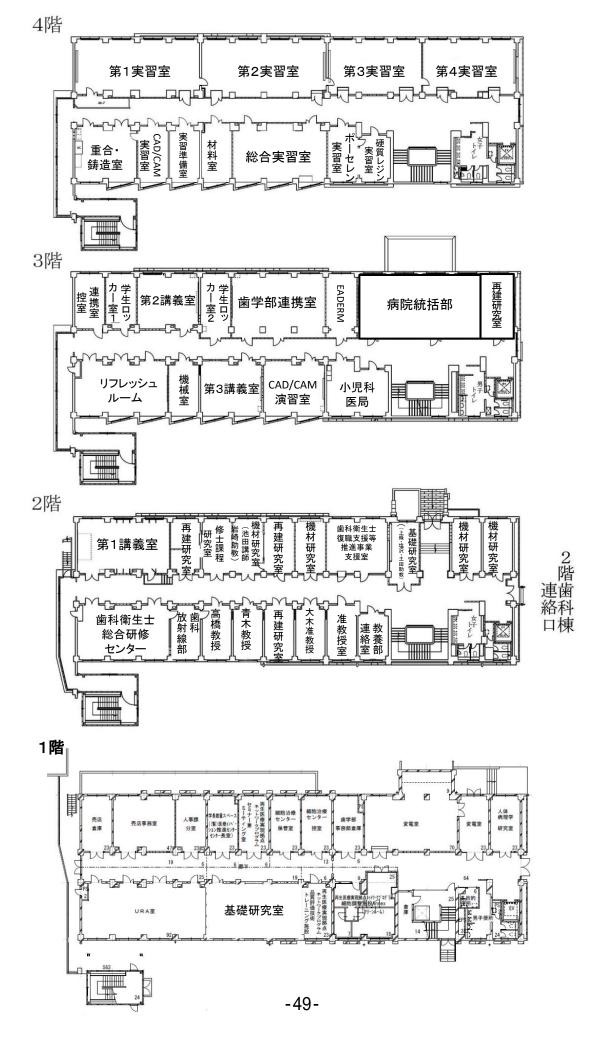
(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

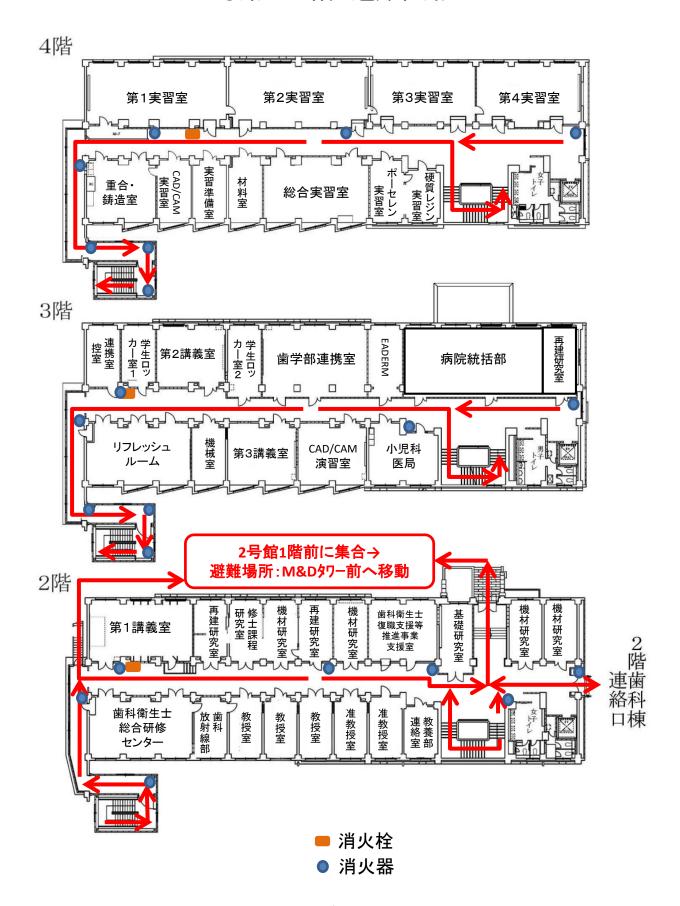
- (2) 利用する上での注意事項
 - 1) きれいに、清潔に利用すること。
 - 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
 - 3) 私物や貴重品は極力置かないこと (紛失は本人の責任になります)。
 - 4) 禁煙です。
 - 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとと もに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
 - 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
 - 7) ごみの始末は各自で行うこと。
- 7. 学生用ホワイトボード(リフレッシュルーム)の使用について
 - (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
 - (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

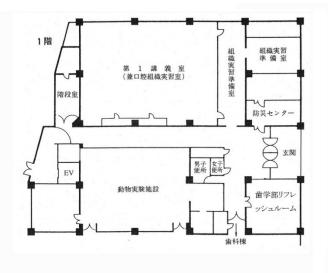
- 8. 講義室・実習室の使用について
 - (1) 講義室・実習室における**飲食は原則として禁止**します。特に <u>実習室内では安全</u> 上の理由から持ち込みも禁止します。ただし、脱水予防の理由から講義室では原則 として蓋のしまる飲み物のみ、休憩時間に許可します。休憩中にリフレッシュルー ムなどで飲食してください。4 階では、飲み物を置く場所を実習室外の廊下に指定 します。
 - (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
 - (3) 7 号館 7 階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
 - (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してご み箱に捨てること。
 - (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
 - (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
 - (8) 実習室に <u>私物のかばんや上着など実習に必要のないものを持ち込まない</u>こと。 各自のロッカーに保管してください。
 - (9) 白衣は実習室に放置しないこと。放置してある場合は予告なしに処分されます。
 - (10) 講義室および実習室でのスマートフォン等の充電を禁止します。
 - (11) 講義室は全学の予約システムで使用する場合もあるので、時間外は原則使用しないこと。時間外に実習室を使用する場合は、教員の許可を得て使用すること。使用終了時には教員に状態を確認してもらってから退出すること。

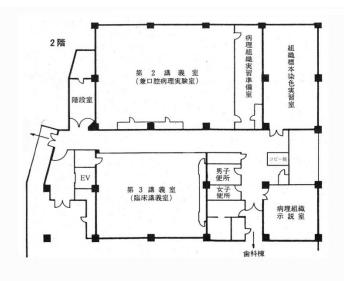


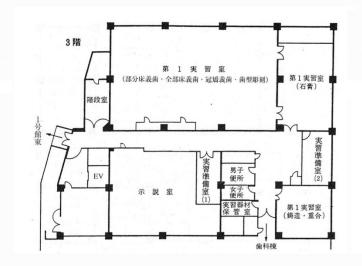


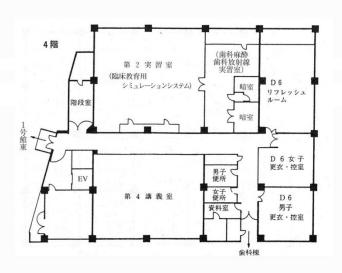
2号館2~4階 避難経路

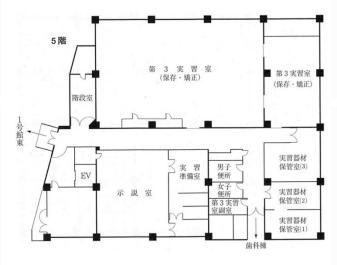


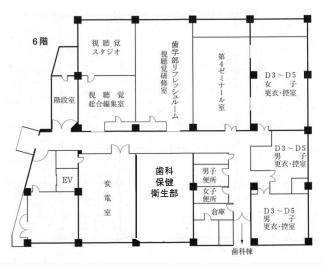












2020年度 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 専門科目授業計画表

第1学年

| | 学部専門科目 | 期間 | | |
|----|---------------------|-------------------------------|--|--|
| 前 | 「口腔保健工学概論」 | 2020/4/14 (火) ~ 2020/5/19 (火) | | |
| 期 | ' 口 圧 休 侹 工 于 讽 빼 」 | 5週 毎週火曜日 | | |
| | 「早期臨床体験実習」 | | | |
| | 「人体の構造と機能」 | | | |
| 後 | 「造形美術概論実習」 | 2020/10/6 (火) ~ 2021/2/2 (火) | | |
| 後期 | 「メディア情報学基礎」 | 16週 毎週火曜日 | | |
| | 「加工技術基礎」 | | | |
| | 専門科目試験 | 2021/2/9(火), 2021/2/16(火) | | |

第3学年

| | 区 分 | | 期間 | | | |
|----|---------------|------------|----------------|------------------|--|--|
| | 春 季 休 | 業 | 2020/4/1 (月) | ~ 2020/4/2 (木) | | |
| | 専門課程ガイダン | ス | 2020/4/3 (金) | | | |
| | 授 業 17 | 週 | 2020/4/6 (月) | ~ 2020/7/29 (水) | | |
| | 補 | 講 | 2020/6/19 (金) | | | |
| 前期 | カービングコンテス | . ト | 2020/7/21 (火) | | | |
| | オープンキャンパ | ス | 2020/7/30 (木) | ~ 2020/7/31 (金) | | |
| | 夏 季 休 | 業 | 2020/8/3 (月) | ~ 2020/8/31 (月) | | |
| | 補講および定期試 | 験 | 2020/9/1 (火) | ~ 2020/9/30 (水) | | |
| | 登 院 | 式 | 2020/9/7 (月) | | | |
| | 授 業 13 | 週 | 2020/10/1 (木) | ~ 2020/12/23 (水) | | |
| | 創 立 記 念 | 日 | 2020/10/12(月) | | | |
| | 補 | 講 | 2020/10/16(金) | | | |
| | お茶の水 | 祭 | 2020/10/17 (土) | ~ 2020/10/18 (日) | | |
| | 解 剖 体 追 悼 | 式 | 2020/10/22 (木) | 午後予定 | | |
| 後 | TOEFL 試 験・大 掃 | 除 | 2020/12/23 (水) | | | |
| 期 | 冬季休 | 業 | 2020/12/24 (木) | ~ 2021/1/5 (火) | | |
| | 授 業 6 | 週 | 2021/1/6 (水) | ~ 2021/2/12 (金) | | |
| | 補講および定期試 | 験 | 2021/2/15 (月) | ~ 2021/3/4 (木) | | |
| | 大 掃 | 除 | 2021/3/5 (金) | | | |
| | 春期特別臨床実 | 習 | 2021/3/8 (月) | ~ 2021/3/12 (金) | | |
| | 春 季 休 | 業 | 2021/3/15 (月) | ~ 2021/3/31 (水) | | |

第2学年

| N15 1 + | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----------|-----|------------|-------|------------|-----|--|
| 区分 | | | | | | | | | | 期間 | | | | |
| | 春 | | 季 | Į. | | 休 | τ . | | 業 | 2020/4/1 | (月)~ | 2020/4/2 | (木) | |
| | 専 | 門 | 課 | 程 | ガ | 1 | ダ | ン | ス | 2020/4/3 | (金) | | | |
| | 入 | 学: | 式(| 編 | 入 | 学: | 生(| か | (Y | 2020/4/6 | (月) | | | |
| 前 | 授 | | 弟 | ŧ | | 17 | 7 | | 週 | 2020/4/6 | (月) ~ | 2020/7/29 | (水) | |
| 期 | カ | _ | ビン | ب ر | ブ = | コン | ノラ | - ス | 7 | 2020/7/21 | (火) | | | |
| | ォ | _ | プ | ン | + | ヤ | ン | パ | ス | 2020/7/30 | (木)~ | 2020/7/31 | (金) | |
| | 夏 | | 季 | Ē | | 休 | τ . | | 業 | 2020/8/3 | (月) ~ | 2020/8/31 | (月) | |
| | 補 | 講 | お | よ | び | 定 | 期 | 試 | 験 | 2020/9/1 | (火) ~ | 2020/9/30 | (水) | |
| | 授 | | 茅 | ŧ | | 13 | 3 | | 週 | 2020/10/1 | (木) ~ | 2020/12/23 | (水) | |
| | 創 | | 立 | | 記 | | 念 | | П | 2020/10/12 | (月) | | | |
| | 補 | | | | | | | | 講 | 2020/10/16 | (金) | | | |
| | お | | 茶 | | の | | 水 | | 祭 | 2020/10/17 | (土) ~ | 2020/10/18 | (日) | |
| 後 | то | EFL | _ 討 | ţţ | 験 | • ; | 大 | 掃 | 除 | 2020/12/23 | (水) | | | |
| 期 | 補 | | | | | | | | 講 | 2020/11/24 | (火) | | | |
| | 冬 | | 季 | ٤ | | 休 | τ | | 業 | 2020/12/24 | (木)~ | 2021/1/5 | (火) | |
| | 授 | | j | 集 | | 6 | i | | 週 | 2021/1/6 | (水)~ | 2021/2/9 | (火) | |
| | 補 | 講 | お | ょ | び | 定 | 期 | 試 | 験 | 2021/2/10 | (水)~ | 2021/3/4 | (木) | |
| | 大 | | | | 掃 | | | | 除 | 2021/3/5 | (金) | | | |
| | 春 | | 季 | Ē | | 休 | τ | | 業 | 2021/3/8 | (月) ~ | 2021/3/31 | (水) | |

第4学年

| <u> </u> | ⋦サチキ ┌──────────────────────────────────── | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------|-----|--------|----------|----------|------------|-------|------------|-----|--|
| | | 区 | 分 | | | | | 期間 | | | |
| | 春 | 季 | | 休 | | 業 | 2020/4/1 | (月)~ | 2020/4/2 | (木) | |
| | 専 | 門課科 | 呈ガ | イク | ゛ン | ス | 2020/4/3 | (金) | | | |
| | 授 | 業 | | 16 | | 週 | 2020/4/6 | (月)~ | 2020/7/22 | (水) | |
| 前 | カ | ービン | グ = | ン | テス | \ | 2020/7/21 | (火) | | | |
| 期 | 試 | 験お | ょ | び | 補 | 講 | 2020/7/27 | (月)~ | 2020/8/7 | (金) | |
| | 夏 | 期特 | 別館 | 床 | 実 | 習 | 2020/8/3 | (月)~ | 2020/8/7 | (金) | |
| | 夏 | 季 | | 休 | | 業 | 2020/8/10 | (月)~ | 2020/8/14 | (金) | |
| | 夏 | 期特! | 別 | 床 | 実 | 習 | 2020/8/17 | (月)~ | 2020/9/30 | (水) | |
| | 授 | 業 | | 13 | | 週 | 2020/10/1 | (木)~ | 2020/12/23 | (水) | |
| | 創 | 立 | 記 | 急 | Š | 日 | 2020/10/12 | (月) | | | |
| | 補 | | | | | 講 | 2020/10/16 | (金) | | | |
| | お | 茶 | の | 가 | 〈 | 祭 | 2020/10/17 | (土) ~ | 2020/10/18 | (日) | |
| | 補 | | | | | 講 | 2020/11/24 | (火) | | | |
| | 冬 | 季 | | 休 | | 業 | 2020/12/24 | (木)~ | 2021/1/5 | (火) | |
| 後 | 授 | 業 | | 3 | | 週 | 2021/1/6 | (水)~ | 2021/1/22 | (金) | |
| 期 | 卒 | 業 製 | 作 | 発 | 表 | 会 | 2021/1/6 | (水) | | | |
| | 卒 | 業研 | 究 | 発 | 表 | 会 | 2021/1/8 | (金) | | | |
| | 国お | 家 よ び | 自 | 検 己 | 対 研 | 策 修 | 2021/1/6 | (水)~ | 2021/2/19 | (金) | |
| | 国 | 家 | | 試 | | 験 | 2021/2/21 | (日) | 未定 | | |
| | + | ャリア | ア | ップ | 研 | 修 | 2021/2/22 | (月)~ | 2021/3/4 | (木) | |
| | 大 | | 掃 | | | 除 | 2021/3/5 | (金) | | | |
| | 春 | 季 | | 休 | | 業 | 2021/3/8 | (月)~ | 2021/3/24 | (水) | |
| | 卒 | | 業 | | | 式 | 2021/3/25 | (木) | | | |

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教員連絡先一覧

| 分野名 | 氏名 | メールアドレス | |
|------------|-------|--------------------------|--|
| | 青木 和広 | kazu.hpha@tmd.ac.jp | |
| 口腔基礎工学分野 | 大木 明子 | moki.mfoe@tmd.ac.jp | |
| | 上條 真吾 | s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp | |
| | 高橋 英和 | takahashi.bmoe@tmd.ac.jp | |
| 口腔機材開発工学分野 | 岩崎 直彦 | iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp | |
| | 土田 優美 | yumi.bmoe@tmd.ac.jp | |
| 口腔機能再建工学分野 | 池田 正臣 | ikeda.csoe@tmd.ac.jp | |
| 口匠饿胎丹建工子汀野 | 塩沢 真穂 | m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp | |

第1学年 履修科目・ユニット

| 時間割番号 | 023501 | | | | | | | | |
|----------|--|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健工学概論 科目D DE-110100-Z | | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 土田 優勢 | 青木 和広, 土田 優美[AOKI KAZUHIRO, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:15 時間 授業形態:講義と演習

主な講義場所

歯学部演習室

授業の目的、概要等

自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をとおして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。

授業の到達目標

- 1. 口腔保健の概要を説明できる。
- 2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。
- 3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明できる。
- 4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。

授業計画

| | -/- | | | 123W07.D | 150 Alle - 1 - 1 | 1011410 | 144.44 |
|---|------|-------------|-------|-------------|-------------------|---------|-------------|
| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1 | 5/19 | 12:50-14:20 | TV 会議 | オリエンテーション、シ | 口腔保健と専門職を学ぶ意義、学 | 吉田直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | ナリオ1 | 習方法(PBL テュートリアル)、 | 青木 和広, | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | シナリオ提示、学習項目の検討 | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | | | | ープワーク |
| 2 | 5/26 | 12:50-14:20 | TV 会議 | 学習項目の発表、シナリ | ディスカッション、 シナリオ提 | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | 才2 | 示、学習項目の検討 | 青木 和広, | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | | | | ープワーク |
| 3 | 5/26 | 14:30-16:00 | TV 会議 | 学習項目の発表、シナリ | ディスカッション、 シナリオ提 | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | オ2 | 示、学習項目の検討 | 青木 和広 | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |

| r | | r | | | | | <u></u> |
|---------------|--------------|-------------|-------------|------------|--------------------------------------|--------|--|
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | | | | ープワーク |
| 4 | 6/2 | 12:50-14:20 | TV 会議 | 学習項目の発表、全体 | ディスカッション、全体発表項目、 | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | 発表準備 | 発表法の検討 | 青木 和広, | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | | | | ープワーク |
| 5 | 6/2 | 14:30-16:00 | TV 会議 | 学習項目の発表、全体 | ディスカッション、全体発表準備 | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | 5,2 | 50 10.00 | システム | 発表準備 | | 青木和広 | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | プレスール曲 | | 土田優美 | てください。到 |
| | | | 業) | | | 金木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | */ | | | 藤奏 | をロリネ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| | | | | | | 歴 矢 | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | 菜実、宮島沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | A 11 = | A 11 = | | ープワーク |
| 6 | 6/2 | 16:10-17:40 | TV 会議 | 全体発表準備 | 全体発表準備 | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | | | 青木 和広 | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI グル |
| | | | | | | | ープワーク |
| 7 | 6/9 | 12:50-14:20 | TV 会議 | 全体発表準備 | グループ課題発表、討論 | 吉田直美 | 最初に歯学部演 |
| | | | システム | | | 青木 和広, | 習室1-4に集合し |
| | | | (遠隔授 | | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | | | 業) | | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | | | | 藤奏 | テューターTA: |
| | | | | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | | | | CHEN WEI 課題 |
| | | | | | | | 発表 |
| 8 | 6/9 | 14:30-16:00 | TV 会議 | 全体発表 | グループ課題発表、討論、まとめ | 吉田 直美 | 最初に歯学部演 |
| | L 0/ 0 | 14.00 10.00 | ' ▼ △ □□双 | PT-7-02X | 7.7 7 PANCE JUSTS, BTIRMS, O.C. (8.7 | | 4人ハハー四・丁リアス |

| | システム | | 青木 和広, | 習室1-4に集合し |
|--|------|--|--------|-------------|
| | (遠隔授 | | 土田 優美 | てください。 到 |
| | 業) | | 鈴木 瞳 伊 | 達目標:1-4 |
| | | | 藤 奏 | テューターTA: |
| | | | | 中村 聡倭、石坂 |
| | | | | 菜実、宮島 沙 |
| | | | | 紀、越谷 寧、安 |
| | | | | 井 美夢 HSU |
| | | | | CHEN WEI 課題 |
| | | | | 発表 |

成績評価の方法

授業態度を加味し、出席状況(10 点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20 点)、全体発表の内容(20 点)、課題レポートの内容(50 点)で総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

口腔保健学科口腔保健衛生学専攻との合同講義である。

- ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。
- ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。
- ・事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
- ・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてから PBL に参加すること。

備考

PBL 方式の演習、グループワークによる課題発表をおこなう。

| 時間割番号 | 023505 | | | | | | | |
|----------|------------------|--|------|-------------|---|--|--|--|
| 科目名 | メディア情報学基礎 | | 科目ID | DE-110500-L | | | | |
| 担当教員 | 木下 淳博, 佐々木 | 木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 土田 優美[KINOSHITA ATSUHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA | | | | | | |
| | MASAYO, TSUCHIDA | Yuumi] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

科目名:メディア情報学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習

主な講義場所

M&D タワー 4階 図書館内 情報検索室(通常:3階図書館入口より入館、試験時:4階廊下からの入り口より入館)

授業の目的、概要等

口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。

授業の到達目標

- 1. 情報セキュリティー、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。
- 2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。
- 3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。
- 4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。

授業計画

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|-------|-------------|------|-------------|---------------------|--------|----------|
| 1 | 11/17 | 10:30-12:00 | 情報検索 | 情報セキュリティーと著 | 情報セキュリティー、著作権、フリ | 木下 淳博 | 講義・協力:情報 |
| | | | 室 | 作権、メディアコンテン | ーソフトによる静止画像処理演習 | 須永 昌代 | サービス係 |
| | | | | ツ作成演習1 | | | |
| 2 | 11/24 | 10:30-12:00 | 情報検索 | メディアコンテンツ作成 | フリーソフトによる静止画像処理と | 木下 淳博, | |
| | | | 室 | 演習 2 | パワーポイントによる動画作成演 | 須永 昌代 | |
| | | | | | 習 | | |
| 3 | 12/1 | 10:30-12:00 | 情報検索 | メディアコンテンツ作成 | フリーソフトによる動画像処理演 | 木下 淳博 | |
| | | | 室 | 演習3 | 習 | 須永 昌代 | |
| 4 | 12/8 | 10:30-12:00 | 情報検索 | メディアコンテンツ作成 | フリーソフトによる動画像処理演 | 木下 淳博, | |
| | | | 室 | 演習 4 | 習 | 須永 昌代 | |
| 5 | 12/15 | 10:30-12:00 | 情報検索 | 表計算演習 | エクセルによる集計、グラフ作成 | 木下 淳博, | |
| | | | 室 | | 演習 | 須永 昌代 | |
| 6 | 12/22 | 10:30-12:00 | 情報検索 | インターネット情報検索 | インターネットからの情報の収集 | 佐々木 好幸 | |
| | | | 室 | 演習 | と吟味 | | |
| 7 | 1/5 | 10:30-12:00 | 情報検索 | 課題発表(情報の収集と | 課題発表(情報の収集と吟味) | 佐々木 好幸 | |
| | | | 室 | 吟味) | | | |
| 8 | 1/12 | 10:30-12:00 | 情報検索 | 試験/課題発表(動画像 | WebClass による試験および課題 | 木下 淳博, | |
| | | | 室 | 処理) | 発表(動画像処理) | 須永 昌代 | |
| | | | | | | 佐々木 好幸 | |

成績評価の方法

各回の課題の達成度を約7割、最終回のWebClassによる試験の成績を約3割の比率で総括的評価を行う。

欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は0点として評価するので注意すること。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

履修上の注意事項

・各自 USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。

備考

口腔保健衛生学専攻と合同授業

| 時間割番号 | 023507 | | | | | | | |
|----------|------------|---|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 造形美術概論実習 | 造形美術概論実習 科目 ID DE-130700-E | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦 伊藤 恵 | 岩崎 直彦, 伊藤 恵夫, 高橋 英和[WASAKI NAOHIKO, ITO YOSHIO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

主な講義場所

第4実習室

授業の目的、概要等

造形美術の理論的背景を基に、補綴装置製作の基礎となる形態認識と造形に関する知識を習得し、観察力、認識力、造形力を養い、歯を立体的に認識し的確に造形できる能力を培う。

授業の到達目標

- 1. 形態認識と造形について学ぶ理由、目的、内容を理解し、説明できる。
- 2. 自分の意図した形態を作ることができるよう、造形力を向上させる。
- 3. 形態を客観的に見る力、すなわち観察力の向上をはかる。
- 4. パースペクティブの概要を理解する。
- 5. 色の三要素の理論を理解し、実際に使いこなす。
- 6. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。
- 7. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。
- 8. これまでに学んだ内容を基礎に、総合的に表現する。

授業計画

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|--------------|------------------|-------|-------------|
| 1-2 | 10/27 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 概論、表現と構成、観察 | 概論、描写(自画像) | 伊藤 恵夫 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | と表現 | | | |
| 3–4 | 11/10 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 観察と表現(平面)、線と | 大顔面、観察の重要性(キリン) | 伊藤 恵夫 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | 輪郭 | | | |
| 5–6 | 11/17 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 観察と表現(立体) | 立体の見え方(パース)、紙コップ | 伊藤 恵夫 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–8 | 11/24 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 色彩 | 色による表現(大顔面)1 | 伊藤 恵夫 | 到達目標: 2,3,6 |
| | | | 室 | | | | |
| 9–10 | 12/1 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 色彩 | 色による表現(大顔面)2 | 伊藤 恵夫 | 到達目標: 2,3,6 |
| | | | 室 | | | | |
| 11-12 | 12/8 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 色彩 | 色による表現(大顔面)3 | 伊藤 恵夫 | 到達目標: 2,3,6 |
| | | | 室 | | | | |
| 13-14 | 12/15 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 明度の表現 | グレースケールの作成、左右反転 | 伊藤 恵夫 | 到達目標:3,4 |
| | | | 室 | | | | |
| 15–16 | 12/22 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 造形(平面) | 描写(自画像)1 | 伊藤 恵夫 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | | |
| 17–18 | 1/5 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 造形(平面) | 描写(自画像)2 | 伊藤 恵夫 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | | |
| 19-20 | 1/12 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 造形(平面) | 描写(自画像)3 | 伊藤 恵夫 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | | |

成績評価の方法

毎回の提出物(作品)80 点,を総合的に判断し評価する。評価ポイントは、「観察力」「認識力」「表現力」。それに加え、出席状況(10 点)および授業態度(10 点)によって総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023512 | | | | | | | | |
|----------|--------------------|--|---------------------------|---------------|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 早期臨床体験実習 | 早期臨床体験実習 科目 ID DE-151200-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 塩沢 真 | 池田 正臣, 塩沢 真穂, 高橋 英和, 青木 和広, 大木 明子, 上條 真吾, 岩崎 直彦, 土田 優美, 樋口 和秀, | | | | | | | |
| | 礪波 健一[IKEDA MA | 礪波 健一[IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho, TAKAHASHI HIDEKAZU, AOKI KAZUHIRO, OKI MEIKO, KAMIJO | | | | | | | |
| | SHINGO, IWASAKI NA | OHIKO, TSUCHIDA Yuu | ımi, Kazuhide Higuchi, TO | NAMI KENICHI] | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:後期30時間授業形態:実習

主な講義場所

2号館第2講義室

2号館第1実習室

授業の目的、概要等

臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現況を知り、医療人としての基本的な姿勢を学ぶ。また、歯科技工士に求められる資質とは、人の健康の維持・増進に寄与し、健康で幸せな生活の実現のため専門的知識および技術をもって広く社会貢献することであることを認識する。

授業の到達目標

- 1. 歯科医療従事者に求められる態度を身につける。
- 2. 歯科医療が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を認識できる。
- 3. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を認識できる。
- 4. 歯科業界の市場と動向について説明できる。
- 5. 行動特性検査と分析結果を説明することができる。
- 6. 加齢に伴う高齢者の身体的変化を理解する。
- 7. 歯科材料、器械の扱いを説明することができる。
- 8. 歯科保険制度、国内外の歯科技工士、歯科医療の現状と補綴物のニーズについて説明できる。

授業計画

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-----|-------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|---------|
| 1-2 | 10/6 | 08:50-12:00 | 第2講義 | オリエンテーション 身 | 現在の歯科業界の動向と検証 | 高橋 英和 | 到達目標1-4 |
| | | | 室 | だしなみと態度 課題 | 医療現場での身だしなみと態度 | 青木 和広, | |
| | | | | 学習と発表会について | 課題学習法とスライドの作り方 | 上條真吾, | |
| | | | | | 保存修復治療のながれ | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 3–4 | 10/6 | 12:50-16:00 | 第2講義 | 歯科医療概論 資料 | 資料室見学、図書館の見学と利用 | 高橋 英和 | 到達目標1-4 |
| | | | 室 | 室、図書館の見学 | 方法、文献検索方法 | 青木 和広 | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 5 | 10/13 | 10:30-12:00 | 第2講義 | 歯科技工部·病院見学 | 歯科技工部の紹介 歯学部附属 | 池田 正臣, | 到達目標1-5 |
| | | | 室 | | 病院および歯科技工部の見学 | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | 行動特性検査登録(web) | 上條 真吾 | |
| 6-7 | 10/13 | 12:50-16:00 | | 歯科技工所見学 同窓 | 見学前レポート提出 中規模歯科 | 池田 正臣 | 到達目標1-3 |
| | | | | 会の役割 | 技工所の見学歯科技工士会、在 | | |
| | | | | | 京歯科技工士学校同窓会連絡会、 | | |
| | | | | | 技友会の役割と意義、活動内容 | | |
| | | | | | | | |

| 1000 | , | | , | | | | | |
|------|-------|-------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|------------|
| | 8 | 10/20 | 10:30-12:00 | 第2講義 | 高齢者疑似体験実習 | 見学後レポート提出 高齢者疑似 | 池田 正臣, | 到達目標6 |
| | | | | 室 | | 体験実習 | 礪波 健一 | |
| | 9–10 | 10/20 | 12:50-16:00 | | 歯科企業見学 | 見学前レポート提出 歯科材料メ | 池田 正臣, | 到達目標 1-4,7 |
| | | | | | | 一カーでの体験実習 | 高橋 英和 | |
| | 11 | 10/27 | 10:30-12:00 | 第2講義 | マーケティングリサーチ | 見学後レポート提出 歯科市場に | 池田 正臣 | 到達目標4,7 |
| | | | | 室 | 就職活動 | おける商品とサービスおよび将来 | | |
| | | | | | | 的なニーズ 就職活動の実際 | | |
| | 12-13 | 1/19 | 08:50-12:00 | 第2講義 | 将来のための自己分析 | 行動特性検査分析結果の解説 | 池田 正臣, | 到達目標5 |
| | | | | 室 | | 将来設計 | 樋口 和秀 | |
| | 14-15 | 1/26 | 08:50-12:00 | 第2講義 | 学習結果発表 | 課題に関する学習結果発表 | 青木 和広, | 到達目標8 |
| | | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | | 大木 明子 | |

- ・出席状況(10点)、歯科技工所・企業見学前後に提出するレポート(10点)、実習態度(見学への参加度を加味する、10点)
- ・学習成果発表(歯科保険制度、国内外の歯科技工士、歯科医療の現状と補綴物のニーズについて(発表時間 20 点、説明のわかりやすさ 20 点、スライドの論理性 20 点、質疑応答 10 点、合計 70 点)で総括的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科医院内、学外の歯科技工所の違いについて事前に調べておくこと。

教科書

必要に応じ、適宜資料の配布を行う。

参考書

必要に応じ、適宜資料の配布を行う。

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023517A | 23517A | | | | | | | |
|----------|-------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 人体の構造と機能 | 科目ID | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 田村 幸 | 青木 和広, 田村 幸彦, 片桐 さやか[AOKI KAZUHIRO, TAMURA YUKIHIKO, KATAGIRI SAYAKA] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:30 時間 授業形態:講義と実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第2講義室および第4実習室

授業の目的、概要等

骨の構造と機能を学ぶことを中心に、恒常性を維持するために素晴らしく構成されている人体の不思議に目を向け、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。骨が地上に生きるための支持器官であるとともに、全身と連関して内分泌器官として機能していることが発見されて来た経緯を学ぶことにより、科学的好奇心を鼓舞し、生物学研究に対する理解を深める。また、口腔内細菌が全身疾患と連関していることと新規薬物開発の過程と薬害について理解することにより、2年生科目である「全身疾患と治療の基礎」への橋渡しとする。

授業の到達目標

- 1. 骨の構造と機能を説明できる。
- 2. 骨を構成する細胞について説明できる。
- 3. 筋肉の起始停止を説明できる。
- 4. 破骨細胞、骨芽細胞の構造と機能について説明できる。
- 5. カルシウム代謝を理解することにより、生体の恒常性維持機構を説明できる。
- 6. 骨のリモデリング機構について説明できる。
- 7. カルシウム代謝の理解から、ホルモンのターゲットとなる腎臓、腸、骨の構造と機能を説明できる。
- 8. 中枢神経系、自律神経系、運動神経、感覚神経の構造と機能について概説できる。
- 9. 骨と中枢神経系との連関について発見された経緯について学ぶことにより、生物学の研究手法を説明できる。
- 10. 遺伝子改変マウスの作製に関して説明できる。
- 11. 細胞内シグナル伝達とその解析方法に関して概説できる。
- 12. 生物学と理工学との融合研究をとおした骨造成剤の開発について概説できる。
- 13. 新薬開発の過程と薬害に関して概説できる。
- 14. 口腔内細菌と全身疾患との関連、特に歯周病と糖尿病の関連を説明できる。
- 15. 恒常性維持機構など人体の合目的的な構造と機能について概説できる。
- 16. 歯の種類、方向、左右の区別について概説できる(口腔医学の基礎のイントロダクション)

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-----|-------|-------------|------|------------|-----------------|-------|------------|
| 1 | 10/13 | 08:50-10:20 | 第2講義 | はじめに、基礎医学に | 基礎医学の重要性 口腔におけ | 青木 和広 | 到達目標:1,2 |
| | | | 室 | ついて 口腔と骨 | る骨の重要性 | | |
| 2 | 10/20 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 骨にかかわる生体の恒 | 骨の機能にかかわる細胞とカル | 青木 和広 | 到達目標:1,2, |
| | | | 室 | 常性維持機構 | シウム代謝 | | 4–6, 15 |
| 3 | 10/27 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 支持器官としての骨の | 骨と筋肉、解剖用語の理解 骨の | 青木 和広 | 到達目標:1-4,6 |
| | | | 室 | 構造と機能 | リモデリング機構 | | |
| 4–5 | 11/10 | 08:50-12:00 | 第2講義 | 骨のリモデリング単位 | 骨の標本観察実習 顕微鏡の基 | 青木 和広 | 到達目標:1-6 |
| | | | 室 第4 | ハバース系 | 礎知識 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 6 | 11/17 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 生体の恒常性維持に働 | カルシウム調節ホルモンとそのタ | 青木 和広 | 到達目標:5,6 |
| | | | 室 | く器官の理解その1 | ーゲット器官 | | |
| 7 | 11/24 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 薬の開発と薬害 | 新薬の開発過程と問題となった薬 | 青木 和広 | 到達目標:13 |
| | | | 室 | | 害について | | |

| 8 | 12/1 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 生体の恒常性維持に働 | 腎臓と小腸の構造と機能 内分泌 | 青木 和広, | 到達目標:7,15 |
|-------|-------|-------------|------|------------|-----------------|--------|---------------|
| | | | 室 | く器官の理解その2 | 器官としての骨 | 田村 幸彦 | |
| 9 | 12/8 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 歯周病と全身疾患 | 歯周病と糖尿病との関連など口腔 | 青木 和広, | 到達目標:14 |
| | | | 室 | | 内細菌と全身との関連の理解 | 片桐 さやか | |
| 10 | 12/15 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 口腔細菌実習 | 口腔内細菌を顕微鏡で観察する | 青木 和広 | 到達目標:14 実 |
| | | | 室 第4 | | | | 習 |
| | | | 実習室 | | | | |
| 11 | 12/22 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 骨の多臓器連関 | 骨と神経系 内分泌器官としての | 青木 和広 | 到達目標: 7-9, 15 |
| | | | 室 | | 骨 | | |
| 12 | 1/5 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 生物学の研究手法の理 | 骨関連論文を用いた演習 骨造 | 青木 和広 | 到達目標:9-12 |
| | | | 室 | 解 生物学と理工学と | 成に必要な理工学との融合研究 | | 演習、グループ |
| | | | | の融合研究 | | | ワーク |
| 13 | 1/12 | 08:50-10:20 | 第2講義 | 人体の不思議について | 人体の合目的的な構造と機能に | 青木 和広 | 到達目標:1-15 |
| | | | 室 | 発表 | ついて理解する | | 課題発表 |
| 14-15 | 2/2 | 08:50-12:00 | 第2講義 | 人体の不思議について | 人体の合目的的な構造と機能に | 青木 和広 | 到達目標:1-16 |
| | | | 室 | 発表 「口腔医学の基 | ついて理解する 歯の種類、方 | | 課題発表 |
| | | | | 礎」の準備 | 向、左右を理解する準備 | | |

準備学習等についての具体的な指示

- ・平常点を重視する評価とするため、以下のような総括的な成績評価を行う。
- ・授業ごとの小テスト(10点)、期末の客観試験、論述試験(60点)、TBL方式などによる発表内容や討論の態度(10点)、提出レポートや組織スケッチ(20点)を総合的に評価するが、出席状況、授業態度を加味したものを最終評価とする。

なお、期末テストで6割未満の者は再試験とする。

教科書

新骨の科学 = Bone biology/須田立雄 [ほか] 編著 ; 田中栄 [ほか] 著須田, 立雄,小澤, 英浩,高橋, 栄明,田中, 栄(整形外科学),中村, 浩彰,森, 諭史,高橋, 直之,網塚, 憲生,遠藤, 直人,竹澤, 保政: 医歯薬出版, 2016

参考書

ヒューマンボディ: からだの不思議がわかる解剖生理学/Barbara Herlihy 著; 片桐康雄 [ほか] 監訳, Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐, 康雄,飯島, 治之,片桐, 展子,尾岸, 恵三子,:エルゼビア・ジャパン, 2008

現代歯科薬理学 = Current Dental Pharmacology/大谷啓一 監修,鈴木邦明, 戸苅彰史, 青木和広, 兼松隆, 筑波隆幸 編,大谷, 啓一, 1949--鈴木, 邦明,戸苅, 彰史,青木, 和広,: 医歯薬出版, 2018

備考

グループワークによる課題発表を行う。

| 時間割番号 | 023524 | 3524 | | | | | | | | |
|----------|--------------|------|------|-------------|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 加工技術基礎 | | 科目ID | DE-152400-L | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 高橋 英和 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 1 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第4 実習室

授業の目的、概要等

歯科技工で行う各種加工に用いる工具の原理と使用法を理解し、加工に必要な知識を修得する。

授業の到達目標

- 1. 切削加工の概念を説明できる。
- 2. 道具としての正しい箸の使い方を説明できる。
- 3. ナイフの安全な使用法を説明できる。
- 4. 鉛筆の正しい持ち方を説明できる。
- 5. ハンドピースでの研削の正しい方法を説明できる。
- 6. のこぎり、ハンマーの正しい使い方を説明できる。
- 7. 研磨材の正しい使い方を説明できる。
- 8. ブローパイプの正しい使い方を説明できる。
- 9. やすりの正しい使い方を説明できる。
- 10. 切削加工機の正しい使い方を説明できる。

授業計画

| | - | | | | | | |
|-----|------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|-------------|
| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 1/19 | 12:50-14:20 | 第4実習 | オリエンテーション、ハ | 加工学基礎概論、ハンマーでの釘 | 岩崎 直彦 | 到達目標:1-6,10 |
| | | | 室 | ンマーの使い方、のこぎ | 打ち、石膏棒の切断、ナイフによ | 高橋 英和 | |
| | | | | りでの切断、ハンドピー | る整形実習、ハンドピースによる | | |
| | | | | スでの削り方 | 整形実習 | | |
| 4–6 | 1/26 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 鍛 造 | 炭素鋼の鍛造実習 | 岩崎 直彦, | 到達目標:7-9 |
| | | | 室 総合 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 7–8 | 2/2 | 12:50-14:20 | 第4実習 | 鍛 造切削加工、研磨 | 炭素鋼の鍛造実習,旋盤による加 | 岩崎直彦 | 到達目標:6,8,9 |
| | | | 室 | | 工実習、研磨作業 | 高橋 英和 | |

成績評価の方法

各課題での提出作品(80 点), 出席状況(10 点), 授業態度(10 点)を総括的評価する

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-leaming へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

出席が 3/4 以上

参考書

刃物や工具の使い方 /PDF ファイル/JAXA 宇宙教育センター、2014

http://edu.jaxa.jp/materialDB/detail/78885

第2学年 履修科目・ユニット

| 時間割番号 | 023502 | 23502 | | | | | | | | |
|----------|----------------|----------------------|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 科目ID | DE-210200-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広[AOKI KAZ | 青木 和広[AOKI KAZUHIRO] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

時間数:15 時間 授業形態:講義と演習

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1講義室

授業の目的、概要等

- 1. 歯科医療、自然科学に関する英語、歯科関連英語について、基本的な単語を理解する。
- 2. 国際人として活躍するために、1 年で学習した骨と全身との関連研究の内容や、興味のある歯科医療の話題を、平易な英語で表現 (読む、聞く、書く、話す)する。

授業の到達目標

- 1. 英語で、自己紹介ができる。
- 2. 英語で、簡単なコミュニケーションを行うことができる。
- 3. 英語で、日本の歯科医療の概要を説明できる。
- 4. 英語で、歯/口腔の解剖学的構造を説明できる。
- 5. 英語で、歯科補綴装置、専門用語を説明できる。
- 6. 英語で、歯科材料を説明できる。
- 7. 自然科学の内容、特に骨と全身との関連研究の内容を簡単な英語で説明できる。

| | 1 | ı | ı | | | | |
|-------|------|-------------|-------|-------------|-----------------|--------|-----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–2 | 5/13 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 自己紹介 自然科学 | 英語での自己紹介 1年生の「人 | 青木 和広 | 到達目標:1,7 |
| | | | システム | の英語 (その1) 自 | 体の構造と機能」で発表した内容 | | 演習 |
| | | | (遠隔授 | 然科学の英語 (その | を英語で表現 基礎単語テスト | | |
| | | | 業) | 2) | 自然科学基礎用語の理解 | | |
| 3-4 | 5/27 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 自然科学の英語 (そ | 基礎単語テスト 英語で発表 演 | 青木 和広 | 到達目標:1,7 |
| | | | システム | Ø 3) | 習 | | 非常勤講師:ポー |
| | | | (遠隔授 | | | | ンポット・ファンタ |
| | | | 業) | | | | ーンシップ 演習 |
| 5–6 | 6/3 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 歯科治療の基礎 | 基礎単語テスト 各科名称、治療 | 青木 和広 | 到達目標:1-3 |
| | | | システム | | 法、補綴装置を扱う治療法、日常 | | 演習 |
| | | | (遠隔授 | | 診療他、演習 | | |
| | | | 業) | | | | |
| 7–8 | 6/10 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 歯/口腔解剖の基礎 | 基礎単語テスト 歯科診療、歯科 | 青木 和広 | 到達目標:1-4 |
| | | | システム | | 診療チーム、歯/口腔解剖、名 | | 演習 |
| | | | (遠隔授 | | 称、方向表現、歯式、演習 | | |
| | | | 業) | | | | |
| 9-10 | 6/17 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 歯科生体材料 | 基礎単語テスト 歯科生体材料の | 青木 和広, | 到達目標:4-6 |
| | | | システム | | 名称、演習 | 鶴田 潤 | 演習 |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 11-12 | 6/24 | 10:00-11:50 | TV 会議 | 歯科補綴装置 | 基礎単語テスト 歯科補綴装置の | 青木 和広, | 到達目標:4-6 |
| | | | システム | | 目的、名称、製作方法、演習 | 鶴田 潤 | 演習 |

| ľ | | | | (遠隔授 | | | | |
|---|-------|-----|-------------|-------|-----|------------------|--------|-----------|
| | | | | 業) | | | | |
| | 13-15 | 7/1 | 09:00-11:50 | TV 会議 | まとめ | 基礎単語テスト コミュニケーショ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | | システム | | ン演習 課題発表 | 鶴田 潤 | 非常勤講師:ポー |
| | | | | (遠隔授 | | | | ンポット・ファンタ |
| | | | | 業) | | | | ーンシップ 演習 |

- 初回授業でのレポート提出(1回) (5点)
- ・毎回英単語テストの受験(6回)(各回5点 x 5+最終回10点)
- ·発表課題の実施 (2回) (各回5点 x 2)
- ・期末テストの得点 (50 点満点)
- ・期末テストが6割未満の場合は再試験とする。
- ・授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し合否を判定する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・初回授業については事前にWebClass で課題内容を提示するので指示に従うこと。(*課題に要した時間を記録すること)
- ・毎回の授業開始時に行う英単語テストについては、WebClass で英単語を開示するので自分で意味を調べ覚えること。(*課題に要した時間を記録すること)
- ・発表課題については、授業時間内での実施時間を用意するが、授業時間外でグループでの活動を行うこと。(*課題に要した時間を記録すること)

教科書

Dr. 佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話 = Dr. Sato and Dr. Richard's Dental English conversation/佐藤尚弘, Richard Foxton 著,佐藤, 尚弘,Foxton, Richard,: クインテッセンス出版, 2010

備考

グループワークによる課題発表を行う。

| 時間割番号 | 023017A | 3017A | | | | | | | |
|----------|----------------------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 科目名 ヘルスプロモーション 科目ID | | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 塩沢 真和 | 大木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

口腔保健学科(口腔保健衛生学専攻)相互実習室(1号館8階)

口腔保健工学専攻 第1、2、3 講義室

授業の目的、概要等

ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、その活動プロセスを学び、口腔保健の専門家としてのヘルスプロモーションにおける役割を理解する。

授業の到達目標

- 1. ヘルスプロモーションの定義と役割を説明できる。
- 2. WHO の健康の定義と施策を説明できる。
- 3. ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、展開過程(計画・実施・評価)を説明できる。
- 4. 日本人の健康と疾患(人口動態と死因、生活習慣病)についての背景を説明できる。
- 5. 歯科医療、口腔保健、健診に関する法律と歯科疾患の実態について説明できる。
- 6. 口腔健康管理の基礎を理解し、疾患の予防法を説明できる。
- 7. ブラッシング法、フロスや歯間ブラシの使用法を習得する。
- 8. 人々の健康における問題を自ら発見し、解決する能力を習得する。

| □ | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|-------------|------------------|--------|----------|
| 1-2 | 6/3 | 14:00-15:50 | 第1講義 | ヘルスプロモーションの | ヘルスプロモーションとは、背景、 | 大木 明子 | 到達目標:1-4 |
| | | | 室 | 概要、施策と活動方法 | ヘルスプロモーションのアプロー | | |
| | | | | | チと戦略モデル | | |
| 3 | 6/3 | 16:00-16:50 | 口腔保健 | 口腔健康管理の基礎実 | 口腔内の状態の観察(合同実習) | 大木 明子, | 口腔保健衛生学 |
| | | | 学科相互 | 習1 | 医療面接、口腔内診査 | 塩沢 真穂 | 専攻3年との合同 |
| | | | 実習室 | | | 吉田 直美 | 実習、事前アンケ |
| | | | | | | 鈴木 瞳 | 一トを実施してお |
| | | | | | | | くこと。 到達目 |
| | | | | | | | 標: 5,6 |
| 4–6 | 6/10 | 14:00-16:50 | 第2講義 | 反転授業1 健康教育と | ヘルスプロモーション課題演習1 | 大木 明子, | 最初に第2講義 |
| | | | 室 第3 | PDCA サイクル | 健康教育とPDCA サイクル | 塩沢 真穂 | 室に集合してくだ |
| | | | 講義室 | | | | さい。到達目標: |
| | | | | | | | 3,5,8 |
| 7–9 | 6/24 | 13:00-15:50 | 第2講義 | 口腔の健康 反転授業 | 口腔の健康、歯科疾患実態調査 | 大木 明子, | 最初に第2講義 |
| | | | 室 第3 | 2 | ヘルスプロモーション課題演習2 | 塩沢 真穂 | 室に集合してくだ |
| | | | 講義室 | | | | さい。到達目標: |
| | | | | | | | 3,5,6,8 |
| 10-12 | 7/8 | 14:00-16:50 | 第1講義 | 課題発表 | 各班の課題発表 | 大木 明子, | 到達目標:1、 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | 3-6、8 |
| | | | | | | | |
| 13 | 7/22 | 13:00-13:50 | 第1講義 | 口腔疾患の健康管理 | 口腔疾患と健康、健康管理 | 大木 明子, | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | | |

| 14-15 | 7/22 | 14:00-15:50 | 口腔保健 | 口腔健康管理の基礎実 | 口腔健康管理、ブラッシング法、フ | 大木 明子, | 口腔保健衛生学 |
|-------|------|-------------|------|------------|------------------|--------|----------|
| | | | 学科相互 | 習2 | ロスや歯間ブラシの使用法につい | 塩沢 真穂 | 専攻3年との合同 |
| | | | 実習室 | | τ | 吉田 直美 | 実習 到達目標: |
| | | | | | | 鈴木 瞳 | 5,6 |

授業方法

講義、グループワーク、課題発表、反転授業、演習、実習

成績評価の方法

- ・課題演習は、小テスト(5 点)、資料準備(5 点)、課題の発表内容(10 点)による評価を行う。(合計 20 点)
- ・口腔健康管理実習では、レポートを評価する。(10点)
- ・期末試験の配点は70点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度、発表内容、期末試験を総合的に評価し合否を判定する。

準備学習等についての具体的な指示

反転授業の回では、事前に WebClass に提示された課題について学習してから講義に臨むこと。

衛生学専攻3年との合同実習では歯の染めだしを行うので、汚れてもいい服装でくること。指定された期日までに事前アンケートを実施すること。7/22 には歯磨きについての指導が行われるので使用している歯ブラシ等を忘れずに持参すること。

試験の受験資格

2/3 以上の出席

参考書

スタンダード衛生・公衆衛生 = STANDARD PUBLIC HEALTH AND HYGIENE/安井利一, 荒川浩久, 三宅達郎 編集,安井, 利一, 1951-荒川, 浩久, 1952-三宅, 達郎:学建書院, 2019

歯科発アクティブライフプロモーション 21:健康増進からフレイル予防まで/花田信弘 監著,武内博朗, 野村義明, 泉福英信 編著,花田,信弘, 1953-武内, 博朗, 1962-野村, 義明,泉福, 英信.:デンタルダイヤモンド社, 2017

国際保健医療学/日本国際保健医療学会編集;石井明[ほか]編集委員,日本国際保健医療学会,石井,明,:杏林書院,2005

FACTFULNESS: 10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣/ハンス・ロスリング, オーラ・ロスリング, アンナ・ロスリング・ロンランド 著,上杉周作, 関美和 訳Rosling, Hans, 1948-2017,Rosling, Ola, 1975-,Rönnlund, Anna Rosling, 1975-,上杉, 周作,関, 美和,: 日経 BP 社, 2019

履修上の注意事項

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 ・ロ腔健康管理は口腔保健衛生学専攻3年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシなどの清掃用具、筆記具を持参し、服装に注意すること。実習に際し事前アンケートが必要になるので指定された期日までに実施すること。

備者

反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。

課題の提出をWebClass にて行うこと。

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023559 | | | | | | | |
|----------|-----------|--------------------------|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | グローバルロ腔保健 | ブローバルロ腔保健工学 科目 ID | | | | | | |
| 担当教員 | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

時間数:15時間

授業形態:講義, グループディスカッション

主な講義場所

2号館 第2講義室

授業の目的、概要等

日本の歯科技工、歯科医療の現況を知り、日本と海外の歯科医療の違いを認識し、海外の口腔保健工学に携わる学生に説明するために必要な基本的な知識を習得する。

授業の到達目標

- 1. 日本の文化を説明できる。
- 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について説明できる。
- 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを説明できる。
- 4. 東京医科歯科大学を説明できる。
- 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを作成できる。
- 6. 英語で1~4の内容を説明することを考慮したプレゼンテーションを作成できる。
- 7. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|-------------|-----------------|----------|-----------|
| 1 | 10/16 | 10:00-10:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 海外研修の意義 過去のプレゼ | 青木 和広 | 到達目標 1-5 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | ンテーション視聴 | | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | | |
| 2–3 | 10/23 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 青木 和広 | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | | | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | | |
| 4–5 | 11/6 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 紹介すべき項目の列挙と整理 | 青木 和広 | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | | | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | | |
| 6-7 | 11/20 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 英語でのスライドを用いた予行演 | 青木 和広, J | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | 習、プレゼンテーションの順番 | ANELLE R | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | ENEE MO | |
| | | | | | | ROSS | |
| 8–9 | 12/4 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 発表内容の修正、英語のスライド | 青木 和広, J | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | 修正 | ANELLE R | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | ENEE MO | |
| | | | | | | ROSS | |
| 10-11 | 12/18 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 外国人に紹介する日本 | 発表内容の修正、英語のスライド | 青木 和広 | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | 修正 | | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | | |
| 12-13 | 1/15 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 英語で作成したスライドを用いた | 青木 和広, J | 到達目標: 1-7 |
| | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | 英語の発表、質疑応答 | ANELLE R | |
| | | | | 本の歯科医療の将来 | | ENEE MO | |
| | | | | | | ROSS | |

| ľ | 14-15 | 2/8 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 外国人に紹介する日本 | 再度発表発表内容の修正、英語 | 青木 和広, J | 到達目標:1-7 | |
|---|-------|-----|-------------|------|-------------|-----------------|----------|----------|--|
| | | | | 室 | と東京医科歯科大学、日 | のスライド修正 質疑応答 発表 | ANELLE R | | |
| | | | | | 本の歯科医療の将来 | 原稿とスライド提出 | ENEE MO | | |
| | | | | | | | ROSS | | |

出席状況、授業態度(10点)、毎回の課題の準備状況(40点)、提出プレゼンテーションおよび発表(50点)

準備学習等についての具体的な指示

前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

グループワークにより課題発表を行う。

| 時間割番号 | 023510A | | | | | | | | |
|----------|----------------|----------------------|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 感染予防 | 感染予防 科目ID | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広[AOKI KAZ | 青木 和広[AOKI KAZUHIRO] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:30 時間 授業形態:講義•演習

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1講義室、第4実習室

授業の目的、概要等

病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみ、また発癌の機序について理解し、炎症の理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法、特に、歯科医療で必要となる消毒・滅菌の実際と標準予防策について理解する。

授業の到達目標

- 1. 細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から説明できる。
- 2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき説明できる。
- 3. 感染の予防と治療の基礎について説明できる。
- 4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について説明できる。
- 5. 感染予防の方法と限界について説明できる。
- 6. 自身の口腔内細菌を顕微鏡で観察できる。
- 7. 炎症の病因・病態について説明できる。
- 8. 顎・顔面・口腔領域の癌の病因・病態について説明できる。
- 9. 歯科医療現場で遭遇する感染症について説明できる。
- 10. 歯科技工操作における感染予防・安全対策の対処法が説明できる。
- 11. 手指に付着する細菌の培養について説明できる。
- 12. 口腔内細菌の培養法に関して説明でき、観察ができる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|-------|-------------|-----------------|-------|--------------|
| 1–3 | 4/8 | 13:00-15:50 | TV 会議 | 微生物と疾病、病原性微 | 微生物の特徴、病原性微生物細 | 鈴木 敏彦 | 到達目標::1 |
| | | | システム | 生物 | 菌、ウィルス、真菌の特徴 | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 4-6 | 4/15 | 13:00-15:50 | TV 会議 | 病原微生物と感染症 | グラム陽性菌・陰性菌と感染症、 | 齋藤 良一 | 到達目標::2,3 |
| | | | システム | | ウィルス感染症 | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 7–9 | 4/22 | 13:00-15:50 | TV 会議 | 感染に対する生体防御 | 宿主防御機構と免疫 | 河野 洋平 | 到達目標::3 |
| | | | システム | 機構 | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 10-13 | 5/13 | 13:00-16:50 | TV 会議 | 病理学総論 炎症 感 | 病理学とは? 炎症、感染症 | 栢森 高 | 到達目標::7 グ |
| | | | システム | 染症 | | | ループワークと |
| | | | (遠隔授 | | | | 実習 |
| | | | 業) | | | | |
| 14-17 | 5/20 | 13:00-16:50 | TV 会議 | 滅菌、消毒法と感染対策 | 洗浄、消毒、滅菌と歯科における | 砂川 光宏 | 到達目標::1,3,5, |
| | | | システム | | 感染対策 | | 9, 10 |

| ľ | | | (遠隔授 | | | | |
|-------|------|-------------|-------|------------|-------------------------|---------|---------------|
| | | | 業) | | | | |
| 18-20 | 5/27 | 14:00-16:50 | TV 会議 | 口腔の微生物と感染症 | │ │ 口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄 | 竹内 康雄 | 到達目標::4 |
| | | | システム | | 炎、歯周病ほか | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 21-24 | 6/17 | 13:00-16:50 | TV 会議 | | | | 到達目標::8 グ |
| | | | システム | | | | ループワーク |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 25-28 | 7/1 | 13:00-16:50 | その他 | | 歯科医療現場で遭遇する感染症 | 青木 和広 | 到達目標::9, 10 |
| | | | | | 手洗い実習(GC 本社)消毒実習 | | グループワーク |
| | | | | | (GC 本社) | | と実習 |
| 29–31 | 7/15 | 14:00-16:50 | 第4実習 | 口腔内細菌の観察 手 | 細菌の培養 グラム染色と細菌観 | 鈴木 敏彦, | 到達目標::6,11,12 |
| | | | 室 | 指の細菌の観察感染 | 察 コロニーの観察 手洗い実 | 芦田 浩, 鈴 | グループワーク |
| | | | | 予防の基礎 | 習 | 木 志穂 青 | と実習 7月13日 |
| | | | | | | 木 和広 | (月)口腔医学の |
| | | | | | | | 基礎の時間(9時 |
| | | | | | | | から2コマ)にロ |
| | | | | | | | 腔内細菌と手指 |
| | | | | | | | の細菌観察の準 |
| | | | | | | | 備を行う。 |

前期末の筆記試験(100点)だけでなく、出席状況、授業態度、実習レポートなど加味した総合評価を行い、合否を判定する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

特にコロナウイルス感染予防のために大学での対面講義より Web 講義が推奨される期間においても、原則水曜日の午後の時間に時間を空けて講義に臨むこと。

授業の出席もその予定された時間に確認する。

備考

細菌培養実習、手洗い実習等の実習を行う日には遅れないように注意すること。

グループワークも行う。

| 時間割番号 | 023514 | 023514 | | | | | | | |
|----------|----------------|--------------------------------|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | う蝕と歯周病 | 5蝕と歯周病 科目ID DE-251400-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣[IKEDA MA | 池田 正臣[IKEDA MASAOMI] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:15時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館第1講義室

授業の目的、概要等

う蝕の原因と歯の実質欠損病態およびその治療法を理解する。また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。

授業の到達目標

- 1. 保存修復の全体像を説明できる。
- 2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明できる。
- 3. 接着材料と技術について説明できる。
- 4. 審美修復材料について説明できる。
- 5. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明できる。
- 6. 歯周病の全体像を説明できる。
- 7. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明できる。

授業計画

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|--------------|--------------------|--------|--------|
| 1-2 | 4/8 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 保存修復概論 | 硬組織、窩洞の名称と分類、窩洞 | 井上 剛 | 到達目標 1 |
| | | | 室 | | 形態 | | |
| 3–4 | 4/15 | 10:00-11:50 | 第1講義 | う蝕 | 硬組織疾患の診断と処置、不潔 | 井上 剛 | 到達目標 2 |
| | | | 室 | | 域、自浄作用 う蝕の診断と処 | | |
| | | | | | 置、切削裝置 | | |
| 5–6 | 4/22 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 接着性コンポジット レジ | 材料、接着の基礎(歯質との接 | 井上 剛 | 到達目標 3 |
| | | | 室 | ン修復 | 着)、臨床術式 | | |
| 7–8 | 5/13 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 審美性間接修復 材料 | 材料、接着の基礎、レジンインレ | 井上 剛,池 | 到達目標 4 |
| | | | 室 | の透過性演習 | ー、ポーセレンインレー、 | 田 正臣 | |
| | | | | | CAD/CAM、ラミネートベニア、ホ | | |
| | | | | | ワイトニング | | |
| 9-11 | 5/20 | 09:00-11:50 | 第1講義 | メインテナンス ディス | う蝕予防、修復物の予後 細菌付 | 井上 剛 池 | 到達目標 5 |
| | | | 室 | カッション | 着ディスカッション | 田正臣 | |
| 12-13 | 7/7 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 歯周病学概論 | 歯周病の病因と病態 | 岩田 隆紀 | 到達目標 6 |
| | | | 室 | | | | |
| 14-15 | 7/14 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 歯周病 | 歯周病の治療法 | 竹内 康雄 | 到達目標 7 |
| | | | 室 | | | | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10 点)、ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80点)で総括的に評価する。
- ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
- ・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

接着歯学 = Adhesive dentistry/日本接着歯学会 編日本接着歯学会 : 医歯薬出版, 2015

備考

池田 正臣メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023560 | | | | |
|----------|-----------|------|---|------|---|
| 科目名 | 口腔医学の基礎 | | | 科目ID | |
| 担当教員 | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 |
| 実務経験のある教 | | | | | |
| 員による授業 | | | | | |

時間数:30 時間 授業形態:講義と実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻第1講義室

授業の目的、概要等

歯の形態を知り、口腔器官の構造と機能およびその発生過程を理解する。また、多職種連携を見据えて医療チームの一員として必要な 薬理学の基礎を学ぶ。

授業の到達目標

- 1. 歯の生物学的特性、歯の外形と内形を説明できる。
- 2. 歯の種類と名称を列挙できる。
- 3. 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。
- 4. 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。
- 5. 歯の形態を説明できる。
- 6. 歯の植立様式を説明できる。
- 7. 永久歯の形態的特徴を列挙できる。
- 8. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。
- 9. 歯の数、形態および色の異常について説明できる。
- 10. 口腔と口蓋の構造と機能および発生について理解できる。
- 11. 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。
- 12. 歯の組織の基本的構造を説明できる。
- 13. 歯周組織の基本構造を説明できる。
- 14. 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。
- 15. 多職種連携になぜ薬理学が必要かを説明できる。
- 16. 薬の働き方に関して説明できる。
- 17. 薬の効果に影響を与える因子を説明できる。
- 18. ライフステージと薬の効果について列挙できる。
- 19. 劇薬や毒薬の表示や薬物の構造活性相関、薬物の連用について説明できる。
- 20. 口腔内細菌と手指の細菌に対する培養法を説明できる。

| | - | | | | | | |
|-----|------|-------------|-------|------------|-----------------|-------|---------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–2 | 4/7 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 歯の形態1 | 歯の定義、歯種と名称、表記法、 | 柴田 俊一 | 到達目標1-6 |
| | | | システム | | 方向用語、部位用語など | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 3-4 | 4/14 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 歯の形態2 永久歯の | 上下左右の鑑別、切歯 | 柴田 俊一 | 到達目標1-7 |
| | | | システム | 形態 1 | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 5–6 | 4/21 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 永久歯の形態 2 | 犬歯、小臼歯 | 柴田 俊一 | 到達目標1-7 |
| | | | システム | | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |

| I - | | l | alle. | | | | |
|----------|-------|-------------|-------------|--|---------------------------|-------------|---|
| | | | 業) | 5 E 1 E 2 = 100 | Land | | |
| 7–8 | 4/27 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 永久歯の形態3 | 大臼歯 | 柴田 俊一 | 到達目標1-7 |
| | | | システム | | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 9–10 | 4/28 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 薬理学の基礎、医療と | 薬理学、薬力学、薬物動態学、オ | 青木 和広 | 到達目標15,16 |
| | | | システム | 薬物 身体と薬物1 | 一ダーメイド医療薬の使用目的 | | |
| | | | (遠隔授 | | とその作用、受容体と薬物 | | |
| | | | 業) | | | | |
| 11-12 | 5/11 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 永久歯復習 乳歯の形 | 鑑別演習 歯の特色、乳切歯 | 柴田 俊一 | 到達目標1-8 |
| | | | システム | 態1 | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 13-14 | 5/11 | 13:00-14:50 | TV 会議 | 身体と薬物2 身体と薬 | 薬物の適用方法 薬物の生体内 | 青木 和広 | 到達目標15-17 |
| | 5/11 | 15.50 14.00 | システム | 物3 | 変化、代謝、排泄 | DATE THIA | ンルエロ 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 |
| | | | (遠隔授 | 1230 | > 100 1 00010 1917/E | | |
| | | | 業) | | | | |
| 15–16 | 5/18 | 13:00-14:50 | 大/ TV 会議 | 身体と薬物4 身体と薬 | 薬物の生物学的検定法 用量反 | 青木 和広 | 到達目標15-17 |
| 15-16 | J/ 18 | 13.00-14:00 | 17 安議 | | | 月小 仙人 | 刘廷口惊15-17 |
| | | | | 物5 | 応曲線 薬理作用を規定する要 | | |
| | | | (遠隔授 | | 因 | | |
| , | F /2- | 10.55 | 業) | 5 L 1 **** | - / | * | 701年71年71年71 |
| 17–18 | 5/25 | 13:00-14:50 | TV 会議 | 身体と薬物6 | ライフステージと薬物 劇薬や毒 | 青木 和広 | 到達目標15-19 |
| | | | システム | | 薬の表示など薬剤学 構造活性 | | |
| | | | (遠隔授 | | 相関薬物の連用 | | |
| | | | 業) | | | | |
| 19–20 | 5/26 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 乳歯の形態2 | 乳犬歯、乳臼歯 | 柴田 俊一 | 到達目標1-8 |
| | | | システム | | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 21–22 | 6/1 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 歯の多様性 | 歯の形態の多様性 大学に来校 | 柴田 俊一 | 到達目標1-9 |
| | | | システム | | 可能ならば、歯の鑑別実習を行う | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 23-24 | 6/8 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 発生1 | 口腔、口蓋、舌の発生、歯の発生 | 坂本 裕次郎 | 到達目標10,11 |
| | | | システム | | | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 25–26 | 6/22 | 09:00-10:50 | TV 会議 | 発生2、口腔組織1 | 歯の発育および交換の過程、歯 | 坂本 裕次郎 | 到達目標10-14 |
| | | | システム | | の組織の基本構造 | | |
| | | | (遠隔授 | | | | |
| | | | 業) | | | | |
| 27–28 | 7/6 | 09:00-10:50 | TV 会議 | | 歯周組織の基本構造 歯と歯周 | 坂本 裕次郎 | 到達目標10-14 |
| | ., 3 | | システム | - 1 may 1 ma | 組織の加齢変化 | W. I. HANNE | |
| | | | (遠隔授 | | - Parting v Stripping () | | |
| | | | 業) | | | | |
| 29–30 | 7/13 | 09:00-10:50 | | 口腔内細菌の培養 手 | 宇 丁位州太田ハ七位美汁の宇崎 | 鈴木 敏彦, | シに幸日 1 年20 |
| 29-30 | 1/13 | 05:00-10:50 | 第4実習 | | 寒天培地を用いた培養法の実際 | | 到達目標20 |
| | | | 室 | 指の細菌の培養 | | 芦田浩、鈴 | |
| | | | | | | 木志穂青 | |
| <u> </u> | | | | | | 木 和広 | |

- ・出席状況、授業態度(10点)、提出レポートや小テストなど提出物(20点)による平常点、および期末の客観試験、論述試験(70点)で総括的評価を行う。
- ・歯の鑑別テストは7割以上が合格点となる。筆記テストを含めて6割以上でも鑑別テストが7割以上とれない場合は、不合格となる。その場合は、鑑別テストのみ再試験となる。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

この科目は、実習や演習を含む。

Zoom を使った Web 講義となる。

なお、今年度は感染予防の実習の準備実習を最後の時間に組み込んでいる。

| 時間割番号 | 023561 | | | | | | | | |
|----------|------------|-----------------|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 全身疾患と治療の基础 | 全身疾患と治療の基礎 科目 D | | | | | | | |
| 担当教員 | | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 3 | | | | |
| 実務経験のある教 | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:45時間 授業形態:講義と実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻第2講義室、第4実習室

授業の目的、概要等

全身疾患の病因に基づく薬物開発過程と全身疾患の治療法について理解する。顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能について学び、生きた動物を用いた生理・薬理学実習や顎顔面の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。

授業の到達目標

- 1. 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学、薬理学)と臨床との関連について説明できる。
- 2. 生物学の実験と物理化学実験との違いから薬効評価方法を説明できる。
- 3. 薬の開発過程と薬害に関して説明できる。
- 4. 薬の分類について説明できる。
- 5. 痛みに対する薬物に関して説明できる。
- 6. 感染症に対する薬物に関して説明できる。
- 7. 循環器・血液系の病気とその治療に関して説明できる。
- 8. 自律神経系と運動神経の病気とその治療に関して説明できる。
- 9. 免疫系の病気とその治療について説明できる。
- 10. 内分泌系・唾液腺の病気と治療について説明できる。
- 11. 臨床検査、口腔内の生理的検査に関して説明できる。
- 12. 中枢神経系の病気と治療および全身麻酔薬について説明できる。
- 13. 局所麻酔薬について説明できる。
- 14. 硬組織内時刻描記法と硬組織に作用する薬物について説明できる。
- 15. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について説明できる。
- 16. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明できる。
- 17. 顎口腔の神経支配を理解する。
- 18. 口腔領域に分布する脈管系を理解できる。
- 19. 3次元的身体構造を理解できる。
- 20. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。

| W 47 1 48 1 1 | | | | | | | |
|---------------|-------|-------------|------|---------|------------------|-------|----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 10/5 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 1 | 基礎医学(解剖学、生理学、生化 | 青木 和広 | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | | 学、病理学、微生物学、免疫学、薬 | | |
| | | | | | 理学)の関連と臨床(前期の復 | | |
| | | | | | 習)、個体差と薬効評価、薬の開発 | | |
| | | | | | 過程と薬害 | | |
| 4–6 | 10/19 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 2 | 薬の分類 痛みと薬物 | 青木 和広 | 到達目標:4、5 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–9 | 10/26 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療3 | 感染症と薬物 | 青木 和広 | 到達目標:6 |
| | | | 室 | | | | |
| 10-12 | 11/2 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 4 | 循環器系と血液の病気と治療 | 青木 和広 | 到達目標:7 |
| | | | 室 | | | | |
| 13-15 | 11/9 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 5 | 自律神経系の生理学 免疫系の | 青木 和広 | 到達目標:8,9 |

| | | | 室 | | 病気とその治療 | | |
|-------|-------|-------------|------|-------------|------------------|--------|--------------|
| 16-18 | 11/16 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 6 | 内分泌と唾液腺の病気と治療、臨 | 青木 和広 | 到達目標: 10, 11 |
| | | | 室 | | 床検査 | 樺沢 勇司 | |
| 19–21 | 11/30 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 頭蓋の骨 | 頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋 | 坂本 裕次郎 | 到達目標:15 |
| | | | 室 | | の全景 | | |
| 22-24 | 12/7 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 頭頸部の筋、顎関節 | 顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、 | 坂本 裕次郎 | 到達目標:16 |
| | | | 室 | | 舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋 | | |
| | | | | | 群)、頸部の筋、顎関節の構造と | | |
| | | | | | 機能 | | |
| 25–27 | 12/14 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 頭頸部の骨、筋肉の観 | 頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神 | 坂本 裕次郎 | 到達目標:17 |
| | | | 室 | 察、頭頸部の神経 | 経、頭頸部に分布する脊髄神経、 | | |
| | | | | | 自律神経 | | |
| 28-30 | 12/21 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 頭頸部の神経、口腔付 | 脳神経、頭頸部に分布する脊髄神 | 坂本 裕次郎 | 到達目標:18 |
| | | | 室 | 近に分布する脈管系 | 経、自律神経、動脈系、静脈系、リ | | |
| | | | | | ンパ系 | | |
| 31-32 | 1/25 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 疾病と治療 7 | 中枢神経系の病気とその治療 | 青木 和広 | 到達目標: 12, 13 |
| | | | 室 | | 局所麻酔薬 | | |
| 33-35 | 2/1 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 頭頸部の解剖 | 頭頸部の解剖実習見学 | 青木 和広, | 到達目標:15-20 |
| | | | 室,解剖 | | | 坂本 裕次郎 | |
| | | | 学実習室 | | | | |
| 36-38 | 2/5 | 09:00-11:50 | 口腔保健 | 疾病と治療8 | 自律神経系の病気とその治療 | 青木 和広 | 到達目標:8,12 |
| | | | 学科第3 | | 運動神経系の病気とその治療 | | OH2 と合同授業 |
| | | | 講義室 | | 全身麻酔薬 | | TBL 式授業 |
| 39-41 | 2/5 | 13:00-15:50 | 口腔保健 | 実習1 「中枢神経系の | 薬剤感受性の個体差 ED50 計 | 青木 和広, | 到達目標:1,2,12 |
| | | | 学科基礎 | 薬理」 | 測 | 田村幸彦 | 非常勤講師:天野 |
| | | | 科学実習 | | | 加藤哲久, | 均 |
| | | | 室 | | | 菅森 泰隆 | |
| 42 | 2/10 | 11:00-11:50 | 口腔保健 | 疾病と治療 9 | 硬組織の病気と治療 (カルシウ | 青木 和広 | 到達目標:14 非 |
| | | | 学科第3 | | ム代謝薬、骨代謝薬・骨質改善薬) | | 常勤講師:天野 |
| | | | 講義室 | | 骨形成促進薬の開発 | | 均 |
| 43-45 | 2/10 | 13:00-15:50 | 口腔保健 | 実習2 「硬組織の生 | 全身臓器の確認 硬組織研磨標 | 青木 和広, | 到達目標:14,19, |
| | | | 学科基礎 | 理·薬理」 | 本の作製・硬組織内時刻描記法 | 田村幸彦 | 20 非常勤講師: |
| | | | 科学実習 | | により、象牙質の形成、歯槽骨の | 加藤哲久, | 天野 均 |
| | | | 室 | | 成長、脛骨、大腿骨の成長、およ | 菅森 泰隆 | |
| | | | | | び骨吸収抑制剤の効果を評価す | | |
| | | | | | る | | |
| 1 | | | | | 1 | 1 | i . |

出席状況、授業態度(10 点)、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)による平常点、および期末テスト(70 点)で総括的評価を行う。なお、期末テストが6割未満の者は再試験となる。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

現代歯科薬理学/青木和広[ほか]編大谷,啓一監修:医歯薬出版,2018

ヒューマンボディ: からだの不思議がわかる解剖生理学/Barbara Herlihy 著; 片桐康雄 [ほか] 監訳,Herlihy, Barbara,Maebius, Nancy K, 片桐, 康雄,飯島, 治之,片桐, 展子,尾岸, 恵三子,:エルゼビア・ジャパン, 2008

備考

OH2 の合同授業では TBL 方式の講義をおこなう。

| 時間割番号 | 023520A | 23520A | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯の形態基礎実習 | の形態基礎実習 科目 ID | | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 塩沢 真和 | 岩崎 直彦, 塩沢 真穂, 高橋 英和[WASAKI NAOHIKO, SHIOZAWA Maho, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

主な講義場所

第3実習室

授業の目的、概要等

補綴装置製作の基本となる天然歯の形態を的確に彫刻再現できる技術力を養い、種々の補綴装置製作における基礎的造形能力を身につける。

授業の到達目標

- 1. 歯型彫刻に用いる道具の使用法,模刻の方法を説明できる。
- 2. 上顎前歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 3. 下顎前歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 4. 上顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 5. 下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 6. 上顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 7. 下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 8. 天然歯の形態的特徴を記憶し、短時間の彫刻で精密に再現できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|------------|-----------------|-------|----------|
| 1-2 | 4/13 | 09:00-09:50 | 第3実習 | ワックス彫刻の進め方 | 道具の使い方、材料の扱い方、幾 | 岩崎 直彦 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | 何学的形態の課題でワックス彫刻 | | |
| | | | | | の進め方 | | |
| 3–4 | 4/20 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:2,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 5–6 | 4/28 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:2,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–8 | 5/12 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:2,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 9–10 | 5/19 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側側切歯・上顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:2,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 11-12 | 5/25 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:2,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 13–14 | 5/27 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側中切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:3,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 15–16 | 6/2 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:3,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 17–18 | 6/3 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側犬歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:3,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 19–20 | 6/9 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:4,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 21–22 | 6/10 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:4,8 |
| | | | 室 | | | | |
| 23-24 | 6/16 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:5,8 |
| | | | 室 | | | | |
| | | | | | | | |

| 25–27 | 6/17 | 09:00-09:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側第一小臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:5,8 |
|-------|------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|----------|
| 28-30 | 6/23 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,8 |
| 31–32 | 6/24 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,8 |
| 33-34 | 6/30 | 09:00-09:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 上顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,8 |
| 35–37 | 7/1 | 09:00-09:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:7,8 |
| 38-39 | 7/8 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:7,8 |
| 40-41 | 7/15 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:7,8 |
| 42-43 | 7/21 | 09:00-09:50 | 第3実習室 | カービング・コンテスト | カービング・コンテスト | 岩崎 直彦 | 到達目標:8 |
| 44-45 | 7/28 | 09:00-09:50 | 第3実習室 | 1.2 倍歯模型 | 到達度チェック | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,7 |

・彫刻作品(50 点)、期末の実技試験(20 点)カービングコンテストの成績(10 点)、出席状況(10 点)および授業態度(10 点)によって総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

出席が 3/4 以上

教科書

口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy/全国歯科技工士教育協議会編集,脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著脇坂、聡杉田、順弘、市川、博之、全国歯科技工士教育協議会、: 医歯薬出版、2016

参考書

歯の解剖学/藤田恒太郎原著,藤田, 恒太郎,桐野, 忠大,山下, 靖雄:金原出版, 1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023521A | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 歯の形態実習 | 歯の形態実習 科目 ID DE-252000-E | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 塩沢 真和 | 岩崎 直彦, 塩沢 真穂, 高橋 英和[WASAKI NAOHIKO, SHIOZAWA Maho, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

主な講義場所

第3実習室

授業の目的、概要等

歯の形態基礎実習で学習した造形技術を元に、天然歯の形態をさらに精密に彫刻再現できる技術力を向上させ、種々の補綴装置製作におけるさらに高度な造形能力を身につける。

授業の到達目標

- 1. 上顎前歯の天然歯形態の特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 2. 下顎前歯の天然歯形態の特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 3. 上顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 4. 下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 5. 上顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる。
- 6. 下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現できる
- 7. 天然歯の形態的特徴を記憶し、短時間の彫刻で精密に再現できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|-------|-----------------|--------|----------|
| 1–3 | 10/6 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎右側中切歯,上顎右側側切歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:1,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 4–6 | 10/13 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎右側側切歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:1,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 7–9 | 10/20 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側中切歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:2,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 10-12 | 10/27 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側側切歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:2,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 13-15 | 11/10 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎左側第一大臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:5,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 16-18 | 11/17 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎左側第一大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 19–21 | 12/1 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎右側第一小臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:3,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 22-24 | 12/8 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎右側第二小臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:3,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 25-27 | 12/15 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一小臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:4,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 28-30 | 12/22 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側第二小臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:4,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 31-33 | 1/12 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎左側第一大臼歯 | 岩崎 直彦, | 到達目標:5,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 34-36 | 1/19 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎左側第一大臼歯 | 岩崎 直彦, | 到達目標:5,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 37–39 | 1/26 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側第一大臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 40-42 | 2/2 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 上顎右側第二大臼歯 | 岩崎直彦 | 到達目標:5,7 |

| Ĭ | | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | | |
|---|-------|-----|-------------|------|-------|-----------|-------|----------|--|
| | 43-45 | 2/9 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 等倍歯模型 | 下顎右側第二大臼歯 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6,7 | |
| | | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | | |

・彫刻作品(60 点)、期末の実技試験(20 点)、出席状況(10 点)および授業態度(10 点)によって総括的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

出席が 3/4 以上

教科書

口腔·顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy/全国歯科技工士教育協議会編集,脇坂聡、杉田順弘,市川博之,里田隆博,木暮ミカ 著脇坂、聡杉田、順弘,市川、博之,全国歯科技工士教育協議会、医歯薬出版、2016

参考書

歯の解剖学/藤田恒太郎原著,藤田, 恒太郎,桐野, 忠大,山下, 靖雄:金原出版, 1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023522 | 023522 | | | | | | |
|----------|-----------------|------------------------------|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 咬合学 | 交合学 科目 ID DE-252200-L | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子[OKI MEIKO | 大木 明子[OKI MEIKO] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

- 2号館第1講義室
- 2号館第3実習室

授業の目的、概要等

顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。

授業の到達目標

- 1. 顎口腔系の形態を説明できる。
- 2. 顎口腔系の機能を説明できる。
- 3. 下顎位の定義とその臨床的意義を説明できる
- 4. 下顎運動の種類と特徴を説明できる。
- 5. 下顎運動範囲を説明できる。
- 6. 咬合器の種類と特徴を説明できる。
- 7. ゴシックアーチ描記装置を製作し、ゴシックアーチによる水平的顎間関係記録を理解する。
- 8. 咬合干渉の種類と原因を説明できる。
- 9. 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触を説明できる。
- 10. 有床義歯の咬合様式を説明できる。
- 11. 咬合器の調節方法を説明できる。
- 12. フェイスボウの意義を説明できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|----------------|------|-------------|-------------|--------------|-----------------|--------|------------|
| 1–2 | 4/16 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 顎口腔系の形態と機能 | 顎口腔系の概念、顎口腔系の形 | 鈴木 哲也 | 到達目標: 1,2 |
| | | | 室 | | 態的特徴と機能、基準点と基準 | | |
| | | | | | 面、咬合に関係する平面 | | |
| 3–4 | 4/23 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 下顎位 下顎運動 | 各下顎位の定義、各下顎位の臨 | 鈴木 哲也 | 到達目標: 3-5 |
| | | | 室 | | 床的意義、下顎運動の種類と特 | | |
| | | | | | 徴、下顎運動範囲、切歯点の運動 | | |
| | | | | | と顆頭運動の対応 | | |
| 5–6 | 5/14 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 咬合器の種類 | 咬合器の種類と特徴 | 鈴木 哲也 | 到達目標: 6 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–10 | 5/19 | 11:00-15:50 | 第3実習 | ゴシックアーチ(実習) | ゴシックアーチの製作 | 大木 明子, | 到達目標: 7 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 11 | 5/21 | 10:00-10:50 | 第3実習 | ゴシックアーチ(実習) | ゴシックアーチ描記 | 鈴木 哲也, | 到達目標: 7 |
| | | | 室 | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| 12-13 | 5/28 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 歯の接触様式 有床義 | 咬合の種類、咬合干渉の種類と原 | 鈴木 哲也 | 到達目標: 8-10 |
| | | | 室 | 歯の咬合 | 因、咬合検査、義歯に付与する咬 | | |
| | | | | | 合 | | |
| 14 | 6/4 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 有床義歯の咬合 | 全部床義歯に付与する咬合 | 鈴木 哲也 | 到達目標:10 |
| | | | 室 | | | | |
| 15 | 7/2 | 09:00-09:50 | 第1講義 | フェイスボウトランスファ | 咬合器の調節方法、フェイスボウ | 鈴木 哲也 | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | _ | トランスファーの意義 | | |
| L . | | | | · | | · | |

授業方法

講義および実習

成績評価の方法

- ・ゴシックアーチ(製作物)(20点)、期末試験(80点)で総括的評価を行う。
- ・期末試験が60点未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science/全国歯科技工士教育協議会編集,志賀博,町博之,小泉順一,竹井利香著,志賀,博,町,博之,小泉,順一,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版,2016

履修上の注意事項

ゴシックアーチは実習を行います。

備考

全部床義歯工学講義、全部床義歯工学実習と連動しています。

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

鈴木哲也 木曜日

| 時間割番号 | 023526A | 23526A | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健理工学 | 腔保健理工学 科目 ID DE-252600-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦, 高橋 英和 | 岩崎 直彦, 高橋 英和[IWASAKI NAOHIKO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 3 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

主な講義場所

口腔保健工学第1講義室

授業の目的、概要等

歯科技工で用いられている材料の基礎的な物理的、化学的知識を修得する。歯科技工で用いる各種の歯科材料・器械について、扱う上で必要な知識を修得する。

授業の到達目標

- 1. 物質の構造, 基本単位を説明できる.
- 2. 無機材料の特性を理解してその特徴について説明できる。
- 3. 金属材料の特性を理解してその特徴について説明できる。
- 4. 高分子材料の特性を理解してその特徴について説明できる。
- 5. 複合材料の定義と分類を説明できる.
- 6. 各種材料試験について説明できる.
- 7. 歯科材料の物理的化学的性質について説明できる。
- 8. 歯科材料の生物学的安全性を説明する。
- 9. 金属の加工法と、それに伴う加工硬化と熱処理を説明できる.
- 10. 歯科用合金の種類と特徴を説明できる.
- 11. 模型用材料の組成と特徴を説明できる.
- 12. レジン材料の種類と組成,成形法と特徴を説明できる.
- 13. 切削と研磨の原理を説明できる.
- 14. 印象材の組成と特徴を説明できる.
- 15. 接着の機序と接着剤の成分を説明できる.
- 16. 成形修復材料の種類と特徴を説明できる.
- 17. 審美修復で必要な色彩に関する知識を説明できる.
- 18. セラミックスの種類と特徴、加工法を説明できる.
- 19. 歯科材料の安全性を説明できる.
- 20. 歯科用インプラント材料の特徴を説明できる.
- 21. 歯科用 CAD/CAM の基礎知識を説明できる.

| 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------------|--|---|----------------------------------|--|---|
| 13:00-14:50 | 第1講義 | 歯科理工学概論 | 歯科理工学概論 SI単位、物質の | 高橋 英和 | 到達目標:1 |
| | 室 | | 構造 | | |
| 09:00-09:50 | 第1講義 | 物理的性質 | 応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 | 高橋 英和 | 到達目標: 1,6 |
| | 室 | | 光学的性質 | | |
| 11:00-11:50 | 第1講義 | 化学的性質 | 腐食、防食、変色、表面張力、接 | 高橋 英和 | 到達目標: 1,6 |
| | 室 | | 着とぬれ | | |
| 09:00-11:50 | 第1講義 | 無機材料,模型材 | 無機材料の特徴、模型材の種 | 高橋 英和 | 到達目標:2 |
| | 室 | | 類, 石膏の硬化 | | |
| 11:00-11:50 | 第1講義 | 義歯床用レジン | 有機材料概論,義歯床用レジン,常 | 岩崎 直彦 | 到達目標:4,12 |
| | 室 | | 温重合レジン, そのほかのレジン | 高橋 英和 | |
| 09:00-09:50 | 第1講義 | 金属材料の特徴 | 金属材料の特徴、歯科用合金の | 岩崎 直彦, | 到達目標:3,10 |
| | 室 | | 種類,特徵, | 高橋 英和 | |
| | | | | | |
| | 13:00-14:50 09:00-09:50 11:00-11:50 09:00-11:50 | 13:00-14:50 第1講義 室 0 09:00-09:50 第1講義 室 11:00-11:50 第1講義 室 0 09:00-11:50 第1講義 室 0 11:00-11:50 第1講義 室 | 13:00-14:50 第1講義 歯科理工学概論 室 | 13:00-14:50 第1講義 歯科理工学概論 歯科理工学概論 SI単位、物質の 構造 応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 光学的性質 応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 光学的性質 腐食、防食、変色、表面張力、接 | 13:00-14:50 第1講義 歯科理工学概論 歯科理工学概論 SI単位、物質の 高橋 英和 横造 応力とひずみ、硬さ、レオロジー、 高橋 英和 空 11:00-11:50 第1講義 化学的性質 腐食、防食、変色、表面張力、接 高橋 英和 産 11:00-11:50 第1講義 無機材料、模型材 無機材料の特徴、模型材の種 高橋 英和 室 類、石膏の硬化 11:00-11:50 第1講義 義歯床用レジン 有機材料概論、義歯床用レジン 岩崎 直彦 温重合レジン、そのほかのレジン 高橋 英和 09:00-09:50 第1講義 金属材料の特徴、歯科用合金の 岩崎 直彦 高橋 英和 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日前 日 |

| 17-20 | 5/11 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 金属の加工法 | 金属材料の熱処理切削、研 | 岩崎直彦 | 到達目標: |
|-------|------|-------------|------|-------------|---------------------|-------|--------------|
| | | | 室 | | 磨,CAD/CAM で用いる加工法 | 高橋 英和 | 3,9,13,21 |
| 21-23 | 5/22 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 印象 | 印象材の種類、弾性印象材の特 | 高橋 英和 | 到達目標:14 |
| | | | 室 | | 徴 | | |
| 24-26 | 5/29 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 印象材 | 印象材の性質、模型材との関係 | 岩崎直彦 | 到達目標:11,14 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| 27 | 6/1 | 11:00-11:50 | 第1講義 | ワックスの特徴 | 歯科用ワックスの種類と特徴 | 岩崎直彦 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| 28-30 | 6/5 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 成形修復材料と接着 | 成形修復材料の種類と特徴 | 塩沢 真穂 | 到達目標:15,16 |
| | | | 室 | | | | |
| 31 | 6/8 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 複合材料 | 複合材料の特徴 | 高橋 英和 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | | | |
| 32-33 | 6/8 | 13:00-13:50 | 第1講義 | 補綴用レジン | 硬質レジン, CAD/CAM ブロック | 高橋 英和 | 到達目標:12 |
| | | | 室 | | | | |
| 34–35 | 6/29 | 11:00-11:50 | 第1講義 | セラミックスの基礎 | セラミックスの特徴 | 宇尾 基弘 | 到達目標:18 |
| | | | 室 | | | | |
| 36-37 | 7/3 | 14:00-14:50 | 第1講義 | セラミックスの応用 | オールセラミックス | 中嶌 裕 | 到達目標:18 |
| | | | 室 | | | | |
| 38-40 | 7/6 | 13:00-13:50 | 第1講義 | CAD/CAM の基礎 | 歯科用 CAD/CAM の基礎 | 堀田 康弘 | 到達目標:17 |
| | | | 室 | | | | |
| 41 | 7/10 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 色彩に関する知識 | 表面の評価表色系, 視感比色法 | 高橋 英和 | 到達目標:21 |
| | | | 室 | | | | |
| 42-43 | 7/20 | 14:00-14:50 | 第1講義 | 生体材料の安全性 | 生体材料の安全性 | 橋本 典也 | 到達目標:8,19,20 |
| | | | 室 | | | | |
| 44-45 | 7/27 | 09:00-09:50 | 第1講義 | まとめ | 歯科材料が販売されるまで | 高橋 英和 | 到達目標:19 |
| | | | 室 | | | | |
| | | | | | | | |

・期末の客観試験、論述試験(80 点)、出席状況(10 点)、授業態度(10 点)を総括的評価する. 試験点 6割以下の場合は、再試験を行う.

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

講義の 2/3 の出席

教科書

スタンダード歯科理工学 第7版: 生体材料と歯科材料/中嶌裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆; 石川邦夫 [ほか] 編集・執筆; 赤坂司 [ほか] 執筆,中嶌, 裕,石川, 邦夫,赤坂, 司,: 学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学/小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 楳本貢三, 小園凱夫編; 遠藤一彦 [ほか] 執筆,小倉, 英夫,高橋, 英和,宮崎,隆小田,豊 楳本, 貢三,小園, 凱夫,遠藤, 一彦, 医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学/宮崎隆 [ほか] 編宮崎, 隆中嶌, 裕河合, 達志,小田, 豊,: 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices / 日本歯科理工学会 編日本歯科理工学会,: 医歯薬出版, 2018 歯科理工学/全国歯科技工士教育協議会編; 大島浩 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会,大島, 浩,米山, 隆之,高橋, 英和,岩崎, 直彦,: 医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023527 | | | | | | | | |
|----------|-------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健理工学実習 | 口腔保健理工学実習 科目 ID DE-252700-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | 岩崎 直彦, 高橋 英和[WASAKI NAOHIKO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1 実習室,口腔保健衛生学専攻 臨床基礎実習室

授業の目的、概要等

歯科技工で使用する歯科材料の性質を理解し、それらの性質を測定し、適切に扱える力を身につける。

授業の到達目標

- 1. 材料の物性評価の方法を説明できる.
- 2. 無機材料の種類と性質について説明できる
- 3. 歯科用レジン材料の種類と性質について説明できる.
- 4. 材料の機械加工について説明できる.
- 5. 歯科用ワックスの収縮と変形を説明できる.
- 6. 各種印象材の寸法精度と細線再現性を測定し、その性質を説明できる.
- 7. 成形修復用材料の適切な取り扱い方法を説明できる.
- 8. 研磨方法およびその理論について説明できる。
- 9. 歯科用セラミックスの性質と成形方法を説明できる.
- 10. 修復用材料の色調を測定し、その特性を説明できる.
- 11. 歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を理解する.
- 12. 歯科用 CAD/CAM の加工法について説明できる.

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|---------|-------------------|---------|--------|
| 1-4 | 4/10 | 13:00-13:50 | 第4実習 | | ワイヤーの引張試験 石膏の圧 | 岩崎直彦 | |
| | | | 室 | | 縮試験 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| 5–8 | 4/13 | 13:00-13:50 | 口腔保健 | 硬さ試験 | 硬さ測定,加工による硬さの変化 | 岩崎直彦 | 到達目標:1 |
| | | | 学科基礎 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 科学実習 | | | | |
| | | | 室 歯学 | | | | |
| | | | 部基礎小 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 9-12 | 4/17 | 13:00-13:50 | 歯学部基 | 石膏 (1) | 石膏の硬化時間, 硬化膨張, 発熱 | 岩崎 直彦, | 到達目標:2 |
| | | | 礎実習室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| | | | | | | 土生 メイアナ | |
| 13–15 | 4/24 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 加熱重合レジン | 餅状期の観察、パターンの作製 | 岩崎 直彦, | 到達目標:3 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| 16–18 | 4/24 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 加熱重合レジン | 埋没 | 岩崎 直彦 | 到達目標:3 |
| | | | 室,第4 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | 中野 文夫 | |
| 19-22 | 4/27 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 加熱重合レジン | 填入, 重合, | 岩崎直彦 | 到達目標:3 |
| | | | 室 第4 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 23-25 | 5/1 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 加熱重合レジン | 割り出し、重合体の寸法測定 | 岩崎直彦 | 到達目標:3 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |

| | | T | T | Ι | T | | |
|-------------|-------------|-------------|----------|---|---|---------|---------------|
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| 26-29 | 5/1 | 13:00-13:50 | 第4実習 | 熱膨張 | 各種材料の熱膨張 | 岩崎直彦 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| 30-33 | 5/8 | 13:00-13:50 | 口腔保健 | 石膏 (2) | 練和溶液が石膏硬化に及ぼす影 | 岩崎直彦 | 到達目標:2 |
| | | | 学科基礎 | | 響 | 高橋 英和 | |
| | | | 科学実習 | | | 中野 文夫 | |
| | | | 室 | | | 土生 メイアナ | |
| 34-36 | 5/15 | 09:00-09:50 | 第4実習 | 切削加工の基礎 | 旋盤・フライス盤加工(見学) | 岩崎直彦 | 到達目標:4 |
| | | | 室. 第4 | | | 中野 文夫 | |
| | | | 実習室 | | | 中野文夫 | |
| 37–40 | 5/22 | 13:00-13:50 | 歯学部基 | 印象 | ハイドロコロイド印象材 | 岩崎 直彦 | 到達目標:6 |
| 0, 10 | 0, 22 | 10.00 10.00 | 礎実習室 | 71-20 | V 111 | 高橋 英和 | TALL IN. |
| | | | 元人占主 | | | 中野文夫 | |
| | | | | | | 土生メイアナ | |
| 41 44 | F /0F | 11.00 11.50 | #0#33 | ・ | ************************************* | | |
| 41–44 | 5/25 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 寒天複印象と耐火模型 | 寒天複印象,模型 | 岩崎直彦 | 到達目標:6 |
| | | | 室,第4 | | | 高橋 英和 | |
| | | 10.55 | 実習室 | rn fr | », ==================================== | 11114 | T-10+ 17 17 - |
| 45–48 | 5/29 | 13:00-13:50 | 口腔保健 | 印象 | ゴム質印象材と模型 | 岩崎直彦 | 到達目標:6 |
| | | | 学科基礎 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 科学実習 | | | 中野文夫 | |
| | | | 室 | | | 青柳 裕仁, | |
| | | | | | | 土生 メイアナ | |
| 49-52 | 6/1 | 13:00-13:50 | 第3実習 | ワックスの変形 | ワックスの応力緩和による変形測 | 岩崎直彦 | 到達目標:5 |
| | | | 室, 第4 | | 定 冷却による寸法変化測定 | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 53-55 | 6/5 | 13:00-13:50 | 口腔保健 | 成形修復材料 | 常温重合レジン、コンポジットレジ | 岩崎直彦 | 到達目標:7 |
| | | | 学科基礎 | | ン, グラスアイオノマーセメント, | 高橋 英和 | |
| | | | 科学実習 | | 各種合着用セメント | 中野文夫 | |
| | | | 室 | | | 青柳 裕仁 | |
| | | | | | | 土生 メイアナ | |
| 56-57 | 6/29 | 14:00-14:50 | 第3実習 | 硬質レジン | 硬質レジンの曲げ強さと重合条件 | 岩崎直彦 | 到達目標:9 |
| 00 07 | 0/ 20 | 14.00 14.00 | 室 第4 | RESECUTION OF THE PROPERTY OF | | 高橋 英和 | 少是自保.0 |
| | | | 実習室 | | | | |
| 58-60 | 7/3 | 10:00-10:50 | 第3実習 | | | 岩崎直彦 | 到達目標:1,3 |
| Jo-00 | 1/3 | 10:00-10:00 | | 東東レンノリカ虫長武装 | | | 判廷口伝:1,3 |
| | | | 室 | | | 高橋英和 | |
| | | | | | | 中野文夫 | T.D. = 1 |
| 61 | 7/6 | 11:00-11:50 | 第3実習 | CAD/CAM の基礎 | 工学専攻にある CAD/CAM 機材 | 岩崎直彦 | 到達目標:12 |
| | | | 室 第4 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 62-67 | 7/10 | 10:00-10:50 | 第3実習 | 歯科材料の製作 | 歯科メーカー見学(トクヤマデンタ | 岩崎直彦 | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | ル) | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| 68-71 | 7/13 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 各種材料の研磨 | 研磨用機材の CCD カメラによる観 | 岩崎 直彦 | 到達目標:8 |
| | | | 室 | | 察, 各種材料の研磨, 研磨後の観 | 廣瀬 英晴 | |
| | | | | | 察度, | | |
| 72-74 | 7/17 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 色の鑑別 | シェードガイドの識別、印刷物の | 高橋 英和 | 到達目標:10 |
| | | | 室 | | 識別 | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 中野文夫 | |
| | | | | | | 1-1 7-7 | |
| | l | | <u> </u> | | | | |

| ľ | 75–76 | 7/17 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 色の測定 | Shade eye による測定, STL ファイ | 岩崎 直彦, | 到達目標:10 | |
|---|-------|------|-------------|------|-----------|--------------------------|--------|---------|---|
| | | | | 室 | | ルの検索 | 岩崎 直彦, | | l |
| | | | | | | | 中野 文夫 | | l |
| l | 77-80 | 7/20 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 3Dプリンタの造形 | STL を用いた模型作成 | 岩崎 直彦, | 到達目標:12 | 1 |
| l | | | | 室 | | | 高橋 英和 | | l |

・各課題での提出作品(40 点)と提出レポート(40 点)、出席状況(10 点)、授業態度(10 点)を総括的評価する.

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

出席が 3/4 以上

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料/中嶌裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事,中嶌, 裕,宮崎, 隆, 1953-、米山, 隆之, :学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学/小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 楳本貢三, 小園凱夫編; 遠藤一彦 [ほか] 執筆,小倉, 英夫,高橋, 英和,宮崎, 隆小田, 豊楳本, 貢三,小園, 凱夫,遠藤, 一彦, 医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学/宮崎隆 [ほか] 編宮崎, 隆中嶌, 裕河合, 達志,小田, 豊: 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices / 日本歯科理工学会 編,日本歯科理工学会,: 医歯薬出版, 2018 歯科理工学/全国歯科技工士教育協議会編; 大島浩 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会,大島, 浩,米山, 隆之,高橋, 英和,岩崎, 直彦.: 医歯薬出版, 2016

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-leaming へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023528A | D23528A | | | | | | | | |
|----------|-------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 精密鋳造学実習 | 密 铸造学実 習 科目ID | | | | | | | | |
| 担当教員 | 岩崎 直彦 高橋 英和 | 岩崎 直彦, 高橋 英和[WASAKI NAOHIKO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1 実習室, 第4 実習室

授業の目的、概要等

- 1. 鋳造用原型の精度について説明できる.
- 2. 埋没材の硬化膨張、熱膨張について説明できる.
- 3. 歯科用合金の鋳造について説明できる.
- 4. 型ごと埋没法について説明できる.
- 5. 鋳造体の寸法変化について説明できる.
- 6. 歯科用材料製作工業を見学して製造過程を理解する.

| 1文末 11 四 | 4 | 1 | | | | | • |
|----------|------|-------------|------|------------|-------------------|--------|----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 6/12 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 鋳造概論 | 鋳造概論, 鋳造用原型, 鋳造用埋 | 高橋 英和 | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | | 没材の組成と特徴, 金属融解の熱 | | |
| | | | | | 源, 鋳込み, 欠陥 | | |
| 4–7 | 6/12 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 埋没材の膨張 | 石膏系埋没材の硬化時寸法変化 | 岩崎直彦 | 到達目標:2 |
| | | | 室 第4 | | 測定, 石膏系埋没材の熱膨張, 寒 | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | 天複模型準備 | | |
| 8 | 6/15 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 複模型の製作1 | 寒天複印象、クラウンワックスアッ | 岩崎直彦, | 到達目標:2,4 |
| | | | 室 | | プ | 高橋 英和 | |
| 9–10 | 6/15 | 13:00-14:50 | 第3実習 | 埋没材の膨張 | リン酸塩埋没材硬化・加熱時の寸 | 岩崎直彦 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | | 法変化測定 | 高橋 英和 | |
| 11 | 6/15 | 15:00-15:50 | 第3実習 | 複模型の製作1 | 複模型作製 | 岩崎直彦, | 到達目標:2,4 |
| | | | 室 総合 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室. | | | | |
| | | | 第4実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 12-14 | 6/19 | 09:00-11:50 | 第1講義 | ワックスパターン作製 | クラウン・型ごと埋没, ワックスパ | 岩崎直彦 | 到達目標:2,4 |
| | | | 室 | | ターン製作 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| 15–18 | 6/19 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 工場見学 | 歯科鋳造用金属材料製作工業を | 岩崎直彦 | 到達目標:6 |
| | | | 室 | | 見学して製造過程を理解する | 高橋 英和 | |
| 19–22 | 6/22 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 鋳 造1 | クラウン鋳造 1 | 岩崎直彦 | 到達目標:3,5 |
| | | | 室 総合 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 実習室 | | | 中野 文夫 | |
| 23-24 | 6/26 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 鋳造欠陥と接合 | 鋳造欠陥の種類と原因、寸法精度 | 高橋 英和 | 到達目標:3,5 |
| | | | 室 総合 | | に及ぼす因子, ろう付け | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 25–28 | 6/26 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 鋳 造2 | 高温鋳造, 鋳造体の精度測定 | 岩崎 直彦, | 到達目標:6 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 中野 文夫 | |
| 29-30 | 7/17 | 15:00-16:50 | 第1講義 | 歯科での加工法のまと | 歯科精密鋳造のまとめ | 玉置 幸道 | 到達目標:1-5 |
| | | | 室 | め | | | |

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

出席が 3/4 以上

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE: 生体材料と歯科材料/中嶌裕, 宮崎隆, 米山隆之 編集幹事,中嶌, 裕宮崎, 隆, 1953-、米山, 隆之、: 学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学/小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 楳本貢三, 小園凱夫編; 遠藤一彦 [ほか] 執筆,小倉, 英夫,高橋, 英和,宮崎, 隆小田, 豊楳本, 貢三,小園, 凱夫,遠藤, 一彦, 医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学/宮崎隆 [ほか] 編宮崎, 隆中嶌, 裕河合, 達志,小田, 豊.: 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices/日本歯科理工学会編。日本歯科理工学会:医歯薬出版,2018 歯科理工学/全国歯科技工士教育協議会編;大島浩 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会、大島、浩、米山、隆之、高橋、英和、岩崎、直 彦:医歯薬出版、2016

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

| 時間割番号 | 023534A | | | | | | | | |
|----------|-----------------|----------------------------------|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 全部床義歯工学 | 全部床義歯工学 科目 ID DE-253400-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子[OKI MEIKO | 大木 明子[OKI MEIKO] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

必修 20 時間

主な講義場所

2号館第1講義室

授業の目的、概要等

無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を、全部床義歯により、いかに回復し維持するかを理解する。これらの知識をもとに全部床義歯製作に必要な技法を習得する。

授業の到達目標

- 1. 無歯顎の特殊性を理解する。
- 2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明できる。
- 3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明できる。
- 4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明できる。
- 5. 咬合器装着とそれに必要な器材を説明できる。
- 6. 人工歯の種類と特徴を列挙できる。
- 7. 人工歯排列、歯肉形成法を説明できる。
- 8. 埋没と重合法を理解し説明できる。
- 9. 削合と研磨の重要性を理解し説明できる。
- 10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を説明できる。
- 11. リライン、リベース、修理法を説明できる。
- 12. 金属床義歯の利点と欠点を説明できる。

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-----|------|-------------|------|------------|-----------------|-------|-----------|
| 1–3 | 4/7 | 11:00-14:50 | 第1講義 | 全部床義歯補綴概論 | 補綴概論 全部床義歯の製作の | 大木 明子 | 到達目標: 1-3 |
| | | | 室 | 全部床義歯製作の流れ | 流れ 印象採得に必要な上顎の | | |
| | | | | 上顎無歯顎の解剖学的 | 解剖学的基礎知識 | | |
| | | | | 留意点 | | | |
| 4–5 | 4/9 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 下顎無歯顎の解剖学的 | 印象採得に必要な下顎の解剖学 | 大木 明子 | 到達目標: 3 |
| | | | 室 | 留意点 印象採得の手 | 的基礎知識 予備印象採得と研 | | |
| | | | | 順 | 究用模型の製作、個人トレーの製 | | |
| | | | | | 作、精密印象採得、作業用模型の | | |
| | | | | | 製作 | | |
| 6 | 4/14 | 11:00-11:50 | 第1講義 | その他の特殊印象法 | 特殊な印象採得法 | 大木 明子 | 到達目標: 3 |
| | | | 室 | | | | |
| 7 | 4/28 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 咬合採得•演習 | 無歯顎の対向関係、咬合床の製 | 大木 明子 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | 作、咬合平面、垂直的顎間関係記 | | |
| | | | | | 録法、演習(咬合高径の決定) | | |
| 8 | 5/7 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 水平的顎間関係 | 水平的顎間関係記法、ゴシックア | 大木 明子 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | 一チ描記法の意義、標示線 | | |
| 9 | 5/14 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 咬合器装着 | 咬合器装着 | 大木 明子 | 到達目標: 5 |
| | | | 室 | | | | |
| 10 | 5/21 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 人工歯排列 1 | 審美的基礎知識、人工歯の種類 | 大木 明子 | 到達目標: 6,7 |
| | | | 室 | | 前歯部人工歯の排列 | | |
| | | | | | | | |

| I | | | | = | | | |
|-------|------|-------------|------|-------------|------------------|-------|-------------|
| 11 | 6/4 | 10:00-10:50 | 第1講義 | 人工歯排列2 | 日歯部人工歯の排列 | 大木 明子 | 到達目標: 6,7 |
| | | | 室 | | | | |
| 12-13 | 6/11 | 09:00-10:50 | 第1講義 | ろう義歯試適 歯肉形 | 研磨面形態の意義、ろう義歯の試 | 大木 明子 | 到達目標: 7 |
| | | | 室 | 成 | 適、歯肉形成法 | | |
| 14 | 6/25 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 埋没と重合 | 埋没、流ろう、重合、義歯の取り出 | 大木 明子 | 到達目標: 8 |
| | | | 室 | | L | | |
| 15 | 7/2 | 10:00-10:50 | 第1講義 | 咬合器再装着、削合、研 | 咬合器再装着、選択削合の理論と | 大木 明子 | 到達目標: 9 |
| | | | 室 | 磨 | 実際、自動削合、研磨の意義と実 | | |
| | | | | | 際 | | |
| 16 | 7/7 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 義歯の装着 | 患者口腔内への装着 | 大木 明子 | 到達目標:10 |
| | | | 室 | | | | |
| 17–18 | 7/9 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 患者指導と調整 その | 義歯管理の必要性 リラインとリ | 大木 明子 | 到達目標: 10,11 |
| | | | 室 | 後の変化と対応 | ベース | | |
| 19 | 7/16 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 義歯の修理 | 義歯修理法 | 大木 明子 | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | | | |
| 20 | 7/21 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 金属床義歯 | 金属床義歯の利点と欠点、鋳造金 | 大木 明子 | 到達目標:12 |
| | | | 室 | | 属床義歯の製作 | | |

授業方法

講義、演習

成績評価の方法

- ・期末試験(100点)で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures/全国歯科技工士教育協議会 編鈴木哲也 ほか著,鈴木, 哲也, 1954-,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

参考書

よい義歯だめな義歯: 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール/鈴木哲也著鈴木, 哲也(歯科学),:クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャー: 鈴木哲也のマスター1: ランクアップのための知恵と技/鈴木哲也, 古屋純一 著,鈴木, 哲也, 1954-,古屋, 純ー,:デンタルダイヤモンド社, 2017

無歯顎補綴治療学/市川哲雄 [ほか] 編、市川、哲雄、大川、周治、平井、敏博、細井、紀雄、: 医歯薬出版、2016

バウチャー無歯顎患者の補綴治療/Zarb [ほか] 編著 ; 田中久敏, 古谷野潔, 市川哲雄監訳,Zarb, George A. (George Albert),田中, 久敏, 古谷野, 潔市川, 哲雄: 医歯薬出版, 2008

他科目との関連

一部、咬合学と連動しています。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023535 | 023535 | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 全部床義歯工学実習 | 全部床義歯工学実習 科目 ID DE-253500-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 塩沢 真和 | 大木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 3 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

必修 120 時間

主な講義場所

- 2号館第3実習室
- 2号館重合鋳造室
- 2号館総合実習室

授業の目的、概要等

無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた形態と機能を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、全部床義歯を製作する。

授業の到達目標

- 1. スタディモデルからランドマークを読み取る。
- 2. リリーフとブロックアウトの意義を理解し実施できる。
- 3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作する。
- 4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施できる。
- 5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作する。
- 6. 丁寧で正確なワックス操作を行える。
- 7. 模型を適切に咬合器に装着できる。
- 8. 適切な人工歯排列ができる。
- 9. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。
- 10. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。
- 11. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。
- 12. 選択削合・自動削合を行える。
- 13. 義歯の形態修正、研磨を行える。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|------------|------------------|--------|-----------|
| 1-2 | 4/7 | 15:00-16:50 | 第3実習 | 実習道具の名称と種類 | 全部床義歯実習の概要説明 | 大木 明子, | 各自で購入する |
| | | | 室 | 全部床義歯製作の概説 | | 塩沢 真穂 | 道具を購入して持 |
| | | | | | | | 参すること。実習 |
| | | | | | | | 道具を購入しに |
| | | | | | | | 行くので料金を準 |
| | | | | | | | 備しておくこと。 |
| 3–6 | 4/9 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 個人トレー製作1 | 個人トレー外形線記入、ブロックア | 大木 明子, | 到達目標: 1,2 |
| | | | 室 | | ウト、リリーフ | 塩沢 真穂 | |
| 7–9 | 4/14 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 個人トレー製作2 | オストロン圧接 | 大木 明子, | 到達目標:3 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 10-13 | 4/16 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 個人トレー製作3 | オストロン圧接、トミリング | 大木 明子, | 到達目標:3 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 14-17 | 4/21 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 個人トレー製作4 | 柄・フィガーレスト | 大木 明子, | 到達目標: 3,4 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 18-21 | 4/23 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 個人トレー製作5 | コンパウンド付与、完成 | 大木 明子, | 到達目標:3 |
| | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 実習室 | | | 鈴木 哲也 | |

| ——— | | Γ | | I | T | Т | T |
|-------|--------|--------------|----------|--------------------------|---------------------------------------|----------------|-----------------|
| 22–24 | 4/28 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 咬合床製作1 | 外形線記入、ブロックアウト、リリ | 大木 明子, | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | ーフ | 塩沢 真穂 | |
| 25–27 | 4/30 | 09:00-11:50 | 第3実習 | 咬合床製作2 | 基礎床製作 | 大木 明子, | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 28-30 | 4/30 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 咬合床製作2 | 基礎床製作 | 大木 明子, | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 31-32 | 5/7 | 10:00-11:50 | 第3実習 | 咬合床製作4 | 基礎床製作、ろう堤形成 | 大木 明子, | 到達目標: 5,6 |
| | | | 室 | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 33-35 | 5/7 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 咬合床製作5 | ろう堤形成 | 大木 明子. | 到達目標: 5,6 |
| | -, . | | 室 | 34113411 | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 36-39 | 5/12 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 咬合床製作 6 | 咬合床の完成 | 大木 明子. | |
| บบ บช | J/ 1Z | 11.00-10.00 | 安 | スロル衣Hリ | マスロバマノル以 | | ェルモロ1示・0 |
| 40.40 | F /4.4 | 1000 1550 | | 마소스 마사 목 | コポルルナ・コレのアナ サヘロ | 塩沢 真穂 | 本小寺 口 4年 - 7 |
| 40-42 | 5/14 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 咬合 器装着 | スプリットキャストの形成、咬合器 | 大木明子, | 到達目標: 7 |
| | | | 室、総合 | | 装着 | 塩沢 真穂 | |
| | | | 実習室 | | | 鈴木 哲也 | |
| 43–46 | 5/21 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 前歯部人工歯排列 1 | 前歯部人工歯排列(上顎①) | 大木 明子, | 到達目標: 8 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 47–50 | 5/26 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 前歯部人工歯排列2 | 前歯部人工歯排列(上顎②) | 大木 明子, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 51-54 | 5/28 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 前歯部人工歯排列3 | 前歯部人工歯排列3 | 大木 明子, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 55-58 | 6/2 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 前歯部人工歯排列4 | 前歯部人工歯排列(下顎②) | 大木 明子. | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 59-62 | 6/4 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 日歯部人工歯排列 1 | 臼歯部人工歯排列(下顎①) | 大木 明子. | 到達目標:9,10 |
| 00 02 | 0, 1 | 11.00 10.00 | 室 | 口面間の(二面別)が | | 塩沢 真穂 | FIXED N. 0,10 |
| | | | ± | | | 鈴木 哲也 | |
| 62_66 | 6/0 | 11.00, 15.50 | 笠の字羽 | にかかり、工場は別り | 日東部人工東排列(下顎②) | | 四次日/声.0.10 |
| 63–66 | 6/9 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 臼歯部人工歯排列 2 | □西叩△土圏折夘八門根∠川 | 大木明子, | 到達目標:9,10 |
| | 0//: | 44.00 :=== | 室 | rather I as in little in | | 塩沢 真穂 | 不小土口/平 。 |
| 67–70 | 6/11 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 臼歯部人工歯排列 3 | 臼歯部人工歯排列(上顎①) | 大木 明子, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 鈴木 哲也 | |
| 71–74 | 6/16 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 臼歯部人工歯排列 4 | 臼歯部人工歯排列(上顎②) | 大木 明子, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 75–77 | 6/18 | 09:00-11:50 | 第3実習 | 歯肉形成 1 | 歯肉形成(上顎) | 鈴木 哲也, | 到達目標:11 |
| | | <u></u> | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 78-80 | 6/18 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 歯肉形成 2 | 歯肉形成(上顎) | 鈴木 哲也, | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 81-84 | 6/23 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 歯肉形成3 | 歯肉形成(上顎)(下顎) | 大木 明子, | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | 塩沢 真穂 | |
| l | - / | 10:00-15:50 | 第3実習 | 歯肉形成4 ろう義歯の | 歯肉形成(下顎) 一次埋没 | 大木明子 | |
| 85–89 | 6/25 | | 7,-7,- | | | 2 4 14 19 13 1 | ~ ~~ H I/A · !! |
| 85–89 | 6/25 | | 室 総合 | 埋没 1 | | 塩沢 直穂 | |
| 85-89 | 6/25 | | 室 総合 実習室 | 埋没1 | | 塩沢 真穂 鈴木 哲也 | |

| ٠. | | | | | | | | |
|----|-------|------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|------------|
| | 90-93 | 6/30 | 11:00-15:50 | 第3実習 | ろう義歯の埋没2 流ろ | 二次埋没、三次埋没 流ろう | 大木 明子, | 到達目標: 12 |
| | | | | 室 総合 | う | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | | |
| | 94-97 | 7/2 | 11:00-15:50 | 第3実習 | レジン填入・重合 | 填入、重合 | 大木 明子, | 到達目標: 12 |
| | | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | 鈴木 哲也 | |
| | 98-10 | 7/7 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 割り出し・咬合器の再装 | 模型の割り出し・咬合器の再装着 | 大木 明子, | 到達目標: 12 |
| | 0 | | | 室 総合 | 着、削合1 | 選択削合 | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | | |
| | 101-1 | 7/9 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 削合2 | 選択削合、自動削合 | 大木 明子, | 到達目標:12-13 |
| | 04 | | | 室 | | | 鈴木 哲也 | |
| | 105-1 | 7/14 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 形態修正 | 形態修正 | 大木 明子, | 到達目標: 13 |
| | 08 | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | | |
| | 109-1 | 7/16 | 10:00-13:50 | 第3実習 | 形態修正·研磨1 | 形態修正、荒研磨 | 大木 明子, | 到達目標: 13 |
| | 11 | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | 鈴木 哲也 | |
| | 112-1 | 7/16 | 14:00-15:50 | 第1講義 | 有床義歯特論 | 広島大学の研究活動 | 二川 浩樹 | 場所が違うので |
| | 13 | | | 室 | | | | 注意すること |
| | 114-1 | 7/21 | 13:00-15:50 | 第3実習 | 形態修正•研磨2 | 荒研磨、レーズ研磨 | 大木 明子, | 到達目標:14 |
| | 16 | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | | |
| | 117–1 | 7/28 | 11:00-15:50 | 第3実習 | 形態修正•研磨3 | レーズ研磨、艶出し完成 | 大木 明子, | 到達目標:14 |
| | 20 | | | 室 総合 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | | |

授業方法

実習

成績評価の方法

- ・製作作品(個人トレー上下 20 点、咬合床上下 20 点、ろう義歯上下 20 点、完成義歯上下 20 点、咬合状態 20 点)(合計 100 点)を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

実習帳やデモビデオを事前に予習してから実習に出席すること。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

教科書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures/全国歯科技工士教育協議会 編鈴木哲也 ほか著,鈴木, 哲也, 1954-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

無歯顎補綴治療学/市川哲雄 [ほか] 編,市川, 哲雄,大川, 周治,平井, 敏博,細井, 紀雄,: 医歯薬出版, 2016

よい義歯だめな義歯: 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール/鈴木哲也著,鈴木, 哲也(歯科学),: クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャー: 鈴木哲也のマスター1: ランクアップのための知恵と技/鈴木哲也, 古屋純一 著,鈴木, 哲也, 1954-,古屋, 純一,: デンタルダイヤモンド社, 2017

コンプリートデンチャーテクニック/細井紀雄 [ほか] 編,細井, 紀雄,平井, 敏博,長岡, 英一,赤川, 安正,鈴木, 哲也(歯科学),大川, 周治,: 医歯薬出版, 2011

他科目との関連

一部咬合学と連動しています。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023536A | | | | | | | | |
|----------|----------------|----------------------|-------------|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 部分床義歯工学 | 科目ID | DE-253600-L | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂[SHIOZAW/ | 塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

主な講義場所

2号館第2講義室

授業の目的、概要等

部分的な歯の欠損の病態を理解し、部分床義歯による補綴治療で口腔の形態的、機能的回復をはかる意義を理解する。部分床義歯の構成要素および義歯の安定をはかるための理論を理解し、部分床義歯の製作方法を習得する。

授業の到達目標

- 1. 部分的な歯の欠損とその治療の目的と意義について説明できる。
- 2. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化と治療への影響を説明できる。
- 3. 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義を説明できる。
- 4. 部分床義歯の構成要素を説明できる。
- 5. 部分床義歯に加わる力への対応を理解し、義歯の構成要素を説明できる。
- 6. 部分床義歯の支持・把持・維持の考え方を説明できる。
- 7. 支台装置の種類、構造、機能などを説明できる。
- 8. 部分床義歯の連結子と義歯床が果たす役割を説明できる。
- 9. 部分床義歯製作のための前処置を説明できる
- 10. 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を説明できる。
- 11. 部分床義歯の設計の基本原則と順序を説明できる。
- 12. 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を説明できる。
- 13. 金属フレームワークの特徴と製作方法を説明できる。
- 14. 人工歯排列の基本原則とろう義歯の試適時の診査項目を説明できる。
- 15. 部分床義歯の埋没、重合方法を説明できる。
- 16. 部分床義歯の装着後の変化を生体と義歯に分けて説明できる。
- 17. 部分床義歯の破損や不適合と、それらに対応する修理とリラインの技法を説明できる。
- 18. 種々の状況における部分床義歯の役割について知り、多様な治療法を説明できる。

| 回 日付 時刻 講義室 授業題目 授業内容 担当教員 | 備考 |
|---|-----------|
| 1-3 10/1 09:00-11:50 第2講義 部分床義歯概論、欠損 部分床義歯の特徴、歯の欠損によ 鈴木 哲也 | 到達目標:1-4 |
| 室 に由来する口腔の変化 る顎口腔系組織の障害 歯の欠 塩沢 真穂 | |
| 歯の欠損様式と部分床 損様式の分類、部分床義歯の分 | |
| 義歯の分類 部分床義 類 部分床義歯の構成要素、製作 | |
| 歯の構成要素 手順 | |
| 4-5 10/8 09:00-10:50 第2講義 部分床義歯に加わるカ 義歯に加わるカ、支台歯と顎堤の 鈴木 哲也 | 到達目標:5,6 |
| 室 への対応 支持・把持・ 負担能力 義歯の安定に関与す | |
| 維持る各構成要素、支持に関与する構 | |
| 成要素、支持様式による義歯の分 | |
| 類 | |
| 6-7 10/15 09:00-10:50 第2講義 支台装置1 レストの機能と種類、隣接面板、ク 鈴木 哲也 | 到達目標:7 |
| 室 ラスプの種類と設計 サベイング | |
| の目的と技法 | |
| 8-9 10/22 09:00-10:50 第2講義 支台装置2 連結子と義 アタッチメントの分類と機能 連結 鈴木 哲也 | 到達目標: 7,8 |
| 室 歯床 1 装置の役割と所要条件、大連結子 | |
| の種類と特徴 | |
| | |

| 10 | 10/29 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 連結子と義歯床 2 | 小連結子、義歯床の役割と要件 | 鈴木 哲也 | 到達目標:8 |
|-------|-------|-------------|------|------------|------------------|--------|------------|
| | | | 室 | | | | |
| 11 | 11/5 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 前処置と印象採得 | 広義の前処置と狭義の前処置、印 | 鈴木 哲也 | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | 象法の種類と特徴、印象材料、印 | | |
| | | | | | 象用トレー | | |
| 12 | 11/12 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 義歯の設計 | 義歯設計の原則、支台歯選択と支 | 鈴木 哲也 | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | 台歯間線 | | |
| 13 | 11/19 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 咬合採得 | 歯列対向関係の違いと咬合採得 | 鈴木 哲也 | 到達目標:12 |
| | | | 室 | | の術式、咬合床の種類、咬合器装 | | |
| | | | | | 着 | | |
| 14 | 11/26 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 金属床義歯 | フレームワークの構造と製作 | 鈴木 哲也 | 到達目標:13 |
| | | | 室 | | | | |
| 15 | 12/3 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 人工歯排列 義歯の重 | 人工歯の選択、人工歯排列 埋 | 鈴木 哲也 | 到達目標:14,15 |
| | | | 室 | 合•研磨 | 没、流ろう、重合 | | |
| 16 | 12/10 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 義歯装着後の変化と対 | 義歯装着後の口腔内の変化、義 | 鈴木 哲也 | 到達目標:16,17 |
| | | | 室 | 応 | 歯の修理、リライン・リベース | | |
| 17–18 | 12/17 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 様々な部分床義歯の治 | コーヌスクローネ義歯、アタッチメ | 笛木 賢治, | 到達目標:18 |
| | | | 室 | 療法とその特徴 | ント義歯 ノンメタルクラスプデン | 河野 英子 | |
| | | | | | チャー | | |
| 19 | 1/28 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 部分床義歯の設計演習 | 義歯の設計(グループディスカッ | 塩沢 真穂 | 到達目標:1-18 |
| | | | 室 | 1 | ション) | | |
| 20 | 2/4 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 部分床義歯の設計演習 | 義歯の設計(グループ発表) | 塩沢 真穂 | 到達目標:1-18 |
| | | | 室 | 2 | | | |

成績評価の方法

- ・期末試験(100点)で総合的評価を行う。
- ・出席状況と授業態度(グループディスカッションへの参加度を含む)を加味する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

スタンダードパーシャルデンチャー補綴学/藍稔, 五十嵐順正 編集・執筆,藍, 稔, 1933-,五十嵐, 順正, 1947-,: 学建書院, 2016

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures/全国歯科技工士教育協議会 編鈴木哲也 ほか著,鈴木, 哲也, 1954-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023537A | | | | | | | |
|----------|-------------|---|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 部分床義歯工学実習 | 『分床義歯工学実習 I 科目 ID DE-253700-E | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂 岩崎 直流 | 塩沢 真穂, 岩崎 直彦, 土田 優美[SHIOZAWA Maho, IWASAKI NAOHIKO, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 4 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

主な講義場所

第3実習室、重合・鋳造室、総合実習室

授業の目的、概要等

口腔の形態的、機能的回復をはかるための部分床義歯の製作方法を習得し、各構成要素が具備すべき条件および使用する材料の性質を理解し、部分床義歯を製作する。

授業の到達目標

- 1. 部分歯列欠損症例の個人トレーが製作できる。
- 2. 部分歯列欠損症例の咬合床が製作できる。
- 3. 顎位を保持して作業模型を咬合器に装着できる。
- 4. 作業模型のサベイングを行い、支台装置の設計ができる。
- 5. 作業模型のブロックアウトとリリーフができる。
- 6. 外形線に沿ってワイヤークラスプの屈曲ができる。
- 7. 直接法で鋳造用パターンが採得できる。
- 8. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。
- 9. コバルトクロム合金の鋳造ができる。
- 10. 鋳造体の形態修正を行い作業用模型に適合させることができる。
- 11. 鋳造体の研磨ができる。
- 12. 複印象を採得し、耐火模型を製作できる。
- 13. 耐火模型上で支台装置のワックスアップができる。
- 14. 耐火模型の型ごと埋没ができる。
- 15. 支台装置のろう付けとレーザー溶接ができる。
- 16. 審美性と機能性に配慮して人工歯排列ができる。
- 17. 機能性と生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。
- 18. ろう義歯の埋没ができる。
- 19. 加熱重合レジンの填入と重合ができる。
- 20. 義歯の割り出しができる。
- 21. 人工歯の削合・調整ができる。
- 22. レジン床の形態修正と研磨ができる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|------------|-------------------|-------|----------|
| 1-4 | 10/1 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 部分床義歯製作の概 | 部分床義歯実習の概要説明、個人 | 塩沢 真穂 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | 説、個人トレー製作 | トレー外形線記入、ブロックアウ | 岩崎 直彦 | |
| | | | | | ト、リリーフ | | |
| 5–8 | 10/6 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 個人トレー製作 | 常温重合レジン圧接、トリミング | 塩沢 真穂 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 9-13 | 10/8 | 11:00-16:50 | 第3実習 | 個人トレー製作 | トレートリミング、柄・フィンガーレ | 塩沢 真穂 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | スト付与、個人トレ一完成 | 岩崎 直彦 | |
| 14-17 | 10/13 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 咬合床製作 | 外形線記入、ブロックアウト、リリ | 塩沢 真穂 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | | 一フ、常温重合レジン圧接 | 岩崎 直彦 | |
| 18-23 | 10/15 | 11:00-17:50 | 第3実習 | 咬合床製作 | 基礎床トリミング、ろう堤形成 | 塩沢 真穂 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 24-27 | 10/20 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 咬合器装着、支台装置 | 咬合器装着、サベイング、支台装 | 塩沢 真穂 | 到達目標:3,4 |
| | | | 室 | 設計 | 置設計 | 岩崎 直彦 | |

| | | | · | | | | , |
|----------|--------|-------------|---------------|--|-------------------|------------------|-----------------|
| 28-32 | 10/22 | 11:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | ブロックアウト、ワイヤークラスプ | 塩沢 真穂 | 到達目標:5,6 |
| | | | 室 | | 屈曲 | 岩崎 直彦 | |
| 33-36 | 10/27 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | ワイヤークラスプ屈曲 | 塩沢 真穂 | 到達目標:6 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 37-42 | 10/29 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 上顎支台装置(鋳造レスト、鋳造ク | 塩沢 真穂 | 到達目標:7 |
| | | | 室 | | ラスプ)パターン採得 | 岩崎 直彦 | |
| 43-48 | 11/5 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 上顎支台装置パターン埋没、鋳造 | 塩沢 真穂 | 到達目標:7-9 |
| | | | 室 | | リンガルバーパターン採得 | 岩崎直彦 | |
| 49-52 | 11/10 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | リンガルバーパターン埋没、鋳造 | 塩沢 真穂 | 到達目標:8,9 |
| | , | | 室 | 2112000 | | 岩崎直彦 | |
| 53-58 | 11/12 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | リンガルバー適合確認、研磨 上 | 塩沢真穂 | 到達目標:10,11 |
| 00 00 | 11712 | 10.00 10.00 | 室 | ALAEAN TO THE PARTY OF THE PART | 領支台装置適合確認、研磨 | 岩崎直彦 | 2000 pr. 10, 11 |
| 59-62 | 11/17 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | | 塩沢 真穂 | 到達目標:12 |
| 39-02 | 11/1/ | 13.00-10.50 | 字 | 又口衣但表TF | 下顎複印象採得 | 塩パ 真徳 岩崎 直彦 | 到建日标:12 |
| | 11 (10 | 1000 1050 | | + /\\+\\ | | | 70本口槽 40 40 |
| 63-68 | 11/19 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 耐火模型製作、下顎支台装置ワッ | 塩沢 真穂 | 到達目標:12,13 |
| <u> </u> | | | 室 | | クスアップ | 岩崎直彦 | |
| 69–74 | 11/26 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | ト顎支台装置ワックスアップ | 塩沢真穂 | 到達目標:13 |
| | | | 室 | | | 岩崎直彦 | |
| 75–78 | 12/1 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 下顎支台装置型ごと埋没、鋳造 | 塩沢 真穂 | 到達目標:14 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 79–84 | 12/3 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 下顎支台装置形態修正、適合確認 | 塩沢 真穂 | 到達目標:10,11 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 85–88 | 12/8 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | 下顎支台装置適合確認、研磨 | 塩沢 真穂 | 到達目標:10,11 |
| | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 89-94 | 12/10 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | ろう付け、レーザー溶接、研磨 | 塩沢 真穂 | 到達目標:15 |
| | | | 室、総合 | | | 岩崎直彦 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 95–98 | 12/15 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 支台装置製作 | ろう付け、レーザー溶接、研磨 | 塩沢 真穂 | 到達目標:15 |
| | | | 室 総合 | | | 岩崎直彦 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 99–10 | 12/17 | 11:00-16:50 | 第3実習 | 人工歯排列 | 前歯部人工歯排列 | 塩沢 真穂 | 到達目標:16 |
| 3 | 12/1/ | 11.00 10.00 | 室 | 八二四万万 | い。西田の人工四分が | 岩崎 直彦 | 70年日禄.10 |
| | 12/22 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 人工歯排列 | 臼歯部人工歯排列 | 塩沢 真穂 | 到達目標:16 |
| 104–1 | 12/22 | 13.00-10:30 | 第3美官 | 八二国形列 | 山圏叩八土樹がツ | | 判廷口标。10 |
| 100.1 | 4 /7 | 00.00 10.50 | - | | 「1集却」「実験をは、 | 岩崎直彦 | 五小幸口+西 40 43 |
| 108-1 | 1/7 | 09:00-16:50 | 第3実習 | 人工歯排列、歯肉形成 | 日歯部人工歯排列、歯肉形成 | 塩沢真穂 | 到達目標:16,17 |
| 14 | | 10.5- | 室 | 15-4-W4-15 | 15-4-W/-P | 岩崎直彦 | T.0.+ E. I. |
| 115–1 | 1/12 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 歯肉形成 | 歯肉形成 | 塩沢真穂 | 到達目標:17 |
| 18 | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 119–1 | 1/14 | 09:00-16:50 | 第3実習 | 埋没 | 一次埋没 | 塩沢真穂 | 到達目標:18 |
| 25 | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| 126-1 | 1/19 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 埋没 | 二次埋没、三次埋没 | 塩沢 真穂 | 到達目標:18 |
| 29 | | | 室 | | | | |
| 130-1 | 1/21 | 09:00-16:50 | 第3実習 | 填入、重合 | 流ろう、填入、重合 | 塩沢 真穂 | 到達目標:19 |
| 36 | | | 室 総合 | | | 岩崎 直彦 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 137-1 | 1/26 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 咬合器再装着 | 割り出し、咬合器再装着 | 塩沢 真穂 | 到達目標:20 |
| 40 | | | 室 | | | | |
| 141-1 | 1/28 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 削合 | 削合 | 塩沢 真穂 | 到達目標:21 |
| 46 | | | 室 | | | 岩崎直彦 | |
| -10 | l | <u> </u> | L | <u> </u> | | 1477 12/2 | <u> </u> |

| Ĭ | 147-1 | 2/2 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 研磨 | 形態修正、荒研磨 | 塩沢 真穂 | 到達目標:22 |
|---|-------|-----|-------------|------|----|-------------|-------|---------|
| | 50 | | | 室 | | | | |
| | 151-1 | 2/4 | 10:00-16:50 | 第3実習 | 研磨 | レーズ研磨 | 塩沢 真穂 | 到達目標:22 |
| | 56 | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |
| | 157-1 | 2/9 | 13:00-16:50 | 第3実習 | 研磨 | レーズ研磨、艶出し完成 | 塩沢 真穂 | 到達目標:22 |
| | 60 | | | 室 | | | 岩崎 直彦 | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、製作物(個人トレー15点、咬合床 15点、完成義歯 60点)で総合的に評価する。
- ・授業態度を加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

参考書

有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures/全国歯科技工士教育協議会 編鈴木哲也 ほか著,鈴木, 哲也, 1954-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

パーシャルデンチャーテクニック/五十嵐順正 [ほか] 編五十嵐, 順正,石上, 友彦,大久保, 力廣,岡崎, 定司,馬場, 一美横山, 敦郎: 医歯薬出版, 2012

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

岩崎 直彦 メールにて日時を相談 iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023539A | 23539A | | | | | | | | |
|----------|----------------|------------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯冠修復工学 | 冠修復工学 科目 ID | | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣[IKEDA MA | 也田 正臣[IKEDA MASAOMI] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 020 年度後期 対象年次 2 | | | 2 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

時間数:30時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館第2講義室

授業の目的、概要等

歯冠修復治療の手順と補綴装置の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。また、補綴治療に求められる機能性、審美性、生体親和性を学ぶことにより、口腔内で長期間安定するために必要な歯冠修復および架工義歯の条件を理解する。

授業の到達目標

- 1. 歯冠修復の適応と意義を説明できる。
- 2. う蝕治療の流れと歯冠修復物の特徴を説明できる。
- 3. 築造と仮封冠の目的を説明できる。
- 4. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。
- 5. 印象法と咬合採得の意義について説明できる。
- 6. 作業用模型の種類と取り扱い方を説明できる。
- 7. ろう型採得と埋没および鋳造の方法について説明できる。
- 8. 研磨の手法を説明できる。
- 9. 試適と咬合接触および合着の手順を説明できる。
- 10. 模型と生体との違いを説明できる。
- 11. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明できる。
- 12. 術前のテンポラリークラウンの調整について説明できる。
- 13. 窩洞形態とマージン形態を説明できる。
- 14. ファイバーコアとメタルコアの違いを説明できる。

| | 4 | | | | | | |
|-------|-------|-------------|------|-------------|-----------------|-------|----------|
| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 10/7 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯冠修復工学総論 | 歯冠修復物の種類と目的 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | | | |
| 3-4 | 10/14 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 全部鋳造冠 | 全部鋳造冠の特徴、支台形態 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 2 |
| | | | 室 | | | | |
| 5-6 | 10/21 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯内療法学概論 1 | 歯内療法学における基本的な治 | 金子 友厚 | 到達目標 2 |
| | | | 室 | | 療 | | |
| 7–8 | 10/28 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯内療法学概論2 | 歯内療法学における基本的な治 | 金子 友厚 | 到達目標 2 |
| | | | 室 | | 療根管充填実習 | | |
| 9-10 | 11/4 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 築造、仮封冠 | 築造の目的、仮封冠の目的 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 3 |
| | | | 室 | | | | |
| 11-12 | 11/11 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 間接法、印象法 | 間接法の寸法精度、補償理論 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 4,5 |
| | | | 室 | | 印象に用いられる材料、必要精 | | |
| | | | | | 度、特徴 | | |
| 13-14 | 11/18 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 咬合採得、作業用模型、 | 咬合採得に用いる材料と方法、注 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 5-7 |
| | | | 室 | ろう型採得 | 意点、各種模型の特質 内面の | | |
| | | | | | 適合精度、外面形態:咬合面、隣 | | |
| | | | | | 接面、頬舌面 | | |

| Ĭ | 15–16 | 11/25 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 埋没、鋳造、研磨 | スプル一線の植立、埋没操作 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 7,8 |
|---|-------|-------|-------------|------|----------|--------------------|-------|------------|
| | | | | 室 | | 埋没材の変化、ワックスの焼却 | | |
| | 17–18 | 12/2 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 埋没、鋳造、研磨 | 鋳造用合金、鋳造体の熱処理 研 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 7,8 |
| | | | | 室 | | 磨の目的、研磨器具の種類と特徴 | | |
| | 19–20 | 12/9 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 試適、合着 | 接触点の調整、咬合調整 セメン | 野﨑 浩佑 | 到達目標 9 |
| | | | | 室 | | トの種類、浮き上がり防止策 | | |
| | 21-22 | 12/16 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 間接法と生体 | 顎骨の歪みや歯の微小変位が間 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 10 |
| | | | | 室 | | 接法に与える影響 | | |
| | 23-24 | 1/13 | 09:00-10:50 | 第2講義 | ブリッジ | ポンティックの形態 術前 Tek 調 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 11,12 |
| | | | | 室 | | 整、ブリッジの調整とセット | | |
| | 25-26 | 1/20 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 支台歯·窩洞形態 | 各種修復物の支台歯・窩洞形態 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 13 |
| | | | | 室 | | | | |
| | 27-28 | 1/27 | 09:00-10:50 | 第2講義 | マージン形態 | 各種修復物のマージン形態 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 13 |
| | | | | 室 | | | | |
| | 29-30 | 2/3 | 09:00-10:50 | 第2講義 | ファイバーコア | ファイバーコアの特徴、歯根破折 | 野﨑 浩佑 | 到達目標 14 |
| | | | | 室 | | | | |
| | | | | | | | | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、課題学習(10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総括的に評価する。
- ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
- ・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版, 2017

参考書

保存修復学 21/田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集田上, 順次阿南, 壽奈良, 陽一郎山本, 一世,斎藤, 隆史,:永末書店, 2017 クラウンブリッジ補綴学/矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之,細川, 隆司,: 医歯薬出版, 2014

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023541A | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 歯冠修復工学基礎実 | 短行修復工学基礎実習 科目 ID DE-254100-E | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 土田 優勢 | 池田 正臣, 土田 優美[IKEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 2 | 単位数 | 4 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

時間数:165 時間 授業形態:実習

主な講義場所

2号館第3実習室

2号館重合鋳造室

2号館総合実習室

2号館硬質レジン実習室

授業の目的、概要等

歯冠修復物の製作に必要な基本的要件を理解し、正確で迅速な歯科技工操作に求められる基礎的技術および知識を修得する。また、製作に用いる器材の取り扱い方法を学び、機能的および形態的に残存歯と調和の取れた歯冠補綴装置を製作するための基礎的な技術を習得する。

授業の到達目標

- 1. 技工器具を用いて精度の高い模型を製作する。
- 2. 精度の高いろう型を採得する。
- 3. 埋没・鋳造方法について説明できる。
- 4. 適合と形態を修正する。
- 5. 個歯トレーと暫間被覆冠を製作する。
- 6. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。
- 7. 鏡面研磨する。
- 8. レジン前装冠前装部を窓開けする。
- 9. 前装用レジンを築盛する。
- 10. ファイバーコアを製作する。

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|------------|
| 1–3 | 10/2 | 09:00-11:50 | 第3実習 | 実習の進め方模型製 | 実習の進め方、実習室の使い方、 | 池田 正臣 | 到達目標 1 |
| | | | 室 | 作 | 技工器具・器機の使い方 模型ト | | |
| | | | | | リミング | | |
| 4–6 | 10/5 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 模型製作 | ダウエルピン植立、二次石膏、三 | 池田 正臣, | 到達目標 1 |
| | | | 室 | | 次石膏 | 土田 優美 | |
| 7–10 | 10/7 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 模型製作 | 模型分割 | 池田 正臣, | 到達目標 1 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 11-14 | 10/9 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 咬合器装着 | 咬合器装着 | 池田 正臣 | 到達目標 1 |
| | | | 室 | | | | |
| 15–18 | 10/14 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 歯型のマージン出し | 歯型のマージン出し | 池田 正臣, | 到達目標 1 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 19–21 | 10/19 | 13:00-13:50 | 第3実習 | メタルコアのワックスパ | メタルコアのワックスパターンの | 池田 正臣, | 到達目標 2 |
| | | | 室 | ターンの製作 | 製作 | 土田 優美 | |
| 22-25 | 10/21 | 11:00-11:50 | 第3実習 | メタルコアのワックスパ | メタルコアのワックスパターンの | 池田 正臣, | 到達目標 2 |
| | | | 室 | ターンの製作 | 製作 | 土田 優美 | |
| 26–28 | 10/23 | 13:00-13:50 | 第3実習 | メタルコアの埋没 | スプルーイング、埋没 | 池田 正臣 | 到達目標 2,3 非 |
| | | | 室 | | | | 常勤講師 市原 |
| | | | | | | | 謙一 |
| 29-31 | 10/26 | 13:00-13:50 | 第3実習 | メタルコアの鋳造 | 鋳造 | 池田 正臣, | 到達目標 2,3 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |

| 36–40 1 | 10/28 | 11:00-11:50 | 第3実習室 | メタルコアの完成 分割コアのワックスパタ | 形態修正、完成 分割ロアのワックスパターンの製 | 土田 | 正臣, 優美 | 到達目標 4 |
|-----------|-------|-------------|-------|-------------------------|----------------------------|-----|-----------|----------------|
| | 10/30 | 10:00-10:50 | | 分割ロアのワックスパタ | 八字一マのロックスパクト・の制 | | | |
| | 10/30 | 10:00-10:50 | 第3美智 | 分割口アのワックスバタ | | | | |
| 41-43 | | | 室 | 一ンの製作 | 作 | 池田 | 正臣 | 到達目標 2 |
| | 11/2 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 分割コアのワックスパタ | 分割コアのワックスパターンの製 | 池田 | 正臣, | 到達目標 2 |
| l I | | | 室 | 一ンの製作 | 作 | 土田 | 優美 | |
| 44-47 | 11/4 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 分割コアの埋没 | スプルーイング、埋没 | 池田 | 正臣. | 到達目標 2.3 |
| | , | | 至 | 77177 3712 | | | 優美 | ZIZZI IX I |
| 48-50 | 11/6 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 分割コアの鋳造 | 鋳造 | 池田 | 正臣 | 到達目標 3 非 |
| | | | 室 | | | | | 常勤講師 市原 |
| | | | ļ | | | | | 謙 一 |
| 51-53 | 11/9 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 分割コアの調整 | 調整、形態修正 | 池田 | 正臣. | 到達目標 4 |
| | , - | | 室 | | | | 優美 | |
| 54–57 1 | 11/11 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 分割⊐アの完成 | | | 距. | 到達目標 4 |
| 34-37 1 | 11/11 | 11:00-11:50 | | 万部山がの元成 | 心思修正、无风 | | | 划连口标 4 |
| <u> </u> | | | 室 | | Temporary days as | | 優美 | |
| 58-62 1 | 11/13 | 10:00-10:50 | 第3実習 | 個歯トレー製作 | 個歯トレー製作 | 池田 | 正臣 | 】 到達目標 5 |
| | | | 室 | | | | | |
| 63–65 1 | 11/16 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 暫間被覆冠の歯冠形態 | 暫間被覆冠製作 歯冠形態回復 | 池田 | 正臣, | 到達目標 5,6 |
| | | | 室 | 回復 | | 土田 | 優美 | |
| 66-69 1 | 11/18 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 暫間被覆冠の歯冠形態 | 暫間被覆冠製作 歯冠形態回復 | 池田 | 正臣, | 到達目標 5,6 |
| | | | 室 | 回復 | | 土田 | 優美 | |
| 70-72 1 | 11/20 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 暫間被覆冠製作 | | | 正臣 | 到達目標 5-7 |
| | , | 10.00 | 室 | | AINT SOLV | ,5, | | |
| 70.76 1 | 11/25 | 11.00 11.50 | | クラウンのワックスパタ | クラウンのワックスパターンの概 | жп | 正臣. | 到達目標 2 |
| 73–76 1 | 11/25 | 11:00-11:50 | | | | | | 判连口标 2 |
| | | | 室 | 一ンの製作 | 形製作 | | 優美 | |
| 77–81 1 | 11/27 | 10:00-10:50 | 第3実習 | クラウンのワックスパタ | クラウンのワックスパターンの概 | 池田 | 正臣 | 到達目標 2 |
| | | | 室 | 一ンの製作 | 形製作 | | | |
| 82–84 1 | 11/30 | 13:00-13:50 | 第3実習 | クラウンのワックスパタ | クラウンのワックスパターンの製 | 池田 | 正臣, | 到達目標 2 |
| | | | 室 | 一ンの製作 | 作、マージンのしめ直し | 土田 | 優美 | |
| 85-88 | 12/2 | 11:00-11:50 | 第3実習 | クラウンのワックスパタ | クラウンのワックスパターンの製 | 池田 | 正臣, | 到達目標 2,3 |
| | | | 室 | ーンの製作、クラウンの | 作、マージンのしめ直し、スプル | 土田 | 優美 | |
| | | | | 埋没 | ーイング、埋没 | | | |
| 89-91 | 12/4 | 13:00-13:50 | 第3実習 | クラウンの鋳造 | 鋳造 内面調整 | 池田 | 正臣 | 到達目標 3,4 |
| | | | 室 | | | | | |
| 92–94 | 12/7 | 13:00-13:50 | 第3実習 | クラウンの完成 | | 池田 | 正臣, | 到達目標 4-6 |
| | / . | . 5.55 | 室 | | | | 優美 | |
| 05-00 | 12/0 | 11:00_11:50 | | メタルインレーのワック | メカルインルーのロックフックフッ ク | | | で |
| 95–98 | 12/9 | 11:00-11:50 | 第3実習 | | メタルインレーのワックスパターン | | 正臣, | 到達目標 2 |
| | | | 室 | スパターンの製作 | の概形製作、歯冠形態回復 | | 優美 | Tut E != |
| | 12/11 | 10:00-10:50 | 第3実習 | メタルインレーのワック | メタルインレーのワックスパターン | 池田 | 正臣 | 到達目標 2 |
| 3 | | | 室 | スパターンの製作 | の概形製作、歯冠形態回復 | | | |
| 104–1 1 | 12/14 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 埋没 、鋳造 | スプルーイング、埋没、鋳造 | 池田 | 正臣, | 到達目標 3 |
| 06 | | | 室 | | | 土田 | 優美 | |
| 107–1 1 | 12/16 | 11:00-11:50 | 第3実習 | メタルインレーの鋳造 | 鋳造、適合確認、内面調整、接触 | 池田 | 正臣, | 到達目標 3,4,6,7 |
| 10 | | | 室 | 調整、完成 | 点調整、咬合調整、研磨、完成 | 土田 | 優美 | |
| 111 1 . | 12/18 | 13:00-13:50 | 第3実習 | レジン前装冠のワックス | レジン前装冠のワックスパターン | 池田 | 正臣 | 到達目標 2 |
| 111–1 1 | | | 室 | パターンの製作 | の製作、歯冠形態回復 | | | |
| 111-1 1 | | | | | | | | ļ |
| 13 | 12/21 | 13:00-13:50 | 第3字習 | レジン前装冠のワックス | 窓開け、ワックスパターン完成 | 洲田 | 正臣 | 到達日標 28 |
| 13 | 12/21 | 13:00-13:50 | 第3実習室 | レジン前装冠のワックス パターンの製作 | 窓開け、ワックスパターン完成 | | 正臣, 優美 | 到達目標 2,8 |

| 117-1 | 1/6 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 卒業製作準備 | 卒業製作発表会 | 池田 正臣, | |
|-------|------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|------------|
| 19 | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 120-1 | 1/8 | 09:00-09:50 | 第3実習 | 卒業研究準備 | 卒業研究発表会 | 池田 正臣 | |
| 25 | | | 室 | | | | |
| 126-1 | 1/13 | 11:00-11:50 | 第3実習 | レジン前装冠のリテンシ | スプルーイング、埋没 | 池田 正臣, | 到達目標 3 |
| 29 | | | 室 | ョンビーズ付与、レジン | | 土田 優美 | |
| | | | | 前装冠の埋没 | | | |
| 130-1 | 1/15 | 10:00-10:50 | 第3実習 | レジン前装冠のリテンシ | スプルーイング、埋没 | 池田 正臣 | 到達目標 3 非 |
| 34 | | | 室 | ョンビーズ付与、レジン | | | 常勤講師 市原 |
| | | | | 前装冠の埋没 | | | 謙一 |
| 135-1 | 1/18 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 鋳造、調整 | 鋳造、適合確認、内面調整、接触 | 池田 正臣, | 到達目標 3,4,8 |
| 37 | | | 室 | | 点調整、 | 土田 優美 | |
| 138-1 | 1/20 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 調整、研磨 | フィニッシュライン調整、咬合調 | 池田 正臣, | 到達目標 6,8 |
| 41 | | | 室 | | 整、荒研磨 | 土田 優美 | |
| 142-1 | 1/22 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 前装レジン築盛 | デンティン築盛 | 池田 正臣 | 到達目標 9 |
| 44 | | | 室 | | | | |
| 145-1 | 1/25 | 13:00-13:50 | 第3実習 | 前装レジン築盛 | デンティン築盛 | 池田 正臣, | 到達目標 9 |
| 47 | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 148-1 | 1/27 | 11:00-11:50 | 第3実習 | 前装レジン築盛 | エナメル築盛 | 池田 正臣, | 到達目標 9 |
| 51 | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 152-1 | 1/29 | 10:00-10:50 | 第3実習 | 前装レジン築盛 | エナメル築盛 | 池田 正臣 | 到達目標 9 |
| 56 | | | 室 | | | | |
| 157-1 | 2/1 | 13:00-13:50 | 第3実習 | レジン前装冠の形態修 | 前装レジン築盛、形態修正、研 | 池田 正臣, | 到達目標 4,6,9 |
| 59 | | | 室 | 正、研磨 | 磨、完成 | 土田 優美 | |
| 160-1 | 2/3 | 11:00-11:50 | 第3実習 | レジン前装冠の形態修 | 前装レジン築盛、形態修正、研 | 池田 正臣, | 到達目標 4,6,9 |
| 63 | | | 室 | 正、研磨 | 磨、完成 | 土田 優美 | |
| 164-1 | 2/8 | 13:00-14:50 | 第3実習 | ファイバーコアの築盛 | レジン築盛、形態修正、完成 | 池田 正臣, | 到達目標 4,,10 |
| 65 | | | 室 | | | 土田 優美 | |

成績評価の方法

- ・製作物(コア 10 点、個歯トレー10 点、テック 10 点、インレー10 点、クラウン 20 点、前装冠 30 点、ファイバーコア 10 点) で総括的に評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

クラウンブリッジ補綴学/矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之,細川, 隆司,: 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21/田上順次 [ほか] 監修; 阿南壽 [ほか] 編集、田上, 順次阿南, 壽奈良, 陽一郎、山本, 一世、斎藤, 隆史,: 永末書店, 2017

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

第3学年 履修科目・ユニット

| 時間割番号 | 023503 | | | | | | | |
|----------|-----------------|--------------------------------|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 科学英語Ⅱ | 科学英語Ⅱ 科目 ID DE-310300-L | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子[OKI MEIKO | 大木 明子[OKI MEIKO] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第2講義室

口腔保健工学専攻 CAD/CAM 演習室

授業の目的、概要等

歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解することができる。

授業の到達目標

- 1. 歯学系英語の教科書や研究英論文を読んで内容を理解することができる。
- 2. 英論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成できる。
- 3. 英語の抄録を説明できる。
- 4. 英語の専門用語について日本語、英語で述べることができる。
- 5. 英論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明できる。

授業計画

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|--------|----------|---------------|-------|----------|
| 1-2 | 4/10 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 英語の教科書1 | 概説、教科書(義歯) | 大木 明子 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | | |
| 3–4 | 4/24 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 英語の教科書2 | 教科書(総義歯) | 大木 明子 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | | |
| 5–6 | 5/8 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 英語の教科書3 | 教科書(顎顔面補綴) | 大木 明子 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–8 | 5/22 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 英論文を読む1 | 概説(反転授業)、論文1 | 大木 明子 | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | | | | |
| 9–10 | 6/5 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 英論文を読む2 | 論文2、英文抄録の作成 | 大木 明子 | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | | | | |
| 11 | 7/3 | 09:00-09:50 | CAD/CA | 単語到達度テスト | 英単語到達度テスト | 大木 明子 | 到達目標:4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| 12-13 | 7/10 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 抄読会 1 | 抄読会、プレゼンテーション | 大木 明子 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | | | |
| 14-15 | 7/17 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 抄読会 2 | 抄読会、プレゼンテーション | 大木 明子 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | | | |

授業方法

講義、演習、小テスト、課題発表

成績評価の方法

- ·課題提出:教科書 1·論文 1 課題(各 5 点)、教科書 2-3·論文 2 課題(各 7.5 点)、小テスト(2.5 点)で合計 35 点
- ・単語到達度テスト(5点)、抄読会発表(15点)、期末試験(45点)を総合的に評価し、合否を判定する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

基本的な歯科英語について出題される期末試験を6割以上とらないと再試験とします。

準備学習等についての具体的な指示

事前に WebClass で提示される英文資料を読み、課題を WebClass にて提出すること。抄読会については発表準備を行うこと。事前に十分 予習してから授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

日本人のための医学英語論文執筆ガイド: thinking in English でネイティブレベルの paper を書く/Amanda Tompson, 相川直樹 著,: 医学書院, 2008

MaCracken's Removable Partial Prosthodontics 11th Ed. / AB Carr, GP McGivney, DT Brown: Elsevier Mosby, 2005

Prosthodontic Treatment for Edentulous Patients 13th Ed. / G Zarb, JA Hobkirk, SE Eckert, RF Jacob: Elisevier, 2013

Maxillofacial rehabilitation 3rd Ed./J Beumer III, MT Marunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。

備考

事前に出される課題を行い、提出して、その課題について授業中にまとめていきます。

反転授業が1回あります。事前にビデオを見てくること。授業の初めに小テストを行います。

英単語のテストの日は2号館3階のCAD/CAM演習室に集合してください。

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023506 | | | | | | | |
|----------|----------------|------------------------------------|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | コミュニケーション学 | コミュニケーション学 科目ID DE-330600-L | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂[SHIOZAW/ | 塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

主な講義場所

2号館第2講義室

授業の目的、概要等

歯科医療従事者としてのコミュニケーション能力と医療面接について学び、社会人に必要な接遇とマナーを習得する。

授業の到達目標

- 1. コミュニケーションの構築について説明できる。
- 2. 医療面接について説明できる。
- 3. 組織における人間関係について説明できる。
- 4. 物事をわかりやすく説明できる。
- 5. 口頭表現の基礎を説明できる。
- 6. 適切な敬語を使用できる。
- 7. メールでの依頼ができる。
- 8. 接遇とマナーについて説明できる。
- 9. 就職活動の進め方について説明できる。
- 10. 自己分析方法と結果を解釈できる。
- 11. 将来の展望について発表できる。

授業計画

| | - | | | | | | |
|-------|------|-------------|------|-------------|------------------|---------|-----------|
| 口 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 4/8 | 13:00-15:50 | 第2講義 | コミュニケーション概論 | コミュニケーションの進化、コミュ | 礪波 健一, | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | | ニケーションの構成要素、コミュニ | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | ケーションと認知のフレーミング、 | | |
| | | | | | 認知心理学とメンタルモデル | | |
| 4–6 | 4/15 | 13:00-15:50 | 第2講義 | 医療とコミュニケーショ | 医療コミュニケーション、言語化・ | 礪波 健一, | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | ン | 社会化と治癒、メンタルモデル(解 | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | 釈モデル)の共有、コンセンサス・ | | |
| | | | | | ゲーム | | |
| 7–8 | 4/20 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 説明の方法、口頭表現 | わかりやすい説明、印象のよい話 | 塩沢 真穂 | 到達目標:4,5 |
| | | | 室 | の基礎 | し方(演習) | | |
| 9–10 | 4/27 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 敬語、メールでのコミュ | 敬語の基礎、メールでの依頼(演 | 塩沢 真穂 | 到達目標:6,7, |
| | | | 室 | ニケーション 自己分析 | 習) インターネット自己分析登録 | 樋口 和秀, | 10 |
| | | | | | | 青木 和広 | |
| 11-12 | 5/11 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 就活活動の実際、接遇 | 在学中の就職活動の実際、就職 | 豊田 真奈, | 到達目標:8,9 |
| | | | 室 | とマナー | 後に学ぶ接遇とマナー、社会人に | 久保田 綾乃, | |
| | | | | | 求められる能力やスキルについ | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | て(グループディスカッション) | | |
| 13-15 | 5/18 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 将来の展望 就職活動 | 自分の将来展望について(課題学 | 塩沢 真穂 | 到達目標:4,9, |
| | | | 室 | の現状 | 習発表)自己分析結果の検討、 | 樋口 和秀, | 10, 11 |
| | | | | | エントリーシートの書き方、面接対 | 青木 和広 | |
| | | | | | 策 | | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、課題学習発表(10点)、期末試験(80点)で総合的に評価する。
- ・期末試験の得点率が6割未満の場合は再試験を行う。
- ・授業態度を加味する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編/橋本修, 安部朋世, 福嶋健伸 編著,橋本, 修,安部, 朋世, 1968-,福嶋, 健伸, 三省堂, 2008

大学生のための日本語表現トレーニング 実践編/福嶋健伸, 橋本修, 安部朋世 編著,福嶋, 健伸橋本, 修,安部, 朋世, 1968-,: 三省堂, 2009

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023509 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯科技工士と法律 | 樹村技工士と法律 科目 ID DE-330900-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 西澤 隆原 | 池田 正臣, 西澤 隆廣[IKEDA MASAOMI, Takahiro Nishizawa] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:15 時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館第2講義室

授業の目的、概要等

衛生行政の概要を理解し、厚生労働省を中心とした国の仕組みを理解する。また歯科技工士法を理解し、歯科技工士免許の位置づけを学ぶ。

授業の到達目標

- 1. 衛生行政の概要を把握できる。
- 2. 厚生労働省を中心とした国の仕組みを説明できる。
- 3. 歯科技工士試験について説明できる。
- 4. 歯科技工士免許について説明できる。
- 5. 歯科技工士業務について説明できる。
- 6. 歯科技工所の開設について説明できる。
- 7. 雑則、罰則、附則について説明できる。
- 8. 医療法、歯科医師法、歯科衛生士法との係りについて説明できる。
- 9. 歯科技工指示書と歯科技工録について理解できる。

授業計画

| | -/- | | | I STANKET CO | | 10.11.21 | 144.4. |
|-------|------|-------------|------|--------------|-----------------|----------|-----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/9 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 衛生行政の概要 | 衛生行政の概要 | 池田 正臣 | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | | | |
| 3–4 | 4/16 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科技工士法1 | 総則と歯科技工士免許 | 池田 正臣 | 到達目標 3 |
| | | | 室 | | | | |
| 5–6 | 4/23 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科技工士法 2 | 歯科技工士試験 | 池田 正臣 | 到達目標 4 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–8 | 4/30 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科技工士法3 | 歯科技工士業務 | 池田 正臣 | 到達目標 4 |
| | | | 室 | | | | |
| 9–10 | 5/7 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科技工士法 4 | 歯科技工所 | 池田 正臣 | 到達目標 5, 6 |
| | | | 室 | | | | |
| 11-13 | 5/14 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 歯科技工士法5 | 歯科技工士業務 歯科技工指示 | 池田 正臣 | 到達目標 5-9 |
| | | | 室 | | 書とトレーサビリティーの課題 | | 非常勤講師 西 |
| | | | | | | | 澤隆廣 |
| 14-15 | 5/21 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科技工士法とその他 | 歯科技工所について、歯科技工士 | 池田 正臣 | 到達目標 5-9 |
| | | | 室 | の関係法規 | 法の雑則、罰則、附則、医療法、 | | |
| | | | | | 歯科医師法、歯科衛生士法・補綴 | | |
| | | | | | 物のトレーサビリティーと技工指 | | |
| | | | | | 示書(歯科技工録)の改善案につ | | |
| | | | | | いて発表 | | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、課題学習発表(歯科技工指示書改善案 10点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総括的に評価する。
- ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
- ・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯科技工管理学 = Dental Laboratory Practice Administration/全国歯科技工士教育協議会 編集未瀬一彦 ほか 著,末瀬、一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

備者

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023511 | | | | | | | |
|----------|------------------|---|---|------|-------------|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健工学管理学 | | | 科目ID | DE-351100-L | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 品田 佳 | 也田 正臣, 品田 佳世子, 日髙 豊彦, 日高 洋幸[IKEDA MASAOMI, SHINADA KAYOKO, HIDAKA TOYOHIKO, | | | | | | |
| | Hiroyuki Hidaka] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

時間数:15 時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館第1講義室

授業の目的、概要等

作業環境の健康に及ぼす影響および作業環境の改善方法について学ぶ。

授業の到達目標

- 1. 粉じんと有害物質について説明できる。
- 2. 歯科技工所の設備構造について説明できる。
- 3. 歯科技工所の作業環境の改善方法について説明できる。
- 4. 作業環境が健康に及ぼす影響を説明できる。
- 5. 安全対策について説明できる。
- 6. 労働安全衛生法について説明できる。
- 7. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。
- 8. 歯科技工所の経営について説明できる。

授業計画

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|-------------|------------------|--------|---------|
| 1-3 | 6/10 | 09:00-11:50 | 第2講義 | ラボサイドでの作業環 | 歯科技工材料の取り扱いと保管方 | 池田 正臣, | |
| | | | 室 | 境、歯科の粉じんと有害 | 法、歯科の粉じんと有害物質(グ | 日高 洋幸 | |
| | | | | 物質について | ループワーク) | | |
| 4–6 | 6/17 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 歯科技工所の作業環境 | 歯科技工所の作業環境と改善方 | 池田 正臣, | |
| | | | 室 | と改善方法について | 法と設備構造基準(グループワー | 日高 洋幸 | |
| | | | | 設備構造基準 | ク) | | |
| 7–9 | 1/7 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 作業環境が健康に及ぼ | 作業環境が健康に及ぼす影響と | 池田 正臣, | |
| | | | 室 | す影響、作業環境の測 | 作業管理と作業環境管理 5S | 品田 佳世子 | |
| | | | | 定 | | | |
| 10-12 | 1/14 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 安全対策について | 労働安全衛生法 次世代育成支 | 池田 正臣, | |
| | | | 室 | | 援対策推進法 働き方改革 安 | 品田 佳世子 | |
| | | | | | 全対策の計画(グループワーク) | | |
| 13-15 | 1/28 | 13:00-15:50 | 第1講義 | チェアサイドとラボサイ | チェアサイドとラボサイドの作業環 | 池田 正臣 | 非常勤講師 高 |
| | | | 室 | ドでの作業環境と連携 | 境と連携 歯科技工所起業と経営 | | 橋健、日高豊彦 |
| | | | | 歯科技工所起業と経営 | の実際 | | |

成績評価の方法

- ・グループワーク(グループワークへの参加度を加味する20点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総括的に評価する。
- ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯科技工管理学/全国歯科技工士教育協議会編;末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会、末瀬、一彦: 医歯薬出版, 2017

参考書

労働衛生のしおり/中央労働災害防止協会/編:中央労働災害防止協会, 2018-08

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023513 | 275 | | | | | | | | |
|----------|-------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔外科工学 | 外科工学 科目 ID DE-351300-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 樺沢 勇 | 木 和広, 樺沢 勇司[AOKI KAZUHIRO, KABASAWA YUJI] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

時間数:15時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館2階 第1講義室

授業の目的、概要等

口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。

授業の到達目標

- 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。
- 2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解できる。
- 3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解できる。
- 4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解できる。
- 5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解できる。
- 6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解できる。
- 7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解できる。
- 8. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を理解できる。
- 9. 唾液腺疾患の病因と病態について理解できる。
- 10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解できる。
- 11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解できる。
- 12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。
- 13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解できる。
- 14. 口腔外科手術患者、口腔がん患者の口腔保健管理について理解できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|-------------|-----------------|-------|-----------|
| 1–3 | 4/20 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 総論 先天異常と発育異 | 口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重 | 樺沢 勇司 | 到達目標:1,2 |
| | | | 室 | 常 | 要性、口腔外科診断のプロセス、 | | |
| | | | | | 歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋 | | |
| | | | | | 裂、その他の口腔・顎・顔面の先 | | |
| | | | | | 天異常、顎変形症 | | |
| 4–6 | 4/27 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 損傷 炎症 嚢胞 | 歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・ | 樺沢 勇司 | 到達目標:3-5 |
| | | | 室 | | 顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周 | | |
| | | | | | 囲組織の炎症 嚢胞の定義・分 | | |
| | | | | | 類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の | | |
| | | | | | 囊胞 | | |
| 7–9 | 5/11 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 腫瘍および腫瘍類似疾 | 良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と | 樺沢 勇司 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 | 患 口腔粘膜疾患 | 治療、悪性腫瘍の診断と治療 ロ | | |
| | | | | | 腔粘膜疾患の診断と治療 | | |
| 10-12 | 5/18 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 口腔顎顔面領域の神経 | 口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液 | 樺沢 勇司 | 到達目標:8-11 |
| | | | 室 | 系疾患、唾液腺疾患、血 | 腺疾患の診断と治療 血液疾患、 | | |
| | | | | 液疾患、出血性素因、代 | 出血性素因の診断と治療 代謝 | | |
| | | | | 謝性疾患の口腔症状・ | 性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領 | | |
| | | | | 症候群 | 域に関連した症候群および疾患 | | |

| ľ | 13–15 | 5/25 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 顎関節疾患、口腔外科と | 顎関節症の診断と治療、顎関節症 | 樺沢 勇司 | 到達目標:12-14 | |
|---|-------|------|-------------|------|-------------|-----------------|-------|------------|--|
| | | | | 室 | 補綴治療、口腔外科手 | 以外の顎関節疾患の種類、診断と | | | |
| | | | | | 術・口腔がん患者への | 治療 口腔外科疾患術後患者に対 | | | |
| | | | | | 口腔ケア | する補綴治療、補綴に関連した | | | |
| | | | | | | 口腔外科手術 口腔外科手術・口 | | | |
| | | | | | | 腔がん患者への口腔ケア | | | |

成績評価の方法

事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10 点)、講義中の演習、討論、授業態度、出席(30 点)および期末テスト(60 点)により総合的に評価する。

期末テストの正解率が6割未満の場合は、再試験とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布および WebClass 上に事前学習用のビデオなど自己学習用のアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

講義中にグループワークや討論も行う。

| 時間割番号 | 023515 | | | | | | | |
|----------|-------------------|--|---|------|-------------|--|--|--|
| 科目名 | 高齢者歯科工学 | | | 科目ID | DE-351500-L | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 鈴木 哲 | 、明子, 鈴木 哲也, 古屋 純一, 戸原 玄, 今井 俊行, 尾澤 昌悟, 岩佐 康行, 小野 高裕[OKI MEIKO, | | | | | | |
| | SUZUKI TETSUYA, F | SUZUKI TETSUYA, FURUYA JUNICHI, TOHARA HARUKA, Toshiyuki Imai, OZAWA Shougo, IWASA YASUYUKI, | | | | | | |
| | Takahiro Ono] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

必修 30 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1講義室

学外施設

授業の目的、概要等

高齢者施設の見学をとおして施設利用者に対する理解を深め、高齢者をとりまく環境と口腔内状況、口腔内装置の実際を理解する。 摂食嚥下障害など口腔機能障害の病態とその機能訓練・回復治療法・補綴装置について理解する。

授業の到達目標

- 1. 高齢者に特徴的な疾患とそれにより生じる問題点を説明し、介護保険などの公的支援について理解できる。
- 2. 摂食嚥下障害の病因、病態、障害を説明できる。
- 3. 高齢者施設を訪問し、利用者の口腔内と装着装置の実際を理解できる。
- 4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握できる。
- 5. 摂食嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明できる。
- 6. 摂食嚥下障害に対する補綴的対応を説明できる。
- 7. 誤嚥性肺炎と口腔ケア、口腔ケア用品について説明できる。
- 8. 摂食嚥下障害に対するチーム医療を説明できる。

| □ | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|-------------|------------------|--------|------------|
| 1 | 11/12 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 介護保険とは 体験 | 介護保険 高齢者施設体験学習 | 大木 明子 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | 学習ガイダンス | ガイダンス | | |
| 2–3 | 11/17 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 摂食嚥下障害とは | 摂食嚥下障害の概要、背景、原因 | 古屋 純一 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | 摂食嚥下のメカニズム | 摂食嚥下の解剖・生理とその障害 | | |
| 4–9 | 11/18 | 09:00-15:50 | 外部病院 | 高齢者関連見学実習 | 高齢者施設見学実習 | 大木 明子 | 到達目標:1-5 |
| | | | 等 | | | | |
| 10-15 | 11/19 | 09:00-15:50 | 外部病院 | 高齢者関連見学実習 | 高齢者施設見学実習 | 大木 明子 | 到達目標:1-5 |
| | | | 等 | | | | |
| 16-18 | 12/8 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 摂食嚥下障害の評価 | 問診、観察、スクリーニングテス | 岩佐 康行 | 到達目標:1,5-8 |
| | | | 室 | 法、治療の流れ、摂食嚥 | ト、検査、摂食嚥下リハビリテーシ | | |
| | | | | 下訓練 | ョン、摂食嚥下訓練 | | |
| 19–20 | 12/15 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 脳血管疾患と摂食嚥下 | 脳血管障害と摂食嚥下リハビリテ | 戸原 玄 | 到達目標:5-8 |
| | | | 室 | 障害 | ーション、在宅・施設における摂食 | | |
| | | | | | 嚥下障害の対応 | | |
| 21 | 12/18 | 10:00-10:50 | 第1講義 | 高齢者施設研修発表会 | 高齢者施設研修発表会(課題プレ | 大木 明子, | 到達目標:1-5 |
| | | | 室 | | ゼンテーション) | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 青木 和広, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 22-23 | 12/22 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 口腔ケアと誤嚥性肺炎 | 口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺 | 大木 明子 | 到達目標:7 |
| | | | 室 | 予防、誤嚥性肺炎への | 炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、 | | |

| | | | | 対応 | 口腔ケア、口腔ケア用品 | | |
|-------|------|-------------|------|-------------|-----------------|-------|------------|
| 24-25 | 1/26 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 口腔腫瘍と摂食嚥下障 | 口腔腫瘍と摂食嚥下リハビリテー | 小野 高裕 | 到達目標:6 |
| | | | 室 | 害 | ション、上顎顎義歯、軟口蓋挙上 | | |
| | | | | | 装置、舌接触補助床 | | |
| 26-28 | 2/2 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 栄養管理 スクリーニン | 食事の考え方、嚥下食 スクリー | 大木 明子 | 到達目標:1,5,8 |
| | | | 室 | グテスト・栄養実習 | ニングテスト演習 栄養管理のた | | |
| | | | | | めの食事演習 | | |
| 29-30 | 2/9 | 09:00-10:50 | 第1講義 | チームアプローチ、まと | 摂食嚥下障害に対するチームア | 大木 明子 | 到達目標:8 |
| | | | 室 | め | プローチ、言語聴覚士との連携、 | | |
| | | | | | 栄養サポートチームや呼吸サポ | | |
| | | | | | ートチームにおける歯科の果たす | | |
| | | | | | 役割、まとめ | | |

授業方法

講義、演習、実習

成績評価の方法

- ・見学実習レポート(5点)および発表(10点)、演習レポート(5点)、筆記試験(80点)を総合的に評価し、合否を判定する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

期末試験(筆記試験)が6割未満の場合は再試験とします。

準備学習等についての具体的な指示

人体の構造と機能で学習した頭頸部の解剖と生理について復習しておくこと。

事前に資料がWebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。

基本的に配布資料はWebClassに事前にアップロードされ、当日配布されません。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 = Dysphagia Rehabilitation for Dental Students/向井美惠, 山田好秋, 井上誠, 弘中祥司編著,向井, 美恵, 1947-,山田, 好秋, 1949-,井上, 誠, 1963-,: 医歯薬出版, 2019

歯科発アクティブライフプロモーション 21:健康増進からフレイル予防まで/花田信弘 監著,武内博朗, 野村義明, 泉福英信 編著,花田,信弘, 1953-,武内, 博朗, 1962-,野村, 義明,泉福, 英信.:デンタルダイヤモンド社, 2017

セミナーわかる! 摂食・嚥下リハビリテーション/植松 宏/監修: 医歯薬出版, 2005

誤嚥性肺炎の予防と対処法/植松宏 監修:医歯薬出版,2005

栄養管理と障害へのアプローチ/植松宏 監修: 医歯薬出版, 2006

開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方超入門: 摂食機能療法&舌接触補助床 (PAP) の基本がわかる Q&A 50/前田芳信, 阪井丘芳 監著,小野高裕 編著,野原幹司, 小谷泰子, 堀一浩, 山本雅章, 中島純子, 熊倉勇美 著,:クインテッセンス出版, 2013

臨床歯科栄養学:歯科に求められる栄養の基礎知識/花田信弘,萩原芳幸,北川昇 監修、花田,信弘,1953-,萩原,芳幸,北川,昇,:口腔保健協会,2018

高齢者歯科/植田耕一郎ほか著、植田、耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会、: 医歯薬出版、2013

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 高齢者施設の見学を行うので、実習 先指導者の指示に従って行動し、個人情報の保護に十分留意すること。 見学に当たっては誓約書の提出と服装等の注意があるので、注意に従うこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023523 | | | | | | | | | |
|----------|--------------|---------------------------------------|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 臨床咬合学 | 咬合学 科目 ID DE-352300-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 塩沢 真和 | 木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

- 2号館第2講義室
- 1号館 8階 口腔保健学科 相互実習室
- 2号館第1実習室

授業の目的、概要等

咬合器装着模型を用いた学生相互実習により、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。口腔機能低下症と口腔機能評価について理解する。

授業の到達目標

- 1. 予備印象採得の方法を説明できる。
- 2. 研究用模型を製作する。
- 3. 半調節性咬合器の種類を説明できる。
- 4. フェイスボウトランスファーの方法を理解できる。
- 5. チェックバイトを説明できる。
- 6. 顆路調整を行う。
- 7. 口腔機能低下症と用いられる口腔機能評価を説明できる。
- 8. 舌圧の測定法と役割を説明できる。
- 9. 咬合接触面積を説明できる。

| | | 1 | | | | 1 | 1 |
|-------|------|-------------|-------|--------------|-------------------|--------|-----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 6/22 | 09:00-11:50 | 口腔保健 | 感染予防のための衛生 | 衛生学的手洗い、歯科用ユニット | 大木 明子, | 最初に白衣を着 |
| | | | 学科相互 | 学的手洗い、予備印象 | の使用法、アルジネート印象材に | 塩沢 真穂 | て第2講義室に |
| | | | 実習室, | 採得(実習) | よる予備印象採得(実習) | 鈴木 啓之 | 集合してくださ |
| | | | 第2講義 | | | | い。不必要なもの |
| | | | 室 | | | | は持参しないよう |
| | | | | | | | に。到達目標:1 |
| 4–6 | 6/22 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 研究用模型の製作(実 | 研究用模型の製作 半調節性咬 | 大木 明子, | 到達目標:2 |
| | | | 室 総合 | 習) | 合器の種類と取り扱い | 塩沢 真穂 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 7–9 | 6/29 | 09:00-11:50 | 口腔保健 | フェイスボウトランスファ | フェイスボウトランスファー、チェッ | 大木 明子, | 最初に白衣を着 |
| | | | 学科相互 | 一(1)(実習) | クバイト法(実習) | 塩沢 真穂 | て第2講義室に |
| | | | 実習室, | | | 鈴木 啓之 | 集合してくださ |
| | | | 第2講義 | | | | い。不必要なもの |
| | | | 室 | | | | は持参しないよう |
| | | | | | | | に。到達目標: |
| | | | | | | | 3–5 |
| 10-12 | 7/6 | 09:00-11:50 | 第1実習 | フェイスボウトランスファ | 咬合器装着、チェックバイト法 | 大木 明子, | 到達目標: 3-5 |
| | | | 室 | 一(2)(実習) | | 塩沢 真穂 | |
| 13-15 | 7/13 | 09:00-11:50 | 第2講義 | 口腔機能低下症と口腔 | 口腔機能低下症と口腔機能評価、 | 大木 明子, | 最初に白衣を着 |
| | | | 室, 第1 | 機能評価、顆路調整、 | 顆路調整、口腔機能の測定、咬合 | 塩沢 真穂 | て第2講義室に |
| | | | 実習室, | 口腔機能の測定(実習) | 接触面積の測定 | | 集合してくださ |
| | | | 総合実習 | | | | い。到達目標: |
| | | | 室 | | | | 6-9 |

授業方法

講義、実習

成績評価の方法

- ・研究模型(10点)、フェイスボウトランスファーの製作物(10点)、期末試験(80点)を総合的に判断し、評価する。
- ・期末試験が60点未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

実習にあたって事前に WebClass でビデオ教材を予習してくること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science/全国歯科技工士教育協議会編集,志賀博,町博之,小泉順一,竹井利香著,志賀,博,町,博之,小泉,順一,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版,2016

履修上の注意事項

授業場所に注意すること(シラバスに集合場所が記載されています。)。 実習にあたり、服装の注意事項があるので確認して実習に臨むこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023516 | 3516 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健工学特論 | R健工学特論 科目 ID DE-351600-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 塩沢 真和 | 木 明子, 塩沢 真穂, 上條 真吾[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho, KAMIJO SHINGO] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

- 2号館第2講義室
- 2号館第1実習室

授業の目的、概要等

口腔インプラント治療やセラミックを用いた歯科補綴装置、歯科用 CAD/CAM システムを用いたデジタル歯科補綴装置について、それを製作するための材料、機器、歯科技工技術について理解し、歯科技工士としての習得すべき技術と将来性を考える。

授業の到達目標

- 1. 口腔インプラント治療の流れを説明できる。
- 2. 口腔インプラントの上部構造の製作法を理解できる。
- 3. 義歯の修理の流れを説明し、義歯の修理ができる。
- 4. 補綴装置の審美性に関わる要因を列挙できる。
- 5. 歯科技工士に求められる多職種連携に必要な事項を列挙できる。
- 6. 各種 CAD/CAD 機器の相違を説明できる。
- 7. CAD/CAD への歯科技工士の関わり方について考える。

授業計画

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|--------------|-------------------|--------|----------|
| 1-2 | 5/25 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 口腔インプラント1 | 口腔インプラント概論 | 塩田 真 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | | |
| 3–4 | 6/1 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 口腔インプラント2 | 補綴治療の流れ | 塩田 真 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | | | |
| 5–6 | 6/8 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 口腔インプラント3 | インプラント上部構造の製作 | 塩田 真 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | | | | |
| 7–9 | 6/15 | 09:00-11:50 | 第1実習 | 義歯の修理(実習) | 義歯の破折に対する修理、名入れ | 大木 明子, | 到達目標:3 |
| | | | 室 | | (実習) | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| 10–11 | 7/2 | 15:00-16:50 | 第2講義 | セラミック歯科技工技術 | セラミックを用いた歯科技工技術 | 飛田 滋 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | の原則 | の基本と応用 | | |
| 12-13 | 7/16 | 15:00-16:50 | 第2講義 | 多職種の連携 | 歯科技工士に求められる多職種 | 小林 明子 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | 連携に必要な事項 | | |
| 14–15 | 7/27 | 10:00-11:50 | 第2講義 | CAD/CAM 技工技術 | CAD/CAM 器材の相違と将来性 | 樋口 鎮央 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 | | | | |

授業方法

講義、実習

成績評価の方法

- ・製作物(20点)、筆記試験(80点)で総合的に評価する。
- ・期末試験が60点未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況と授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

実習にあたって事前に WebClass で教材を予習してくること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦,宮崎隆 編,末瀬,一彦,1951-,宮崎,隆,1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版,2017

歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会編;末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬 一彦,: 医歯薬出版, 2017 よくわかる口腔インプラント学/赤川安正, 松浦正朗, 矢谷博文, 渡邉文彦 編集,赤川, 安正, 1949-,松浦, 正朗, 1946-,矢谷, 博文, 1954-,: 医歯薬出版, 2017

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩田 真 准教授 メールにて日時を相談 mshiota.impl@tmd.ac.jp

上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023538 | 3538 | | | | | | | | |
|----------|-------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 部分床義歯工学実習 | 床義歯工学実習 II 科目 ID DE-253800-E | | | | | | | | |
| 担当教員 | 塩沢 真穂 沖本 祐遠 | 訳 真穂 沖本 祐真[SHIOZAWA Maho, Yushin Okimoto] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

主な講義場所

第1実習室、重合・鋳造室、総合実習室

授業の目的、概要等

部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。

授業の到達目標

- 1. 金属床義歯の設計線の記入ができる。
- 2. ワックスを使用してブロックアウト・リリーフができる。
- 3. 複印象の採得と耐火模型の製作ができる。
- 4. 金属床のワックスアップができる。
- 5. ワックスパターンにスプルーイングができる。
- 6. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。
- 7. コバルトクロム合金の鋳造ができる。
- 8. ワイヤークラスプの屈曲ができる。
- 9. メタルフレームの形態修正・研磨ができる。
- 10. 審美性・機能性に配慮して人工歯排列ができる。
- 11. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。
- 12. 即時重合レジンの流し込みと重合ができる。
- 13. レジン床の形態修正と研磨ができる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|--------------|------------------|-------|------------|
| 1–5 | 4/6 | 13:00-17:50 | 第1実習 | 義歯の設計、サベイイン | 支台装置の概略と構成要素、金属 | 沖本 祐真 | 到達目標:1,2 |
| | | | 室 | グ、ブロックアウト・リリ | 床外形線の記入、ブロックアウト | 塩沢 真穂 | |
| | | | | 一フ | およびリリーフ、鋳造床製作術式 | | |
| | | | | | の講義 | | |
| 6–9 | 4/13 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 耐火模型の製作、ワック | 複印象採得、耐火模型材注入、耐 | 沖本 祐真 | 到達目標:3,4 |
| | | | 室 | スアップ | 火模型の表面処理、力学的構造設 | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | 計、ワックスアップ | | |
| 10-14 | 4/20 | 13:00-17:50 | 第1実習 | ワックスアップ | 力学的構造設計、ワックスアップ | 沖本 祐真 | 到達目標:4 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 15–19 | 4/27 | 13:00-17:50 | 第1実習 | 埋没 | スプルーイング、埋没 | 沖本 祐真 | 到達目標:5,6 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 20-23 | 5/11 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 鋳造、形態修正、研磨 | 鋳造、スプルーカット、形態修正、 | 沖本 祐真 | 到達目標:7,8 |
| | | | 室 | | 内面研磨 | 塩沢 真穂 | |
| 24-27 | 5/18 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 研磨、適合 | クラスプの維持力調整、仕上げ研 | 沖本 祐真 | 到達目標:9 |
| | | | 室 | | 磨、作業用模型への適合 | 塩沢 真穂 | |
| 28-31 | 5/25 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 人工歯排列 | 臼歯部人工歯排列 | 沖本 祐真 | 到達目標:10 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 32-35 | 6/1 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 歯肉形成 | 歯肉形成 | 沖本 祐真 | 到達目標:11 |
| | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | |
| 36-40 | 6/8 | 13:00-17:50 | 第1実習 | レジン重合、形態修正 | コア採得、流し込みレジン重合、 | 沖本 祐真 | 到達目標:12,13 |
| | | | 室 | | 咬合調整、形態修正 | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | | |

| ľ | 41–45 | 6/15 | 13:00-17:50 | 第1実習 | 研磨 | レジン研磨、完成 | 沖本 祐真 | 到達目標:13 | |
|---|-------|------|-------------|------|----|----------|-------|---------|--|
| | | | | 室 | | | 塩沢 真穂 | | |

成績評価の方法

- ・出席状況(10点)、完成製作物(90点)で総合的に評価する。
- 授業態度を加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

参考書

新1週間でマスターするキャストパーシャル/川島哲 著川島, 哲, 1948-,: 医歯薬出版, 2012

T.K.M.キャストデンチャーのすべて: bio-mimetic cast denture/川島哲 著川島, 哲, 1948-,: 医歯薬出版, 2005

「デジタルサベヤーによるキャストクラスプの設計と製作」野首孝祠・小野高裕・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.66 SHOFU.Inc. 京都 1984

「コバルトクロム合金を用いたキャストクラスプの合理的な製作法」野首孝祠・小野高裕・守光隆・奥野善彦著 デンタルエコー Vol.71 SHOFU.Inc. 京都 1986

「パーシャルデンチャーの設計・製作によりよい環境を求めて」野首孝祠・安井栄・喜多誠一・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.89 SHOFU.Inc. 京都 1992

「合理的で確実なパーシャルデンチャーの製作方法」池邉一典・野首孝祠 著 デンタルエコーVol.109 SHOFU.inc. 京都 1997

「金属床と構造設計進化論-軽くて薄くて壊れない金属床義歯の設計と製作」古賀壮一 歯科技工 Vol.33 No.4 pp.409-433 医歯薬出版 東京 2005

「義歯に血の通うまで~アルプス歯科の総義歯製作技法」中込敏夫・向井道夫 著 サンバレー書房 2011

「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」歯科技工別冊 医歯薬出版 2009

「パーシャルデンチャー製作のための設計/構造」歯科技工別冊 医歯薬出版 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023530 | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目名 顎補綴工学 科目 ID | | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 吉岡 文, 常國 剛史[OKI MEIKO, FUMI Yoshioka, Takeshi Tsunekuni] | | | | | | | |
| 開講時期 2020 年度後期 対象年次 3 単位数 | | | | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

必修 15 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1講義室

授業の目的、概要等

顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、特に治療用装置の構造と製作法を理解する。

授業の到達目標

- 1. 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を説明できる。
- 2. 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。
- 3. 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を説明できる。
- 4. 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。
- 5. 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。
- 6. 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について説明できる。
- 7. 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について説明できる。
- 8. 外科治療補助装置について説明できる。
- 9. 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について説明できる。
- 10. 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について説明できる。
- 11. 言語治療補助装置と治療法を説明できる。
- 12. インプラントを用いた顎顔面欠損に対する対応を説明できる。

授業計画

| MACINE I | | | | | | | |
|----------|-------|-------------|------|-------------|-----------------|--------|-----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 10/13 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 顎顔面補綴学とは、上 | 定義、分類、歴史 上顎欠損の特 | 大木 明子 | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | 顎欠損と上顎顎義歯 1 | 徵、製作法、分類反転授業 | | |
| 4–6 | 10/20 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 上顎欠損と上顎顎義歯 | 上顎欠損の症例、上顎顎義歯の | 大木 明子 | 到達目標:2-5 |
| | | | 室 | 2、下顎欠損と舌欠損 | 設計演習、下顎欠損、舌欠損の特 | | |
| | | | | | 徴、症例 | | |
| 7–9 | 10/27 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 顔面•体幹補綴 | 顔面補綴治療、体幹補綴、エピテ | 大木 明子, | 到達目標:6 |
| | | | 室 | | ーゼ材料、エピテーゼの製作法 | 吉岡 文 | |
| | | | | | 顔面補綴の症例 | | |
| 10-12 | 11/10 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 外傷後の補綴、小口症、 | 顎顔面部外傷後特徴、小口症·開 | 大木 明子 | 到達目標:7-9 |
| | | | 室 | 開口障害の補綴、放射 | 口障害の特徴、印象採得・技工の | | |
| | | | | 線治療と補綴 | 工夫について、口腔咽頭腫瘍に対 | | |
| | | | | | する放射線治療、放射線治療補助 | | |
| | | | | | 装置、放射線治療後の補綴 | | |
| 13-14 | 11/12 | 09:00-10:50 | 第1講義 | 唇顎口蓋裂と補綴、言語 | 唇顎口蓋裂の特徴、チームアプロ | 大木 明子 | 到達目標:9-11 |
| | | | 室 | 治療用補助装置、各種 | 一チと補綴、構音障害と言語治療 | | |
| | | | | 補助装置 | 用補助装置、まとめ | | |
| 15 | 12/10 | 16:00-16:50 | 第1講義 | インプラントを用いた顎 | インプラントを用いた顎顔面補綴 | 尾澤 昌悟 | 到達目標:12 |
| | | | 室 | 顔面補綴 | の症例 | | |

授業方法

講義、クイズ方式小テスト、演習

成績評価の方法

- ・筆記試験(100点)で総合的に評価し、合否を判定する。
- ・出席状況、授業態度、小テストを加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前にWebClass に資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。

1 回目の上顎欠損分類について、事前に WebClass にアップロードされている課題を行った上で講義にのぞむこと(反転授業)。講義中に 小テストを行います。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

顎顔面補綴の臨床:咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために/大山喬史, 谷口尚 編:医学情報社, 2006

口唇裂口蓋裂の補綴治療/大山喬史 編著:医歯薬出版,1997

口唇口蓋裂のチーム医療/高戸毅 監修須佐美隆史, 米原啓之 編:金原出版, 2005

構音障害の臨床:基礎知識と実践マニュアル/阿部雅子 著:金原出版,2008

顎口腔外傷のチーム医療/高戸毅 監修米原啓之, 須佐美隆史 編:金原出版, 2005

口腔・中咽頭がんのリハビリテーション:構音障害.摂食・嚥下障害/溝尻源太郎, 熊倉勇美 編著.: 医歯薬出版, 2000

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023531 | | | | | | | | |
|----------|---|---------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 顎補綴工学実習 | 顎補綴工学実習 科目 D DE-353100-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 土田 優美[OKI MEIKO, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 2020 年度後期 対象年次 3 単 | | | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

必修 90 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第1 実習室、総合実習室、重合・鋳造室

授業の目的、概要等

顎口腔および顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解する。

授業の到達目標

- 1. 上顎顎義歯の構造について説明できる。
- 2. 無歯顎上顎欠損の印象範囲を理解し、個人トレーを製作する。
- 3. 栓塞部の製作法を理解して上顎顎義歯を製作する。
- 4. 眼窩欠損の個人トレーを製作する。
- 5. 義眼の製作法を理解し、義眼を製作する。
- 6. エピテーゼに用いられる材料について説明できる。
- 7. 眼窩エピテーゼを製作する。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|------------|-------------------|--------|----------|
| 1-4 | 10/13 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 顎補綴工学実習概説 | 顎補綴工学実習内容説明、模型調 | 大木 明子 | 到達目標:1,2 |
| | | | 室 総合 | 個人トレー | 整、概形線記入、ブロックアウト、 | | |
| | | | 実習室 | | リリーフ 常温重合レジン圧接、ト | | |
| | | | | | リミング、柄 | | |
| 5–8 | 10/15 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 咬合床 | 作業用模型調整、設計、ブロック | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | アウト、リリーフ、常温重合レジン | | |
| | | | 実習室 | | 圧接、トリミング | | |
| 9–12 | 10/20 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 咬合床 | ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | 固定 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 13-16 | 10/27 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 咬合床、咬合器装着 | ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | 固定、ワックスリム追加、咬合採 | | |
| | | | 実習室 | | 得、咬合器装着 | | |
| 17–20 | 10/29 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 設計、支台装置 | 設計、ワイヤークラスプ屈曲、ブロ | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | ックアウト | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 21–24 | 11/5 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 支台装置 | ブロックアウト、リリーフ、複印象、 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室総合 | | 耐火模型製作、支台装置ワックス | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | パターンの製作 | | |
| 25-28 | 11/10 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 支台装置 | 支台装置ワックスパターンの製作 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 29-31 | 11/12 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 支台装置 | 支台装置ワックスパターンの製 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | 作、埋没、鋳造、研磨 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 32-36 | 11/17 | 11:00-16:50 | 第1実習 | 支台装置、人工歯排列 | 研磨、支台装置付与、人工歯排列 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |

| 37–39 | 12/8 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 支台装置、人工歯排列 | 支台装置付与、人工歯排列、歯肉 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
|--------------|----------|-------------|------|-------------|-----------------------|--------|----------|
| | | | 室 総合 | | 形成、ろう義歯完成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 40-43 | 12/10 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 歯肉形成、ろう義歯完成 | 歯肉形成、ろう義歯完成 | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 44-47 | 12/15 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 埋没、流ろう、欠損部修 | 埋没、流ろう、欠損部修正・石膏⊐ | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | 正 | ア製作 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 48-51 | 12/17 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 石膏コア製作、重合 | 石膏コア製作、レジン填入、重合 | 大木 明子, | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 52-55 | 12/22 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 割り出し、咬合器再装 | 割り出し、咬合器再装着、人工歯 | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室、総合 | 着、咬合調整、形態修 | 咬合調整、形態修正、研磨 | | |
| | | | 実習室 | 正、研磨 | | | |
| 56-59 | 1/7 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 研磨、完成 | 研磨 | 大木 明子 | 到達目標:1,3 |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 60-62 | 1/12 | 09:00-11:50 | 第1実習 | 個人トレー | 個人トレー製作 | 大木 明子 | 到達目標:4 |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 63-65 | 1/12 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 義眼 | | 大木 明子 | 到達目標:5 |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 66-69 | 1/14 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 義眼 | 義眼製作 | 大木 明子 | 到達目標:5 |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 70-72 | 1/19 | 09:00-11:50 | 第1実習 | ワックスパターンの製作 | エピテーゼワックスパターンの製 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室,総合 | | 作 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 73-75 | 1/19 | 13:00-15:50 | 第1実習 | ワックスパターンの製作 | エピテーゼワックスパターンの製 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 総合 | | 作 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 76-79 | 1/21 | 13:00-16:50 | 第1実習 | ワックスパターンの製 | エピテーゼワックスパターンの製 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 総合 | 作、埋没、色地図 | 作、埋没、色地図の記入 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 80-83 | 1/26 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 流ろう、内部彩色、シリ | 流ろう、内部彩色、シリコーン重合 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室 総合 | コーン重合 | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 84-86 | 2/2 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 内部彩色、シリコーン重 | 内部彩色、シリコーン重合、割り出 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室、総合 | 合、割り出し | L | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 87–90 | 2/9 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 外部彩色、まつ毛付与、 | 形態修正、外部彩色、まつ毛付与 | 大木 明子 | 到達目標:6,7 |
| | | | 室総合 | エピテーゼ完成 | | | |
| | | | 実習室 | 1 2 2.13 | | | |
| 140 ale-1-1- | <u> </u> | | ハロエ | | l | | |

授業方法

実習、反転授業

成績評価の方法

・上顎個人トレー(10 点)、上顎顎義歯の咬合床(5 点)、ろう義歯(5 点)、完成顎義歯(30 点)、エピテーゼ用個人トレー(10 点)、義眼(10

点)、完成エピテーゼ(30点)について段階的に評価し、総括的に評価する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

4分の3以上の出席

参考書

顎顔面補綴の臨床: 咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために/大山喬史, 谷口尚 編大山, 喬史, 1939-,谷口, 尚, 1952-,: 医学情報社, 2006 Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition/J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011

Fundamentals of Facial Prosthetics / R. E. McKinstry: ABI Professional Publications, 1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。

備考

実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。 ステップごとにチェックを行います。

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023542 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯冠修復工学応用 | <u> 対目ID</u> DE-354200-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 駒田 亘, | 池田 正臣, 駒田 亘, 岡田 大蔵[IKEDA MASAOMI, KOMADA WATARU, OKADA DAIZO] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:15 時間 授業形態:講義

主な講義場所

2号館第2講義室

授業の目的、概要等

う蝕治療の流れおよび歯冠修復の適応と意義を理解し、歯冠補綴装置と架工義歯の製作方法を修得する。

授業の到達目標

- 1. 生体と間接法による模型の咬合接触の違いを説明できる。
- 2. ブリッジの構造と支台歯形成および印象について説明できる。
- 3. 術前のテンポラリークラウンの調整について説明できる。
- 4. 各種修復物の支台歯・窩洞形態を説明できる。
- 5. 各種修復物のマージン形態を説明できる。
- 6. ファイバーコアとメタルコアの違いを説明できる。
- 7. 歯根破折の原因を説明できる。
- 8. 硬質レジンの組成と歯科技工操作について説明できる。

授業計画

| • | | - | | | | | | |
|---|-------|------|-------------|------|----------|-------------------|-------|----------|
| | | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| ſ | 1–2 | 4/7 | 13:00-14:50 | 第2講義 | 間接法と生体 | 顎骨の歪みや歯の微小変位が間 | 駒田 亘 | 到達目標 1 |
| | | | | 室 | | 接法に与える影響 | | |
| ſ | 3–5 | 4/14 | 13:00-15:50 | 第2講義 | ブリッジ | ブリッジの構造、支台歯形成と印 | 駒田 亘 | 到達目標 2 |
| | | | | 室 | | 象 | | |
| Ī | 6–7 | 4/21 | 13:00-14:50 | 第2講義 | ブリッジ | 術前Tek調整、ブリッジの調整とセ | 駒田 亘 | 到達目標 3 |
| | | | | 室 | | ット | | |
| Ī | 8–9 | 4/28 | 13:00-14:50 | 第2講義 | 支台歯·窩洞形態 | 各種修復物の支台歯・窩洞形態 | 駒田 亘 | 到達目標 4 |
| | | | | 室 | | | | |
| Ī | 10-11 | 5/12 | 13:00-14:50 | 第2講義 | マージン形態 | 各種修復物のマージン形態 | 駒田 亘 | 到達目標 5 |
| | | | | 室 | | | | |
| Ī | 12-13 | 5/19 | 10:00-11:50 | 第2講義 | ファイバーコア | ファイバーコアの特徴、歯根破折 | 駒田 亘 | 到達目標 6,7 |
| | | | | 室 | | | | |
| Ī | 14–15 | 5/26 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 硬質レジン | 硬質レジンの組成と歯科技工操作 | 池田 正臣 | 到達目標 8 |
| | | | | 室 | | 光強度、距離と重合の関係評価実 | | |
| | | | | | | 習 | | |
| | | | | | | | | |

成績評価の方法

- ・期末の客観試験、論述試験(100点)で評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

クラウンブリッジ補綴学/矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集、矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之,細川, 隆司,: 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21/田上順次 [ほか] 監修; 阿南壽 [ほか] 編集、田上, 順次、阿南, 壽奈良, 陽一郎、山本, 一世、斎藤, 隆史、永末書店, 2017

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023543 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯冠修復工学応用演習 | 樹冠修復工学応用演習 科目 ID DE-354300-S | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 土田 優勢 | 池田 正臣, 土田 優美[IKEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:30 時間 授業形態:実習

主な講義場所

- 2号館第1実習室
- 2号館総合実習室
- 2号館重合鋳造室
- 2号館硬質レジン実習室
- 2号館 CAD/CAM 実習室
- 2号館 CAD/CAM 演習室

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業の到達目標

- 1. ブリッジ模型の扱いを理解し、正確に模型を製作する。
- 2. ブリッジ模型の扱いを理解し、分割、トリミングする。
- 3. 術前のテンポラリーブリッジ(Br-Tek)を製作する。
- 4. 各種 CAD/CAM システムの違いを説明できる。
- 5. 三次元積層造形のしくみを説明できる。

| DF 40 1 40 1 1 | | | | | | | |
|----------------|------|-------------|------|---------------|---------------------|--------|----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-2 | 4/6 | 10:00-11:50 | 第1実習 | 模型製作 | 歯冠修復用模型の製作 | 池田 正臣, | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 3–5 | 4/8 | 09:00-11:50 | 第1実習 | 模型製作 | 歯冠修復用模型の製作 | 池田 正臣, | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 6–9 | 4/9 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 模型製作 | 歯冠修復用模型の製作 | 池田 正臣, | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 10-12 | 4/10 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 咬合器装着 | 咬合器装着、模型分割 歯型のマ | 池田 正臣, | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | ージントリミング | 土田 優美 | |
| 13-14 | 4/13 | 10:00-11:50 | 第1実習 | 咬合器装着 | 咬合器装着、模型分割 歯型のマ | 池田 正臣, | 到達目標 1,2 |
| | | | 室 | | ージントリミング | 土田 優美 | |
| 15–17 | 4/15 | 09:00-11:50 | 第1実習 | ブリッジ Tek 製作 | ワックス処理、術前形成 | 池田 正臣, | 到達目標 3 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 18-21 | 4/16 | 11:00-15:50 | 第1実習 | ブリッジ Tek 製作 | 調整、研磨、完成 | 池田 正臣, | 到達目標 3 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 22-24 | 7/14 | 13:00-15:50 | 第1実習 | CAD/CAM の基礎 1 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 | 池田 正臣, | 到達目標 4,5 |
| | | | 室 | | 年合同授業)(屋根瓦形式) | 土田 優美 | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 25-27 | 7/20 | 09:00-11:50 | 第1実習 | CAD/CAM の基礎 2 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 | 池田 正臣, | 到達目標 4,5 |
| | | | 室 | | 年合同授業)(屋根瓦形式) | 土田 優美 | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 28-30 | 7/21 | 13:00-15:50 | 第1実習 | CAD/CAM の基礎3 | CAD/CAM 装置の基本操作(3、4 | 池田 正臣, | 到達目標 4,5 |
| | | | 室 | | 年合同授業)(屋根瓦形式) | 土田 優美 | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |

- ・提出課題(模型製作30点、テンポラリーブリッジ70点)を総合的に評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

保存修復学 21/田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集田上, 順次阿南, 壽,奈良, 陽一郎,山本, 一世,斎藤, 隆史,:永末書店, 2017 クラウンブリッジ補綴学/矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集、矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之,細川, 隆司,: 医歯薬出版, 2014 接着ここが知りたい/日本接着歯学会 編日本接着歯学会,: 口腔保健協会, 2008

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023544 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 歯冠修復工学応用実 | 歯冠修復工学応用実習 科目 ID DE-354400-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 池田 正臣, 土田 優勢 | 池田 正臣, 土田 優美[IKEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:90 時間 授業形態:実習

主な講義場所

- 2号館第1実習室
- 2号館総合実習室
- 2号館重合鋳造室
- 2号館硬質レジン実習室
- 2号館 CAD/CAM 演習室

授業の目的、概要等

各種の歯冠修復及び架工義歯に関する知識及び技術について修得する。

授業の到達目標

- 1. 適合精度の高いワックスパターンを製作する。
- 2. 歯列に合わせた歯冠外形回復する。
- 3. ポンティックの基底面形態を回復する。
- 4. ポンティックを窓開けする。
- 5. 単冠とブリッジおよびコアを埋没・鋳造する。
- 6. 鋳造体を支台歯に適合させる。
- 7. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。
- 8. 細部にわたり鏡面研磨する。
- 9. ファイバーコアを製作する。
- 10. 分割コアのワックスアップをする。
- 11. 分割コアを支台歯に適合させる。
- 12. 歯科用 CAD/CAM システムの一連の操作を説明できる。
- 13. 硬質レジンを気泡なく築盛する。
- 14. 硬質レジンを色調別に築盛する。

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|--------------|------------------|--------|----------|
| 1–5 | 4/17 | 10:00-15:50 | 第1実習 | ブリッジのワックスアッ | 支台歯のワックスアップ | 池田 正臣 | 到達目標 1-3 |
| | | | 室 | プ1 | | 土田 優美 | |
| 6-7 | 4/21 | 15:00-16:50 | 第1実習 | ブリッジのワックスアッ | 支台歯のワックスアップ | 池田 正臣, | 到達目標 1-3 |
| | | | 室 | プ2 | | 土田 優美 | |
| 8-13 | 4/22 | 09:00-15:50 | 第1実習 | ブリッジのワックスアッ | 支台歯のワックスアップ、ポンティ | 池田 正臣, | 到達目標 1-3 |
| | | | 室 | プ3 | ックのワックスアップ | 土田 優美 | |
| 14–17 | 4/23 | 11:00-15:50 | 第1実習 | ブリッジのワックスアッ | ポンティックの窓開け、ワックスパ | 池田 正臣, | 到達目標 1-4 |
| | | | 室 | プ4 | ターンの連結 | 土田 優美 | |
| 18-20 | 4/24 | 13:00-15:50 | 第1実習 | ブリッジのスプルーイン | スプルーイング、埋没、鋳造 | 池田 正臣, | 到達目標5 |
| | | | 室 | グ、埋没、鋳造 | | 土田 優美 | |
| 21-22 | 4/28 | 15:00-16:50 | 第1実習 | メタルブリッジの調整 1 | 適合確認、内面調整 | 池田 正臣, | 到達目標 6 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 23-26 | 4/30 | 11:00-15:50 | 第1実習 | メタルブリッジの調整 2 | 隣接接触点調整、咬合調整. 荒 | 池田 正臣, | 到達目標 7,8 |
| | | | 室 | | 研磨、窓開け部辺縁調整、最終 | 土田 優美 | |
| | | | | | 研磨、完成 | | |

| 27-31 | 5/1 | 10:00-15:50 | 第1実習 | ファイバーコアの築盛1 | ワックスアップ(歯冠外形回復)、 | 池田 正臣, | 到達目標1 |
|-------|------|-------------|------|-------------|---------------------|--------|--------------|
| | | | 室 | | シリコーンコア採得 | 土田 優美 | |
| 32-35 | 5/7 | 11:00-15:50 | 第1実習 | ファイバーコアの築盛2 | レジン築盛、形態修正、完成 | 池田 正臣, | 到達目標9 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 36-38 | 5/8 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 分割コアのワックスアッ | ポスト部の調整、ワックスアップ | 池田 正臣, | 到達目標 10 |
| | | | 室 | プ1 | | 土田 優美 | |
| 39-40 | 5/12 | 15:00-16:50 | 第1実習 | 分割コアのワックスアッ | コアのワックスアップ | 池田 正臣, | 到達目標 10 |
| | | | 室 | プ2 | | 土田 優美 | |
| 41-46 | 5/13 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 分割コアの鋳造 | スプルーイング、埋没、鋳造 | 池田 正臣, | 到達目標5 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 47-49 | 5/14 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 分割コアの鋳造 | 適合確認、内面調整、完成 | 池田 正臣, | 到達目標 11 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 50-54 | 5/15 | 10:00-15:50 | 第1実習 | 臼歯部前装冠1 | 模型のスキャニングと CAD デザ | 池田 正臣, | 到達目標 12 |
| | | | 室 | (CAD/CAM) | イン(カットバック) | 土田 優美 | |
| 55-60 | 5/20 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 臼歯部前装冠2 | CAM 操作とWAX ディスクのミリン | 池田 正臣, | 到達目標 12 |
| | | | 室 | (CAD/CAM) | グ加工 | 土田 優美 | |
| 61-64 | 5/21 | 11:00-15:50 | 第1実習 | スプルーイング、埋没 | マージン修正、リテンションビーズ | 池田 正臣, | 到達目標5 |
| | | | 室 | | 付与、スプルーイング、埋没 | 土田 優美 | |
| 65-67 | 5/22 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 鋳造、メタルコーピング | 鋳造、メタルコーピング内面調整、 | 池田 正臣, | 到達目標 6,7 |
| | | | 室 | の調整 | マージン調整 | 土田 優美 | |
| 68-70 | 5/26 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 硬質レジンの築盛1 | アルミナサンドブラスト処理、メタ | 池田 正臣, | 到達目標 13,14 |
| | | | 室 | | ルプライマー処理、オペーク塗 | 土田 優美 | |
| | | | | | 布、サービカルの築盛 | | |
| 71-76 | 5/27 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 硬質レジンの築盛2 | デンティンの築盛 | 池田 正臣, | 到達目標 13,14 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 77–81 | 5/28 | 09:00-14:50 | 第1実習 | 硬質レジンの築盛3 | エナメルの築盛 | 池田 正臣, | 到達目標 13,14 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| 82-87 | 5/29 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 臼歯部前装冠の調整、 | 隣接接触点·咬合調整、研磨、完 | 池田 正臣, | 到達目標 8,13,14 |
| | | | 室 | 研磨 | 成 | 土田 優美 | |
| 88-90 | 6/2 | 09:00-11:50 | 第1実習 | 実習課題提出 | 製作法の復習、実習課題の提出 | 池田 正臣, | 到達目標 8,13,14 |
| | | | 室 | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | | |

- ・提出課題(ブリッジ 30 点、ファイバーコア 20 点、分割コア 20 点、前装冠 30 点)を総合的に評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations/全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著] 末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017

参考書

クラウンブリッジ補綴学/矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集矢谷, 博文, 1954-,三浦, 宏之,細川, 隆司,: 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21/田上順次 [ほか] 監修; 阿南壽 [ほか] 編集、田上, 順次阿南, 壽奈良, 陽一郎、山本, 一世、斎藤, 隆史、: 永末書店, 2017

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikeda.csoe@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023545 | | | | | | | | |
|----------|-------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 審美修復工学 | 審美 修復工学 科目 ID DE-354500-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 三浦 宏 | 上條 真吾, 三浦 宏之, 高橋 英和[KAMIJO SHINGO, MIURA HIROYUKI, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

科目名:審美修復工学 時間数:15 時間 授業形態:講義

主な講義場所

第2講義室

授業の目的、概要等

歯科用陶材を応用した審美修復物、特に陶材焼付金属冠およびオールセラミックスクラウンの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。

授業の到達目標

- 1. 陶材焼付金属冠の臨床的意義を説明できる。
- 2. 陶材焼付金属冠の適応症を説明できる。
- 3. 陶材と金属の接合について説明できる。
- 4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。
- 5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明できる。
- 6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明できる。
- 7. 歯科用 CAD/CAM を用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明できる。
- 8. 歯科用陶材の種類および特徴について説明できる。
- 9. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明できる。
- 10. ジルコニアの理工学的特徴を説明できる。
- 11. ジルコニアを臨床応用する際の注意点について説明できる。
- 12. 天然歯の光学的特徴について説明できる。
- 13. シェードテイキングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明できる。
- 14. 歯科に応用されている CAD/CAM システムの特徴を説明できる。

| 0 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|--------|-------------|-----------------------|--------|------------|
| 1-2 | 6/3 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 陶材焼付金属冠の基礎 | 陶材焼付金属冠の特徴、製作法 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | 室 | | | | |
| 3-4 | 6/4 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 陶材焼付金属冠の製作 | 単冠、ブリッジの製作法、臨床例 | 上條 真吾 | 到達目標:4,5 |
| | | | 室 | | | | |
| 5–6 | 6/16 | 09:00-10:50 | CAD/CA | ジルコニアコーピング | CAD/CAM 演習 ダブルスキャニ | 上條 真吾 | 到達目標:7,14 |
| | | | M 演習室 | | ング | | |
| 7–8 | 6/18 | 09:00-10:50 | 第2講義 | 歯科用陶材 | 歯科用陶材の種類、築盛用陶材 | 高橋 英和 | 到達目標:8,9 |
| | | | 室 | | の種類と操作法 | | |
| 9–10 | 6/23 | 09:00-10:50 | 第2講義 | ジルコニア修復 | 歯科用ジルコニアの基本的性質と | 三浦 宏之 | 到達目標:10,11 |
| | | | 室 | | 臨床応用 | | |
| 11-12 | 6/25 | 09:00-10:50 | CAD/CA | CAD/CAM 冠 | CAD/CAM 演習 CAD/CAM 冠デ | 上條 真吾, | 到達目標:7,14 |
| | | | M 演習室 | | 一夕作成 | 青木 亮一 | |
| 13-14 | 6/30 | 09:00-10:50 | 第2講義 | シェードテイキング演習 | 天然歯の光学的要素、シェードの | 上條 真吾 | 到達目標:12,13 |
| | | | 室 第1 | | 基礎、シェードテイキング法 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 15 | 7/9 | 09:00-09:50 | 第2講義 | 陶材を応用した補綴物 | インプラント上部構造、オールセラ | 上條 真吾 | 到達目標:14 |
| | | | 室 | | ミックス | | |

授業方法

講義、演習

成績評価の方法

- ・期末試験(100点)で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

試験の受験資格

講義時間の 2/3 以上の出席

粉料重

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会: 医歯薬出版, 2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬, 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー/日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2012 メタルセラミックス築盛の基礎:カラーアトラス/山本真 著:クインテッセンス出版, 1989

ザ・メタルセラミックス: カラーアトラス/山本真 著: クインテッセンス出版, 1982

- ・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008
- ・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

備老

歯科用 CAD/CAM システムおよびシェードテイクに関する演習を行う。

| 時間割番号 | 023546 | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | 審美修復工学実習 | 審美修復工学実習 科目 ID DE-354600-E | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正日 | 上條 真吾, 池田 正臣[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 3 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

科目名:審美修復工学実習

時間数:135時間 授業形態:実習、演習

主な講義場所

第1実習室、CAD/CAM 演習室、ポーセレン室、総合実習室

授業の目的、概要等

・審美歯冠修復に用いられるセラミックスクラウンのフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、陶材築盛作業および形態修正の基礎技術を習得する。

授業の到達目標

- 1. 審美歯冠修復に関する概要を説明できる。
- 2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型を製作する。
- 3. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復をする。
- 4. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。
- 5. 変形がない精密なワックスパターンを採得する。
- 6. 歯科用 CAD/CAM を使用し、咬合に配慮した理想的な歯冠形態を設計し切削加工する。
- 7. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用 CAM の特性を説明できる。
- 8. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合させる。
- 9. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。
- 10. シェードガイドの仕組みを理解して、口腔内で正確なシェードマッチングをする。
- 11. 光学式測色器の特徴を理解して、口腔内測色をする。
- 12. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を理解し実践する。
- 13. 複数の陶材を混ぜることなく積層する。
- 14. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現する。
- 15. ステインによる色調表現法を理解し、実践する。
- 16. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現する。
- 17. 支台歯への適合を確認し、隣接および咬合接触点を調整して研磨する。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|-------------|-------------------|--------|----------|
| 1–4 | 6/3 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 審美修復実習の概要 | 実習内容説明、トリミング、ダウエ | 上條 真吾, | 到達目標:1,2 |
| | | | 室 総合 | 作業用模型製作 1 | ルピン植立、2次石膏 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 5–8 | 6/4 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 作業用模型製作 2 | 3次石膏、スプリットキャスト付与、 | 上條 真吾, | 到達目標:2 |
| | | | 室 総合 | | 歯型分割 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 9–12 | 6/5 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 作業用模型製作 3 咬 | 咬合器装着、マージントリミング、 | 上條 真吾, | 到達目標:2 |
| | | | 室 総合 | 合器装着 | ガム模型製作 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 13–18 | 6/9 | 09:00-15:50 | 第1実習 | ワックスアップ 1 | 上顎中切歯(歯冠回復) | 上條 真吾, | 到達目標:3 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 19–22 | 6/10 | 13:00-16:50 | 第1実習 | ワックスアップ 2 | 下顎大臼歯(歯冠回復) | 上條 真吾, | 到達目標:3 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |

| | | · | | T | | | |
|-------|-------|-------------|--------|-----------------------|--|---------|---------------------|
| 23–28 | 6/11 | 09:00-15:50 | 第1実習 | ワックスアップ 3 | 上顎中切歯(カットバック) | 上條 真 | 吾 , 到達目標:3-5 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優 | 美 |
| | | | 実習室 | | | | |
| 29-34 | 6/12 | 09:00-15:50 | 第1実習 | ワックスアップ 4 | 下顎大臼歯(カットバック) | 上條 真 | 吾, 到達目標:3-5 |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優 | 美 |
| | | | 実習室 | | | | |
| 35–38 | 6/16 | 11:00-15:50 | CAD/CA | 歯科用 CAD/CAM 1 | 上顎中切歯デザイン CAM 操作 | 上條 真 | 吾, 到達目標:6,7 |
| | | | M 演習室 | | Zr ディスクミリング加工 シンタリ | 土田 優 | · 美 |
| | | | 第1実習 | | ング | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 39–42 | 6/17 | 13:00-16:50 | CAD/CA | 歯科用 CAD/CAM 2 | <u> </u> | 上條真 | |
| | | | M 演習室 | | Zr ディスクミリング加工 シンタリ | 土田優 | |
| | | | 第1実習 | | ング | | |
| | | | 室総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 43-46 | 6/18 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 調整 1 | 上顎中切歯 適合、フレーム調整 | 上條真 | |
| 10 10 | 0/ 10 | 11.00 10.00 | 室総合 | ا المالية | 工張 列西 返古(プレ 二間正 | 土田優 | |
| | | | 実習室 | | | 工四段 | |
| 47-50 | 6/23 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 調整 2 CAM 見学(GC | 上顎中切歯 適合、フレーム調整 | 上條真 | |
| 47 00 | 0/ 20 | 11.00 10.00 | 室 総合 | R&D Center) | 工張すり図 過ご、フレーム調整 下顎大臼歯 適合、フレーム調整 | 土田優 | |
| | | | 実習室 | rab ochar) | Aadva (GC R&D Center) 見学 | 工四 俊 | 0,0 |
| 51-56 | 6/24 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 調整 3 | 下顎大臼歯 適合、フレーム調整 | 上條真 | |
| 31 30 | 0/ 24 | 09.00 13.50 | 室総合 | | 上顎小臼歯 ワックスアップ | 土田優 | |
| | | | 実習室 | | 工張行口圏 フラフベアラフ | 工山 俊 | |
| 57-59 | 6/25 | 11:00-14:50 | CAD/CA | CAD/CAM冠 1 | 上顎小臼歯 支台歯スキャン、デ | 土田優 | |
| 37 33 | 0/23 | 11.00 14.00 | M 演習室 | OAD/ OAN JE. 1 | 」 土張小山圏 文日圏ハイドン、) | 上條真 | |
| | | | 第1実習 | | リイン、SIL / 一列形成 | 本 | |
| | | | 室総合 | | | 月小 元 | ; |
| | | | 実習室 | | | | |
| 60-65 | 6/26 | 09:00-15:50 | 第1実習 | CAD/CAM冠 2 | CAM 操作、レジンブロックミリング | 上條 真 | 五 |
| 00-05 | 0/20 | 09.00-15.50 | 室総合 | CAD/ CAIVI 70, 2 | | | |
| | | | | | 加工調整、研磨 | 土田 優 | · |
| 60.00 | 6 /00 | 11.00 15.50 | 実習室 | 2 (^, +* | ここ ドギノバの住田汁 カロラケ | 上松 士 | 五 四本口冊 10 11 |
| 66–69 | 6/30 | 11:00-15:50 | 第1実習 | シェードマッチングロ | シェードガイドの使用法、クリスタ | 上條真 | |
| | | | 室、総合 | 腔内撮影 | ルアイ、口腔内カメラ撮影方法 | 土田 優 | 天 |
| 70 | | 00.00 1=== | 実習室 | な ch(+コロ - 4 | Φ ch(+3) | L 144 - | T 70±04 |
| 70–75 | 7/1 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 築盛練 習 1 | 築盛練習 | 上條真 | |
| | | | 室総合 | | | 土田 優 | 美 |
| | | | 実習室 | <i>₩</i> | <i>tt</i> r -12/-1-77 | 1.46 - | - I - 10+-1- |
| 76–80 | 7/2 | 09:00-14:50 | 第1実習 | 築 盛練 習 2 | 築盛練習 | 上條真 | |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優 | 美 |
| | | | 実習室 | 46 1041== | | | |
| 81–85 | 7/3 | 10:00-15:50 | 第1実習 | · 築 盛練 習 3 | 色調表現練習 | 上條真 | |
| | | | 室 総合 | | | 土田 優 | 美 13, 15 |
| | | | 実習室 | | | | |
| 86-91 | 7/7 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 歯冠回復築盛練習 1 | 上顎中切歯の歯冠回復、カットバ | 上條 真 | 吾, 到達目標:12-15 |
| | | | 室 総合 | | ック | 土田 優 | 美 |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 92–97 | 7/8 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 歯冠回復築盛練習 2 | 下顎大臼歯の歯冠回復、カットバ | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
|-------|------|-------------|------|-------------|------------------|--------|------------|
| | | | 室 総合 | | ック | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 98-10 | 7/9 | 10:00-16:50 | 第1実習 | 陶材築盛・焼成 1 | 上顎中切歯、下顎大臼歯シェー | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
| 3 | | | 室 総合 | | ドベース築盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 104-1 | 7/10 | 11:00-15:50 | 第1実習 | 陶材築盛·焼成 2 | 上顎中切歯、下顎大臼歯のおれる | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
| 07 | | | 室 総合 | | テイン築盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 108-1 | 7/14 | 09:00-11:50 | 第1実習 | 陶材築盛・焼成 3 | 上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
| 10 | | | 室 総合 | | 盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 111-1 | 7/15 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 陶材築盛・焼成 4 | 上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
| 16 | | | 室 総合 | | 盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 117–1 | 7/16 | 09:00-14:50 | 第1実習 | 陶材築盛・焼成 5 | 上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 | 上條 真吾, | 到達目標:12-15 |
| 21 | | | 室 総合 | | 盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 122 | 7/17 | 11:00-11:50 | 第1実習 | 陶材築盛・焼成 6 | 上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築 | 上條真吾, | 到達目標:12-15 |
| | | | 室 総合 | | 盛・焼成 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 123 | 7/21 | 11:00-11:50 | 第1実習 | 形態修正 1 | 上顎中切歯、下顎大臼歯の咬合調 | 上條真吾, | 到達目標:16,17 |
| | | | 室 総合 | | 整、形態修正 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 124-1 | 7/22 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 形態修正 2 | 上顎中切歯、下顎大臼歯の形態修 | 上條真吾, | 到達目標:15-17 |
| 29 | | | 室 総合 | | 正、ステイン | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 130-1 | 7/28 | 09:00-15:50 | 第1実習 | 形態修正 3 艶出し、 | 上顎中切歯、下顎大臼歯の形態修 | 上條 真吾, | 到達目標:15-17 |
| 35 | | | 室、総合 | 完成 | 正、ステイン、グレーズ、機械研磨 | 土田 優美 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |

提出課題の評価(上顎中切歯 40 点、下顎大臼歯 40 点、CAD/CAM 冠 20 点)で総合的に判断し評価する。

出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版,2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮﨑隆 編,末瀬, 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー/日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2012 メタルセラミックス築盛の基礎:カラーアトラス/山本真 著:クインテッセンス出版, 1989

ザ・メタルセラミックス: カラーアトラス/山本真 著: クインテッセンス出版, 1982

- ・「最新 CAD/CAM レストレーション」 三浦宏之・宮崎 隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008
- ・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

実習、演習

| 時間割番号 | 023548 |)23548 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | インプラント工学実習 | 'ンプラント工学実習 科目 ID DE-354800-E | | | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 林 政利[| 上條 真吾, 林 政利[KAMIJO SHINGO, HAYASHI MASATOSHI] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

科目名:インプラント工学実習

時間数:45 時間 授業形態:実習

主な講義場所

第1実習室、第4実習室、CAD/CAM演習室、ポーセレン室、総合実習室

授業の目的、概要等

科用 CAD/CAM システムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行い、インプラント補綴装置製作の基本的な技術力を養う。また、多様なインプラントシステム技工パーツの使用目的と使用法および材料特性を理解する。

授業の到達目標

- 1. インプラント用個人トレーを製作する。
- 2. インプラント修復物製作に必要な高精度の作業用模型を製作する。
- 3. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明できる。
- 4. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を再現できる。
- 5. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントを設計できる。
- 6. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計およびカットバックできる。
- 7. 歯科用 CAD システムを用いて、ダブルスキャンによるコーピングを設計できる。
- 8. ジルコニアコーピングをカスタムアバットメントに精密に調整適合できる。
- 9. 修復物の最終歯冠形態をイメージして、陶材を築盛する。
- 10. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を形態修正で表現する。

| 日付 6/29 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|------------|-------------|--------------------------------------|--|--|------------|----------------------|
| 6/29 | | | | | 12-17/55 | I/HI ² 73 |
| | 13:00-16:50 | 第1実習 | インプラント用個人トレ | オープントレーの製作、印象採 | 上條 真吾 | 到達目標:1 |
| | | 室,第4 | 一の製作 | 得、石膏注入 | | |
| | | 実習室. | | | | |
| | | 総合実習 | | | | |
| | | 室 | | | | |
| 7/6 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 作業用模型製作 | シリコーン印象への石膏注入、ダ | 上條 真吾, | 到達目標:2 |
| | | 室,第4 | | ウエルピン植立、二次石膏・三次 | 林 政利 | |
| | | 実習室 | | 石膏操作 | | |
| | | 総合実習 | | | | |
| | | 室 | | | | |
| 7/13 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 咬合器装着、歯冠回復 | 作業用模型調整、咬合器装着、歯 | 上條真吾, | 到達目標:3-5 |
| | | 室,第4 | | 型分割、歯冠回復 | 林 政利 | |
| | | 実習室. | | | | |
| | | 総合実習 | | | | |
| | | 室 | | | | |
| 7/20 | 13:00-16:50 | 第1実習 | カスタムアバットメント形 | カスタムアバットメント形状の完成 | 上條真吾, | 到達目標:3-5 |
| | | 室,第4 | 成 | | 林 政利 | |
| | | 実習室 | | | | |
| | | 総合実習 | | | | |
| | | 室 | | | | |
| 7/27 | 13:00-16:50 | 第1実習 | | ジルコニアアバットメント上での歯 | 上條 真吾. | |
| | | 室. 第4 | | 冠回復、窓開け | 林政利 | |
| 7 | 1//13 | 1/13 13:00–16:50 1/20 13:00–16:50 | 総合実習 空 総合実習 空 第1実習 空 第4 実習 空 総合実習 空 総合実習 空 総合実習 空 第1実習 空 第4 実習室 総合実習 空 第2 第4 実習室 総合実習 空 第2 第4 実習室 総合実習 空 第4 実習室 総合実習 空 第4 実習室 総合実習 空 第4 実習室 総合実習 空 第4 大田 で で で で で で で で で | 総合実習 室 作業用模型製作 第1実習 作業用模型製作 室 第4 実習室 総合実習 室 「「76 13:00-16:50 第1実習 室 「「71 13:00-16:50 第1実習 室 第4 実習室 総合実習 室 カスタムアバットメント形 成 実習室 総合実習 室 上部構造体フレーム形 | 総合実習 室 | 総合実習 室 |

| | | <u> </u> | | | | | |
|-------|-------|-------------|--------|----------------|--------------------|-------|-----------|
| | | | 実習室. | | | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 21–24 | 10/19 | 13:00-16:50 | CAD/CA | CAD 操作、CAM 操作、 | CAD/CAM システムによるスキャ | 上條 真吾 | 到達目標:7 |
| | | | M 演習室 | ジルコニア焼成 | ニング、ディスク削り出し、シンタ | | |
| | | | 第1実習 | | リング | | |
| | | | 室 第4 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 25–28 | 10/26 | 13:00-16:50 | 第1実習 | ジルコニアフレーム調 | ジルコニアアバットメントへの適合 | 上條真吾, | 到達目標:7,8 |
| | | | 室 第4 | 整 1 CADアバットメン | 確認・調整、フレーム形状の調整・ | 青木 亮一 | |
| | | | 実習室. | トデザイン | 研磨 CADによるアバットメント設 | | |
| | | | 総合実習 | | 計 | | |
| | | | 室 | | | | |
| 29–32 | 11/2 | 13:00-16:50 | 第1実習 | ジルコニアフレーム調 | ジルコニアアバットメントへの適合 | 上條 真吾 | 到達目標:7,8 |
| | | | 室,第4 | 整 2 | 確認・調整、フレーム形状の調整・ | | |
| | | | 実習室. | | 研磨 | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 33-36 | 11/9 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 陶材築盛 1 | イニシャル築盛(単色築盛法) | 上條 真吾 | 到達目標:9 GC |
| | | | 室,第4 | | | | コーポレートセン |
| | | | 実習室, | | | | ター |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 37–40 | 11/16 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 陶材築盛 2 | イニシャル築盛(単色築盛法) | 上條 真吾 | 到達目標:9 GC |
| | | | 室 第4 | | | | コーポレートセン |
| | | | 実習室, | | | | ター |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 41–43 | 12/7 | 13:00-15:50 | 第1実習 | 陶材築盛 3 | イニシャル築盛(単色築盛法) | 上條 真吾 | 到達目標:9 GC |
| | | | 室,第4 | | | | コーポレートセン |
| | | | 実習室, | | | | ター |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 44-45 | 12/14 | 13:00-14:50 | 第1実習 | 形態修正、艶出し・研磨 | 形態修正、ステイニング、グレー | 上條 真吾 | 到達目標: 10 |
| | | | 室 第4 | | ズ、機械研磨 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |

提出課題の評価(インプラント用トレー10 点、アバットメントデザイン 10 点、上部構造 80 点)で総合的に判断し評価する。 出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学/全国歯科技工士教育協議会 編: 医歯薬出版, 2017

参考書

インプラント歯学の実際/Ashok Sethi・Thomas Kaus 著 瀬戸 皖一・佐藤 淳一訳: クインテッセンス出版, 2006

CAD/CAM デンタルテクノロジー/日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編:医歯薬出版, 2012

メタルセラミックス築盛の基礎:カラーアトラス/山本真 著.:クインテッセンス出版, 1989

ザ・メタルセラミックス: カラーアトラス/山本真 著: クインテッセンス出版, 1982

- ・歯科技工別冊「インプラントの技工」市川哲雄・渡邉文彦 編 医歯薬出版 2004
- ・歯科技工別冊「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」 細川隆司・山下恒彦 編 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

備考

実習

| 時間割番号 | 023550 | 23550 | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 発育口腔工学 | 発育口腔工学 科目 ID DE-355000-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 土田 優勢 | 青木 和広, 土田 優美[AOKI KAZUHIRO, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:15時間 授業形態:講義、実習

主な講義場所

2号館2階 第1講義室、2号館4階 第1実習室、障がい者施設

授業の目的、概要等

障害者口腔保健センターの見学を通して、患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。

授業の到達目標

- 1. 障害者の口腔の特徴と歯科治療、口腔内装置について理解できる。
- 2. 障害者施設で利用者のプログラムに参加し、障害者理解を深めるとともに、利用者の口腔状況と口腔内装置の実際を理解できる。
- 3. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握できる。
- 4. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明できる。
- 5. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作する。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|-------------|-------------------------|--------|-----------|
| 1-2 | 10/5 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 障害者歯科学概論 | 障害者・有病者の口腔内の特徴と | 楠本 康香 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | | 歯科治療 | | |
| 3–9 | 10/6 | 09:00-16:50 | 外部病院 | 障がい者施設実習 | 障がい者施設見 学実 習 | 青木 和広 | 到達目標:1-3 |
| | | | 等 | | | 土田 優美 | 「ゆきわりそう」で |
| | | | | | | | 実習 集合時 |
| | | | | | | | 間など詳細は連 |
| | | | | | | | 絡します。 |
| 10-11 | 10/7 | 15:00-16:50 | 第1実習 | 小児歯科学実習 小児 | 治療の目的、乳歯う蝕の特徴とそ | 上原 智己, | 到達目標:4,5 |
| | | | 室 | の治療、小児の歯冠修 | の処置 歯冠修復の特徴と種類 | 土橋 なつみ | 実習 |
| | | | | 復 咬合誘導装置 保隙 | (成形修復・インレー・被覆冠) 咬 | | |
| | | | | 装置 | 合誘導の概念と装置の種類(保隙 | | |
| | | | | | 装置、スペースリゲーナー、口腔 | | |
| | | | | | 習癖除去装置)保隙の意義と目 | | |
| | | | | | 的 | | |
| 12-14 | 10/14 | 14:00-16:50 | 第1実習 | 小児歯科学実習 保隙装 | 保隙装置の種類と分類(ディスタ | 上原 智己, | 到達目標:4,5 |
| | | | 室 | 置・スペースリゲーナー | ルシュー、舌側弧線型保隙装置、 | 土橋 なつみ | 実習 |
| | | | | 保隙装置・スペースリゲ | クラウンループ)、スペースリゲー | | |
| | | | | ーナーの製作法 | ナーの目的、装置の構成 クラウ | | |
| | | | | | ンループ・スペースリゲーナー装 | | |
| | | | | | 置の製作法 | | |
| 15 | 12/11 | 11:00-11:50 | 第1講義 | 障がい者施設訪問報告 | 障がい者施設訪問報告会 | 青木 和広, | 到達目標:1-3 |
| | | | 室 | 会 | | 土田 優美 | 課題発表とレポ |
| | | | | | | 高橋 英和 | 一ト提出 |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |

上條 真吾

成績評価の方法

12月11日の発表内容(50点)およびレポート評価(50点)に加え、日頃の出席状況、授業や実習における態度を加味して総合的に評価する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

施設見学や実習が中心の科目である。

グループワークによる課題発表を行う。

| 時間割番号 | 023549 | 23549 | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 小児歯科工学 | ・児歯科工学 科目ID DE-354900-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 土田 優勢 | 青木 和広, 土田 優美[AOKI KAZUHIRO, TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:30時間 授業形態:講義、実習

主な講義場所

第1講義室、第1実習室

授業の目的、概要等

小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。

授業の到達目標

- 1. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を説明できる。
- 2. 歯列咬合と顎・顔面頭蓋の成長過程を説明できる。
- 3. 小児歯科疾患と治療の概要を説明できる。
- 4. 小児歯科治療に用いる咬合誘導を概説できる。
- 5. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を説明できる。
- 6. 小児の情緒と社会性の発達を説明できる。
- 7. 摂食機能と言語機能の発達過程を理解できる。
- 8. 小児期歯科におけるチーム医療を説明できる。
- 9. 歯科治療時の小児の行動への対応法を説明できる。
- 10. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。
- 11. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明できる。
- 12. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作する。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-----|-------|-------------|------|-------------|------------------|--------|---------------|
| 1–3 | 10/7 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 発達期の歯と口腔 小児 | 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特 | | 到達標: 1,5,6,10 |
| | | | 室 | の成長発育、機能の発 | 徴 成長発育の特徴、身体の発育 | | |
| | | | | 達 | とその評価、器官の発育、運 動・ | | |
| | | | | | 感覚機能の発達、情緒・社会性の | | |
| | | | | | 発達、保隙の意義と目的 | | |
| 4–5 | 10/7 | 13:00-14:50 | 第1実習 | 小児の治療、小児の歯 | 治療の目的、乳歯う蝕の特徴とそ | 上原 智己, | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | 冠修復 咬合誘導装置 | の処置 歯冠修復の特徴と種類 | 土橋 なつみ | |
| | | | | 保隙装置 | (成形修復・インレー・被覆冠) | | |
| 6–8 | 10/14 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 小児の歯科疾患 小児 | 小児歯科疾患の特徴 原始反射、 | | 到達目標3,7,10 |
| | | | 室 | の生理的特徴、摂食機 | 哺乳に関する反射、小児の生理的 | | |
| | | | | 能と言語機能の発達 | 特徴、栄養摂取と摂食機能の発 | | |
| | | | | | 達、哺乳期、離乳期、幼児期、児 | | |
| | | | | | 童・生徒期、発達期の食の問題、 | | |
| | | | | | 言語の基礎知識、言語の発達、発 | | |
| | | | | | 達期にみられる構音障害 | | |
| 9 | 10/14 | 13:00-13:50 | 第1実習 | 保隙装置・ スペースリ | 保隙装置の種類と分類(ディスタ | 上原 智己, | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | ゲーナー 保隙装置・ | ルシュー、舌側弧線型保隙装置、 | 土橋 なつみ | |
| | | | | スペースリゲーナーの | クラウンループ)、スペースリゲー | | |
| | | | | 製作法 | ナーの目的、装置の構成 クラウ | | |
| | | | | | ンループ・スペースリゲーナー装 | | |

| | | | | | 置の製作法 | | |
|-------|-------|-------------|------|-------------------|-----------------------------|------------------|----------------|
| 10-12 | 10/21 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 小児歯科の症例 顎・顔 | 回の袋1F広 小児歯科の症例紹介(酸蝕、外傷 | | 到達目標:2,3.8 |
| 10-12 | 10/21 | 09:00-11:00 | | | | | 到连日信:2,3,8 |
| | | | 室 | 面頭蓋、歯列・咬合の発 | を含む)、治療における歯科医療 | | |
| | | | | 育 | 従事者の役割・チーム医療 頭蓋 | | |
| | | | | | の構成要素と相対的発育、頭蓋発 | | |
| | | | | | 育の機構と評価法、側貌頭部エッ | | |
| | | | | | クス線規格写真計測による日本人 | | |
| | | | | | 小児の咬合評価、歯列発育の評 | | |
| | | | | | 価法、咬合誘導の概念と装置の種 | | |
| | | | | | 類 | | |
| 13-16 | 10/21 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 保隙装置の製作 | クラウンループ・可撤保隙装置の | 上原 智己, | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | | 作製 | 土橋 なつみ | |
| 17-19 | 10/28 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 小児歯科治療と咬合誘 | 小児歯科治療に用いられる咬合 | | 到達目標:3,4 |
| | | | 室 | 導装置 発達期の口腔 | 誘導1 乳歯・幼若永久歯の特徴、 | | |
| | | | | 疾患と歯科的対応 | 歯・歯数・萌出の異常、乳歯う蝕の | | |
| | | | | | 特徴、小児う蝕の実態、重症乳歯 | | |
| | | | | | う蝕の為害作用、青少年期の う | | |
| | | | | | 蝕、発達期の歯周疾患、不正咬 | | |
| | | | | | 合、口腔軟組織疾患の原因と予 | | |
| | | | | | 防、不良習癖、咬合誘導 | | |
| 20-23 | 10/28 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 動的咬合誘導 動的咬合 | 動的咬合誘導の意義と目的、口腔 | 上原 智己, | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | 誘導装置の製作法 | 習癖除去装置の目的・構造・製作 | 土橋 なつみ | |
| | | | | | 法動的咬合誘導装置の製作法 | | |
| 24-26 | 11/4 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 小児歯科治療と咬合誘 | 小児歯科治療に用いられる咬合 | | 到達目標::3,4,9 |
| | | | 室 | 導装置 小児歯科治療時 | 誘導装置2 小児の歯科診療時の | | |
| | | | | の小児行動への対応法 | 留意事項(診療環境の整備、小児 | | |
| | | | | | 歯科治療三角、コミュニケーション | | |
| | | | | | の確立)、小児の情動の特徴、行 | | |
| | | | | | 動変容法、強制的な行動抑制 | | |
| 27-30 | 11/4 | 13:00-16:50 | 第1実習 | 動的咬合誘導床 動的 | 誘導床の目的、装置の構造、誘導 | 上原 智己 | 到達目標:11,12 |
| | , . | 15.55 | 室 | 吹合誘導床の製作 咬 | 床の製作 咬合誘導装置に用いる | 土が 60, 土橋 なつみ | |
| | | | _ | 合誘導装置に用いる維 | 維持装置の種類と製作法 | | |
| | | | | 持装置 | | | |
| | | | | 177次世 | | | |

期末試験(50点)および実習における作品評価(45点)により授業態度(5点)を加味して総合的に評価する。

作品は、保隙装置2種類(30点)、動的咬合誘導装置(15点)として採点する。

なお、期末試験が6割未満の場合は、再試験とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

実習を含む科目である。

| 時間割番号 | 023551 |)23551 | | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 矯正歯科工学 | S正歯科工学 科目ID DE-355100-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 松本 芳郎 | 青木 和広, 松本 芳郎, 塩沢 真穂[AOKI KAZUHIRO, MATSUMOTO YOSHIRO, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 3 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

科目名:矯正歯科工学 時間数:45 時間 授業形態:講義、実習

主な講義場所

第1講義室、第1実習室

授業の目的、概要等

顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。

授業の到達目標

- 1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解する。
- 2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解する。
- 3. 矯正歯科の診断・治療法を概説する。
- 4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。
- 5. 矯正歯科装置の製作法を理解する。
- 6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。
- 7. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明する。
- 8. 矯正歯科装置の製作法を理解する。
- 9. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-----|-------|-------------|------------------|-------------|-------------------|-------|----------|
| 1-3 | 10/19 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 矯正歯科工学序論 成長 | 歯科矯正学の歩み、不正咬合によ | 松本 芳郎 | 到達目標:1-6 |
| | | | 室 | 発育 正常咬合と不正咬 | る障害と矯正歯科治療の意義、矯 | | |
| | | | | 合 | 正歯科治療における矯正歯科技 | | |
| | | | | | エの意義 成長発育概論、顎顔面 | | |
| | | | | | 頭蓋の成長発育、歯列・咬合の成 | | |
| | | | | | 長発育 正常咬合、不正咬合とそ | | |
| | | | | | の分類 | | |
| 4-6 | 10/26 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 不正咬合の原因・予防と | 不正咬合の原因と予防、矯正力に | 松本 芳郎 | 到達目標:2,3 |
| | | | 室 第1 | 生物学的背景 矯正歯科 | 伴う生体反応 矯正歯科治療の流 | | |
| | | | 実習室 | 治療の進め方 | れと歯科技工の関わり、形態分 | | |
| | | | | | 析・機能分析 矯正用口腔模型、口 | | |
| | | | | | 腔内写真、顔面規格写真、各種X | | |
| | | | | | 線写真、頭部X線規格写真、各種 | | |
| | | | | | 機能検査と分析、 | | |
| 7 | 11/2 | 09:00-09:50 | 第1講 義 | 矯正装置の必要条件と | 矯正装置の必要条件、矯正装置 | 松本 芳郎 | 到達目標:4-6 |
| | | | 室,第1 | 分類 | の分類 | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 8–9 | 11/2 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 矯正用口腔模型の製作 | 矯正用口腔模型(平行模型・顎態 | 松本 芳郎 | 到達目標:4-6 |
| | | | 室,第1 | 法 矯正用口腔模型の | 模型・セットアップモデル)印象採 | 塩沢 真穂 | 実習 |
| | | | 実習室 | 製作 | 得、石膏注入(模型、セットアップ、 | | |
| | | | | | 保定装置) | | |
| 10 | 11/9 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 矯正技工用器具と材料 | 矯正技工用器具と材料 | 松本 芳郎 | 到達目標:4,5 |
| | | | 室,第1 | | | | |

| | | | 実習室 | | | | |
|-------|-------|-------------|----------------------|---|---|--------------|---------------|
| 11–12 | 11/9 | 10:00-11:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 歯科技工の基本的手技 1 | ワイヤーベンディング | 松本芳郎、塩沢真穂 | 到達目標:4,5 実習 |
| 13 | 11/16 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 各種固定式矯正装置の 使用法、製作法 | 舌側弧線装置、顎間固定装置、リップバンパー、ナンスのホールディングアーチ、側方拡大装置 自在ろう着、ST ロック維持管ろう着 | 松本 芳郎 | 到達目標: 5,6 |
| 14-15 | 11/16 | 10:00-11:50 | 第1講義 室, 第1 実習室 | 矯正技工の基本的手技 2、舌側弧線装置(リンガ ルアーチ)の製作1 | リンガルアーチ | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5,6 実習 |
| 16 | 12/7 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 舌側弧線装置の製作1 | ST ロック維持管ろう着、ST ロック 脚部屈曲 | 松本 芳郎 | 到達目標:5 |
| 17–18 | 12/7 | 10:00-11:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 舌側弧線装置の製作2 | ST ロック維持管ろう着、ST ロック 脚部屈曲 | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実 習 |
| 19 | 12/14 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 舌側弧線装置の製作3 | STロック脚部屈曲、主線屈曲、ろう着 | 松本 芳郎 | 到達目標:5 |
| 20-21 | 12/14 | 10:00-11:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 舌側弧線装置の製作4 | STロック脚部屈曲、主線屈曲、ろう着 | 松本 芳郎, 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実習 |
| 22 | 12/21 | 09:00-09:50 | 第1講義 室, 第1 実習室 | 各種床矯正装置、保定 装置の使用法、製作法 | 咬合拳上板、咬合斜面板、スライ ディングプレート、ホーレーの保 定装置、トゥースポジショナー、ラ ップアラウンドリテーナー、犬歯間 リテーナー、FSWリテーナー ワイ ヤー屈曲 | 松本 芳郎 | 到達目標:5 |
| 23-24 | 12/21 | 10:00-11:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 保定装置の製作 1 | 咬合拳上板、咬合斜面板、スライ ディングプレート、ホーレーの保 定装置、トゥースポジショナー、ラ ップアラウンドリテーナー、犬歯間 リテーナー、FSWリテーナー ワイ ヤー屈曲 | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実習 |
| 25 | 1/18 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 保定装置の製作2 | ワイヤー屈曲・ろう着、即重レジン 重合 | 松本 芳郎 | 到達目標:5 |
| 26–27 | 1/18 | 10:00-11:50 | 第1講義 室,第1 実習室 | 保定装置の製作3 | ワイヤー屈曲・ろう着、即重レジン 重合 | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実習 |
| 28 | 1/25 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 保定装置の製作4 | 即重レジン重合、研磨 | 松本 芳郎 | 到達目標:5 |
| 29–30 | 1/25 | 10:00-11:50 | 第1講義 室 第1 実習室 | 保定装置の製作5 | 即重レジン重合、研磨 | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実 習 |
| 31-33 | 1/25 | 13:00-15:50 | 第1講義 室 第1 | 保定装置の製作5 | 即重レジン重合、研磨 | 松本 芳郎 塩沢 真穂 | 到達目標:5 実習 |

| | | | 実習室 | | | | |
|-------|-----|-------------|-------|-------------|------------------|-------|------------|
| 34 | 2/1 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 各種機能的装置の使用 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 |
| | | | 室, 第1 | 法、製作法、構成 咬合 | ビムラーのアダプター、フレンケ | | |
| | | | 実習室 | 器装着、顎間誘導線屈 | ルの装置他 | | |
| | | | | 曲1 咬合器装着、顎間 | | | |
| | | | | 誘導線屈曲1 | | | |
| 35–36 | 2/1 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 各種機能的装置の使用 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 実 |
| | | | 室, 第1 | 法、製作法、構成 咬合 | ビムラーのアダプター、フレンケ | 塩沢 真穂 | 習 |
| | | | 実習室 | 器装着、顎間誘導線屈 | ルの装置他 | | |
| | | | | 曲1 咬合器装着、顎間 | | | |
| | | | | 誘導線屈曲1 | | | |
| 37–39 | 2/1 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 咬合器装着、顎間誘導 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 実 |
| | | | 室,第1 | 線屈曲 1 | ビムラーのアダプター、フレンケ | 塩沢 真穂 | 習 |
| | | | 実習室 | | ルの装置他 | | |
| 40 | 2/8 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 咬合器装着、顎間誘導 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 |
| | | | 室,第1 | 線屈曲 2 | ビムラーのアダプター、フレンケ | | |
| | | | 実習室 | | ルの装置他 | | |
| 41-42 | 2/8 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 咬合器装着、顎間誘導 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 実 |
| | | | 室,第1 | 線屈曲3、まとめ | ビムラーのアダプター、フレンケ | 塩沢 真穂 | 習 |
| | | | 実習室 | | ルの装置他 まとめ | | |
| 43-45 | 2/8 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 咬合器装着、顎間誘導 | アクチバトール、バイオネーター、 | 松本 芳郎 | 到達目標:7,8 実 |
| | | | 室 第1 | 線屈曲3、まとめ | ビムラーのアダプター、フレンケ | 塩沢 真穂 | 習 |
| | | | 実習室 | | ルの装置他 まとめ | | |

筆記試験および授業態度、実習の製作作品および授業態度により総合的評価を行う。

期末試験(70点)および実習の製作作品(30点)と授業態度など平常点を加味して総合的な評価を行う。

期末試験が6割未満の場合は、再試験とする。

なお、実習の採点は、

ワイヤーベンディング(10点)

リンガルアーチ(10点)

リテーナー (10点)

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

講義時間の2/3以上の出席、実習は4分の3の出席が単位取得の最低条件である。

教科書

矯正歯科技工学/全国歯科技工士教育協議会編;後藤尚昭,宇都宮宏充,横山和良著,全国歯科技工士教育協議会,後藤,尚昭,宇都宮, 宏充横山,和良:医歯薬出版,2017

参考書

矯正歯科技工学/全国歯科技工士教育協議会 編集後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良 著::医歯薬出版, 2017

歯科技工士のための実践矯正装置製作法/尾崎順男, 宇都宮宏充, 茂原宏美, 後藤尚昭 著,:クインテッセンス出版, 2007

チェアサイド・ラボサイドの新矯正装置ビジュアルガイド: 患者さんに渡せる装置の説明リーフレット付/後藤滋巳 編者代表: 医歯薬出版, 2015

矯正歯科技工・小児歯科技工: 歯科技工学実習トレーニング/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編:医歯薬出版, 2011

最新歯科矯正アトラス/井上直彦・鈴木祥井著: 医歯薬出版, 1984

最新歯科矯正アトラス臨床編 I / 井上直彦著: 医歯薬出版, 1982

歯科矯正学/飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 槇宏太郎, 山城隆 編集,飯田, 順一郎,葛西, 一貴, 1955-,後藤, 滋巳, 1952-,: 医歯薬出版, 2019

Contemporary Orthodontics / 6th Ed., W. R. Proffit 他著: ELSEVIER MOSBY, 2019

歯科技工士国家試験問題集/全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版, 2019

要点チェック歯科技工士国家試験対策/関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編:医歯薬出版,2015

備考

本科目は、半分以上が実習となる科目である。

| 時間割番号 | 023552 | | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 再建工学包括臨床実 | 再建工学包括臨床実習 I 科目 ID DE-375200-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正日 | 上條 真吾, 池田 正臣, 塩沢 真穂[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 4 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

科目名:再建工学包括臨床実習 I 時間数:180 時間 必修4単位

授業形態:実習

主な講義場所

2号館4階 第1実習室、総合実習室、CAD/CAM演習室、重合鋳造室、歯学部附属病院外来

授業の目的、概要等

歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。

授業の到達目標

- 1. 医療人としての倫理観を身につける。
- 2. 多職種との連携に必要な事項を列挙できる。
- 3. 臨床模型による歯科技工操作の留意点を説明できる。
- 4. 臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術を確実に習得する。
- 5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解する。
- 6. 歯科補綴装置の製作に必要な情報を取得し、整理できる。
- 7. 症例に応じた補綴デザインを選択できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|--------|------------|-----------------|--------|--------------|
| 1–6 | 10/1 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | オリエンテーション 臨床実習に | 上條 真吾, | 到達目標:1-3 |
| | | | M 演習室. | Phase I | 必要となる基本的歯科技工技術の | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | 確認 | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 7–10 | 10/5 | 13:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 11-16 | 10/8 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 17–18 | 10/15 | 09:00-10:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 19–20 | 10/29 | 09:00-10:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |

| | | | | | | | T |
|-------|-------|-------------|--------|------------|-----------------|--------|--------------|
| 21–22 | 11/5 | 09:00-10:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 23-28 | 11/11 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 29–31 | 11/13 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 32-37 | 11/20 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習に必要となる基本的歯科 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | Phase I | 技工技術の確認 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 38–43 | 11/24 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 44-49 | 11/25 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 50-55 | 11/26 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 56-61 | 11/27 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 62-67 | 11/30 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |

| 60 == | 407: | 00.00 4=== | 045/5: | <u> </u> | - 보고보호교(JE) 는 마스 중 성 등 시 는 소리 | `\bm ~!! | 万小夫口———————————————————————————————————— |
|-------|-------|-------------|--------|------------------|--|----------|--|
| 68-73 | 12/1 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條真吾, | |
| | | | 室、総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 74–79 | 12/2 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 80–85 | 12/3 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 86-91 | 12/4 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 歯学部附属病院の各診療科での | 池田 正臣, | 到達目標:1-5 |
| | | | M 演習室 | Phase II | 臨床実習 | 塩沢 真穂 | 各科ローテーショ |
| | | | 第1実習 | | | 上條 真吾, | ン |
| | | | 室 総合 | | | 大木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 92-98 | 12/9 | 09:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 99–10 | 12/10 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 1 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 102-1 | 12/16 | 09:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 08 | | | M 演習室 | Phase III | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 109-1 | 12/17 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 11 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 112-1 | 12/18 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | には には には には には には には には には には | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 14 | | | M 演習室 | Phase III | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢真穂 | |
| | | | 室総合 | | | , Selio | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | 不日王 | | | | |

| 115.1 | 10 /01 | 1000 1050 | 040/04 | 五件工学与红吃古典 | 吃广共和 <i>大 </i> | ᆸᄵ ᅕᄑ | 지수다는 0403 |
|-------|-----------|-------------|---------------|------------------------|---|------------------------------|---|
| 115–1 | 12/21 | 13:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 18 | | | M 演習室 | Phase Ⅲ | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| 110.1 | 1 /0 | 1000 1050 | 実習室 | 天孙子光与上TF左广内羽 | TEC-14TUE 1- 1 15TUE 1-1/5- | 1 /4 * * * * | 不少去口上来 0.4.0.7 |
| 119–1 | 1/6 | 13:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 22 | | | M演習室 | Phase Ⅲ | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| 100.1 | 1 // 0 | 00.00 10.50 | 実習室 | 天孙子光与上FF左广内33 | TEC-14TUE 1+ 1 1ET-14+1+/E- | 1 /kg | 701年日4年 0 4 0 7 |
| 123-1 | 1/13 | 09:00-16:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 29 | | | M演習室 | Phase Ⅲ | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| 100 1 | 1/4- | 00.00 11.50 | 実習室 | 五74十兴与1555年中37 | 吃什类形化 | ᅡᄵᅟᆂᆂ | 四十二 0 4 0 7 |
| 130-1 | 1/15 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 32 | | | M 演習室 | Phase Ⅲ | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | | |
| 100.1 | 1 // 0 | 1000 1750 | 実習室 | 7.4.7.4.6.1.TEC. | TEC-14TUE 1- 1 15TUE-1-1-1-1- | 1 /kg | 不少去口上来 0.4.0.7 |
| 133-1 | 1/18 | 13:00-17:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 37 | | | M 演習室 | Phase Ⅲ | の習得 | 池田正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 実習室 | | | | |
| 138-1 | 1/20 | 13:00-16:50 | 大日主 CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾。 | 到達目標:3,4,6,7 |
| 41 | 1/20 | 13.00 10.30 | M 演習室 | 中建工于已行min人夫自 PhaseⅢ | の習得 | 工候 異古, 池田 正臣, | 到连口标.3,4,0,7 |
| 41 | | | 第1実習 | Fnasem | の自分 | 心山 正史 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | 一 一 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 142-1 | 1/21 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 44 | 1/21 | 30.00 11.00 | M 演習室 | Phase III | の習得 | 工候 異日, 池田 正臣, | ンスエロ 7家、ひ, T, ひ, / |
| | | | 第1実習 | | HIA | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室総合 | | | -m// >< 1/0 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 145-1 | 1/22 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 47 | ., | 22.30 11.00 | M 演習室 | Phase III | の習得 | 上版 美品, 池田 正臣, | 2 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | + ><1/0 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 148-1 | 1/27 | 13:00-17:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 52 | - · · - · | 1235 17.55 | M 演習室 | Phase III | の習得 | 上版 共日, 池田 正臣, | Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z |
| - | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | >< 1/0 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | <u> </u> | ス日王 | | | | |

| 153-1 | 1/28 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
|-------|------|-------------|--------|----------------|----------------|--------|--------------|
| 55 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 156-1 | 1/29 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 58 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 159-1 | 2/3 | 13:00-17:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 63 | | | M 演習室. | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 164-1 | 2/4 | 09:00-15:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 69 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 170-1 | 2/5 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 72 | | | M 演習室. | Phase Ⅲ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 173-1 | 2/10 | 13:00-17:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 77 | | | M 演習室 | PhaseⅢ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 178-1 | 2/12 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 再建工学包括臨床実習 | 臨床模型を使った歯科技工技術 | 上條 真吾, | 到達目標:3,4,6,7 |
| 80 | | | M 演習室. | Phase Ⅲ | の習得 | 池田 正臣, | |
| | | | 第1実習 | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |

- ・提出課題の評価(歯冠修復40点、有床義歯40点、レポート20点)で総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
- ・各科ローテーションでは歯学部附属病院の補綴系外来と歯科技工部で実習を行う。服装等に注意すること。不適切な服装・身だしなみの場合は実習を停止する。予定表やレポート書式に関しては WebClass にアップロードされるので確認すること。

履修上の注意事項

・9月7日の登院式の詳細は別に定める。 ・再建工学包括臨床実習 I Phase II の具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。

備考

実習

| 時間割番号 | 023554 | 023554 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 医療倫理 | 医療倫理 科目ID DE-335400-L | | | | | | | | |
| 担当教員 | 高橋 英和, 青木 和. | 高橋 英和, 青木 和広[TAKAHASHI HIDEKAZU, AOKI KAZUHIRO] | | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 1 | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | |

科目名:医療倫理 時間数:15 時間 授業形態:講義·討論

必修

主な講義場所

保健衛生学科 講義室 1, 口腔保健工学専攻 第1講義室、口腔保健衛生学専攻 第3講義室

授業の目的、概要等

- ・倫理学の視点から生命倫理の基礎を確認し、その上で、生命倫理が取り組んできた課題および現在直面している問題について理解する。
- ・医療倫理、研究倫理、技術倫理や個人情報保護について理解する。

授業の到達目標

- 1. 生命倫理について説明する。
- 2. 優生思想の基礎的な理解とその歴史を説明する。
- 3. 現代の生命倫理が抱える課題を理論的および歴史的視点から論じる。
- 4. 倫理審査について説明する.
- 5. 個人情報保護の必要性を説明する
- 6. 医療倫理を説明する。
- 7. 技術者倫理および情報倫理について理解し、実践的な対応力を身につける。
- 8. 社会の現状および企業の仕組みを理解し、社会及び企業との関係において、技術者としてのあり方を身につける。
- 9. 日本における薬害の現状とその対応を説明できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|------|------------|-----------------|--------|---------|
| 1–2 | 4/7 | 10:00-11:50 | 保健衛生 | 生命倫理とは何か | 生命倫理の理論的基礎づけ | 藤井 達夫 | SBO 1-3 |
| | | | 学科講義 | | | 高橋 英和 | |
| | | | 室1 | | | | |
| 3–4 | 4/14 | 10:00-11:50 | 保健衛生 | 優生思想とその歴史 | 優生思想と、医療と優生思想との | 藤井 達夫 | SBO 1-3 |
| | | | 学科講義 | | 根深い関係 | | |
| | | | 室1 | | | | |
| 5–6 | 4/21 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 生命倫理、倫理審査等 | 倫理審査、研究倫理審査の必要性 | 甲畑 宏子 | SBO 4 |
| | | | 室 | に関する講義 | | | |
| 7–8 | 4/28 | 10:00-11:50 | 保健衛生 | 現代の生命倫理の諸課 | 医療技術の急速な発展と新しい優 | 藤井 達夫, | SBO 1-3 |
| | | | 学科講義 | 題 | 生思想による現代の生命倫理 | 高橋 英和 | |
| | | | 室1 | | | | |
| 9–10 | 5/12 | 10:00-11:50 | 第2講義 | 個人情報保護、医療倫 | 個人情報保護、医療倫理等 | 吉田 雅幸 | SBO 1,6 |
| | | | 室 | 理等に関する講義 | | | |
| 11-12 | 5/19 | 13:00-14:50 | 第2講義 | 技術倫理の実践 | 匠を考える1 技術者倫理と行動 | 高橋 英和 | SBO 7,8 |
| | | | 室 | | 技術者倫理活動の実例 職業倫 | 田中 智彦 | |
| | | | | | 理の実際を考える1 | | |
| 13 | 6/2 | 13:00-13:50 | 第2講義 | 日本における薬害 | 薬害の原因とその対応 | 高橋 英和 | SBO 9 |
| | | | 室 | | | | |
| 14-16 | 6/2 | 14:00-16:50 | 第2講義 | 技術倫理の実践 | 匠を考える2 技術者倫理と行動 | 高橋 英和 | SBO 7,8 |
| | | | 室 | | 技術者倫理活動の実例 職業倫 | 田中 智彦 | |
| | | | | | 理の実際を考える2 | | |
| L | · | · | · | l | · | ······ | A |

授業方法

講義,討論

成績評価の方法

・出席状況(10 点), 授業態度(10 点)、レポート課題(40 点)および発表の内容(10 点), 総括試験(30 点)から総合的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。 e-learning (Web Class) を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

試験の受験資格

講義時間の 2/3 以上の出席

参考書

技術者倫理:技術者として幸福を得るために考えておくべきこと/辻井洋行,水井万里子,堀田源治 著:日刊工業新聞社,2016 優生学と人間社会:生命科学の世紀はどこへ向かうのか/米本 昌平 [ほか]著,米本 昌平:講談社 生そのものの政治学:二十一世紀の生物医学、権力、主体性/ニコラス・ローズ:法政大学出版局,2014

備考

高橋 英和あらかじメールにて面談時間を相談のこと

2号館2階 213号室

| 時間割番号 | 023555 | | | | | | | | |
|----------|--------------|---|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 卒業研究 [| 卒業研究 I 科目 ID DE-365500-Z | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 池田 正日 | 青木 和広, 池田 正臣, 澁川 穂積[AOKI KAZUHIRO, IKEDA MASAOMI, SHIBUKAWA HOZUMI] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度後期 | 対象年次 | 3 | 単位数 | 2 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

時間数:60 時間 授業形態:講義·演習

主な講義場所

2号館2階第1講義室、MDタワー4階 図書館情報検索室

授業の目的、概要等

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法と研究のまとめ方を理解する。

授業の到達目標

- 1. 研究の進め方を説明できる。
- 2. EBM·EBHC の概念と研究者としての倫理観を説明できる。
- 3. 論文の構成を説明できる。
- 4. 理工学研究および生物学研究との融合研究の概念を説明できる。
- 5. 本学の基本理念に沿って、論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。
- 6. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを設定する。
- 7. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護および動物の扱いを説明できる。
- 8. 結論を導くために必要な統計処理について説明できる。
- 9. 研究テーマ、目的に到達するための研究計画を作成する。
- 10.論文検索から参考文献のライブラリー作成作業および RefWorks を使った引用論文表示ができる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-------|-------------|------|------------|------------------------|--------|-------------|
| 1–3 | 10/2 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 卒業研究オリエンテー | 卒業研究の概要、Evidence-based | 青木 和広 | 到達目標:1-4 |
| | | | 室 | ション | Medicine (EBM)と研究者としての | | |
| | | | | | 倫理観 生物学研究と理工学研究 | | |
| | | | | | との融合研究 | | |
| 4–6 | 10/16 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 研究とキャリアパス | 修士、博士、大学教員となるまで | 青木 和広 | 到達目標:1-4 |
| | | | 室 | | の研究への取り組みを紹介する | | |
| | | | | | 実験ノートの書き方 | | |
| 7–9 | 10/23 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 研究成果報告会 | 4年生研究成果報告会に参加 | 青木 和広, | 到達目標:1-9 口 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | 腔保健工学専攻 |
| | | | | | | 大木 明子, | 教員 |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 10-12 | 10/30 | 13:00-15:50 | 情報検索 | 文献検索 1 | 文献検索の実施と論文読解 1 基 | 青木 和広, | 到達目標:1-5,10 |
| | | | 室 | | 本理念に沿って、研究テーマを策 | 澁川 穂積 | |
| | | | | | 定し、関連論文を収集する技術を | | |
| | | _ | | | 学ぶ | | |
| 13-15 | 11/6 | 13:00-15:50 | 情報検索 | 文献検索 2 | 文献検索の実施と論文読解2基 | 澁川 穂積 | 到達目標:1-5,10 |

| r | | T | | T | | | |
|----------------|----------|-------------|-------------------------------|----------------|-------------------|--------|--|
| | | | 室 | | 本理念に沿って、論文を作成する | 青木 和広 | |
| | | | | | ために必要な参考文献の引用方 | | |
| | | | | | 法について学ぶ | | |
| 16-18 | 11/13 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 文献検索3、研究テーマ | 文献検索の実施がサポートなしで | 青木 和広 | 到達目標:1-6,10 |
| | | | 室 | の絞り込み | できるまで訓練する。基本理念に | | 自分のPCを持参 |
| | | | | | 沿った研究テーマの検討 | | すること |
| 19–24 | 12/11 | 09:00-15:50 | 第1講義 第1講義 | 研究実施の流れ 研 | 研究計画の立て方、倫理的配慮・ | 青木 和広 | 到達目標:1,2,6-8 |
| 13 24 | 12/11 | 09.00 10.00 | 室 | 吹テーマの絞り込み | 個人情報の管理等の留意点等に | 高橋英和 | 到连口标.1,2,00 |
| | | | 王 | 九) 一マの取り込み | | | |
| | | | | | ついて研究テーマの検討 OH | 大木 明子, | |
| | | | | | 卒研発表会参加 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 25-27 | 1/6 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 研究計画に関する情報 | 4年生卒業製作発表会に参加 | 青木 和広, | 到達目標:1,4,5, |
| | | | 室 | 収集 | | 高橋 英和 | 6 |
| | | | | | | 大木 明子. | |
| | | | | | | 池田 正臣 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 28-33 | 1/8 | 09:00-15:50 | 第1講義 | 研究テーマの絞り込み | 4年生卒業研究発表会に参加 | 青木 和広, | 到達目標:1-8 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾 | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| 24 | 1/15 | 1200 1250 | 公1 = 共主 | 四九計画事作式 | ロカション ロカニ マク | | 四本日抽.0.10 |
| 34 | 1/15 | 13:00-13:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成、研究テーマの | 青木 和広 | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | 設定と研究デザイン、データ処理 | | |
| | | | | | の方法、研究計画書について | | |
| 35–36 | 1/15 | 14:00-15:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成、研究テーマの | 青木 和広, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | 設定と研究デザイン、データ処理 | 高橋 英和 | |
| | | | | | の方法、研究計画書について | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾。 | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | 1 /00 | 00.00.00.50 | <i>5</i> 5-4 =# ** | 7月7万章上走。李 / 上一 | 7775过雨事作品 北京 4十44 | | 五小去口一带 0.40 |
| 37 | 1/20 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 背景や方法を | 青木 和広 | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | 記述するために必要な参考文献 | | |
| | | | | | を集める 研究計画書の進捗状 | | |
| | | | | | 況確認 | | |
| 38-39 | 1/20 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 背景や方法を | 青木 和広, | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | 記述するために必要な参考文献 | 高橋 英和 | |
| | | | | | を集める | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> | | | <u> </u> | 塩八 呉徳 | |

| | | T | <u> </u> | ľ | T | ı | <u> </u> |
|-------|------|--------------|-----------|-----------------|--|--------------------|----------------|
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 40 | 1/22 | 13:00-13:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 背景や方法を | 青木 和広 | 到達目標::9, 10 |
| | | | 室 | | 記述するために必要な参考文献 | | |
| | | | | | を集める 研究計画書の進捗状 | | |
| | | | | | 況確認 | | |
| 41-42 | 1/22 | 14:00-15:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 背景や方法を | 青木 和広 | 到達目標::9, 10 |
| | ., | 1 1100 10100 | 室 | 7750111111177 | 記述するために必要な参考文献 | 高橋英和 | ZIZZI JANO, 10 |
| | | | _ | | を集める | 大木明子 | |
| | | | | | 22070 | 池田正臣 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 43 | 1/27 | 09:00-09:50 | 第1講義 室 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 | 青木 和広 | 到達目標:9,10 |
| 44-45 | 1/27 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 研究計画書作成 | 研究計画書作成 | 青木 和広 | 到達目標:9,10 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | , , , , , |
| | | | _ | | | 大木明子 | |
| | | | | | | 池田正臣 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 46–48 | 1/29 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 統計その1 | 卒業研究に用いる統計手法の概 | 青木 和広, | 到達目標::8 |
| | | | 室 | | 要 | 池田 正臣 | |
| 49 | 2/3 | 09:00-09:50 | 第1講義 | 卒業研究の実際 | 各指導者の下に実験の準備、倫 | 青木 和広 | 到達目標:1 - 10 |
| | | | 室 | | 理審査書類、動物実験計画書など | | |
| | | | | | の申請 | | |
| 50-51 | 2/3 | 10:00-11:50 | 第1講義 | 卒業研究の実際 | 各指導者の下に実験の準備、倫 | 青木 和広, | 到達目標:1-10 |
| | | | 室 | | 理審査書類、動物実験計画書など | 高橋 英和 | |
| | | | _ | | の申請 | 大木明子, | |
| | | | | | THE STATE OF THE S | 池田正臣 | |
| | | | | | | 心田 正正, 塩沢 真穂, | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 上條真吾 | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| 52-54 | 2/5 | 13:00-15:50 | 第1講義 | 統計その2 | 4年生の研究に具体的に使われ | 青木 和広, | 到達目標:8 |
| | | | 室 | | た統計手法の概説 | 池田 正臣 | |
| 55–57 | 2/10 | 09:00-11:50 | 情報検索 | RefWorks を使った研究 | 研究計画書作成仕上げ提出 | 青木 和広, | 到達目標:1 - 10 |
| | | | 室 | 計画書の作成 | | 澁川 穂積 | RefWorks で作業 |
| | | | | | | | するためのワー |
| | | | | | | | ドファイルと文献 |
| | | | | | | | 関連ファイルを準 |
| | | | | | | | 備をしてくること。 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | 必要に応じ自分 |
| | | | | | | | のPCを持参する |
| | | | | | | | こと。 |

| | 58 | 2/12 | 13:00-13:50 | 第1講義 | RefWorks を使った研究 | 研究計画書作成仕上げ提出 | 青木 和広 | 到達目標:1 - 10 |
|---|-------|------|-------------|------|-----------------|--------------|--------|-----------------------|
| | | | | 室 | 計画書の作成 | | | RefWorks で作業 |
| | | | | | | | | するためのワー |
| | | | | | | | | ドファイルと文献 |
| | | | | | | | | 関連ファイルを準 |
| | | | | | | | | 備をしてくること。 |
| | | | | | | | | 必要に応じ自分 |
| | | | | | | | | のPCを 持参 する |
| | | | | | | | | こと。 |
| | 59-60 | 2/12 | 14:00-15:50 | 第1講義 | RefWorks を使った研究 | 研究計画書作成仕上げ提出 | 青木 和広, | 到達目標:1 - 10 |
| | | | | 室 | 計画書の作成 | | 高橋 英和 | RefWorks で作業 |
| | | | | | | | 大木 明子, | するためのワー |
| | | | | | | | 池田 正臣, | ドファイルと文献 |
| | | | | | | | 塩沢 真穂 | 関連ファイルを準 |
| | | | | | | | 岩崎直彦 | 備をしてくること。 |
| I | | | | | | | 上條 真吾, | 必要に応じ自分 |
| | | | | | | | 土田 優美 | のPCを 持参 する |
| ı | | | | | | | | こと。 |

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

備考

この科目は、論文作成に必要な知識を演習を通して獲得し、指導教員との討論を交えて次年度からの研究のための研究計画書の作成を目標とする。

| 時間割番号 | 023558 | | | | | | |
|----------|---|-------|------|-------------|---|--|--|
| 科目名 | 口腔保健工学エクスタ | ーンシップ | 科目ID | DE-495800-Z | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 高橋 英和[AOKI KAZUHIRO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度 1.5 通年 | 対象年次 | 3~4 | 単位数 | 1 | | |
| | (秋) | | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | |

海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。

成績評価の方法

それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。

単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと

以下の履修上の注意事項に従うこと.

試験の受験資格

- 〇単位認定条件
- 1)海外研修奨励制度による研修プログラム
- (1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。

- (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修
- (3) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(4) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

- (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)
- 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの)
- (1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)

- (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修
- (4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う.

(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

第4学年 履修科目・ユニット

| 時間割番号 | 023519 | | | | | | | | |
|----------|----------------|-------------------------------|---|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 画像解析学 | 画像解析学 科目 D DE-451900-L | | | | | | | |
| 担当教員 | 土田 優美[TSUCHIDA | 土田 優美[TSUCHIDA Yuumi] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

科目名: 画像解析学概論

時間数:15時間 授業形態:講義,演習

選択

主な講義場所

2号館第3講義室

授業の目的、概要等

放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。

授業の到達目標

- 1. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。
- 2. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。
- 3. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。
- 4. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。
- 5. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。
- 6. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
- 7. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。
- 8. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。
- 9. 歯科用コーンビーム CT, CT, MRI, 超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。
- 10. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。
- 11. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。
- 12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。
- 13. 放射線の人体に対する影響を説明できる。
- 14. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。
- 15. 断層撮影画像データの三次元構築ができる。

授業計画

| | • | | | | | | |
|-------|------|-------------|------|------------|------------------------|-------|------------|
| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–3 | 4/22 | 13:00-15:50 | 第3講義 | エックス線写真の原理 | 放射線の種類と性質、 エックス | 渡邊 裕 | 到達目標:1-5 |
| | | | 室 | | 線画像形成の原理、 エックス線 | | |
| | | | | | 写真処理の原理、 デジタルラジ | | |
| | | | | | オグラフィーの原理 | | |
| 4-6 | 5/13 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 歯科用エックス線撮影 | 口内法エックス線撮影の種類、 | 渡邊 裕 | 到達目標:6-10 |
| | | | 室 | の種類と原理 | パノラマエックス線撮影の原理、 | | |
| | | | | | 顔面頭蓋部撮影の種類、 歯科用 | | |
| | | | | | コーンビーム CT ほか、 インプラ | | |
| | | | | | ントのためのステントとCT | | |
| 7–9 | 5/20 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 顎顔面口腔領域の正常 | 画像診断、 正常像と異常所見 | 渡邊 裕 | 到達目標:11,12 |
| | | | 室 | 像と異常像 | | | |
| 10-12 | 5/27 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 放射線の人体への影響 | 放射線の人体に対する影響、 が | 渡邊 裕 | 到達目標:13,14 |
| | | | 室 | と放射線治療 | んの放射線治療とその補助装置 | | |
| 13-15 | 6/3 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 断層撮影画像データの | Zed View を使用した CT データの | 土田 優美 | 到達目標:15 |
| | | | 室 | 三次元構築(演習) | 3D モデリング | | |

成績評価の方法

・提出レポート(10)、期末の客観試験(90)で総括的評価を行う。なお、期末試験の得点が6割未満の場合は再試験を行う。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

講義の出席が 2/3 以上

参考書

歯科放射線学/岡野友宏, 小林馨, 有地榮一郎編: 医歯薬出版, 2013

歯科臨床における画像診断アトラス/日本歯科放射線学会編:医歯薬出版,2008

備者

断層撮影画像データの三次元構築に関しての演習を行う。

| 時間割番号 | 023532 | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | スポーツ歯科工学 | スポーツ歯科工学 科目 D DE-493200-L | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子, 上野 俊明 | 大木 明子, 上野 俊明, 中禮 宏, 矢野 顕[OKI MEIKO, UENO TOSHIAKI, CHUREI HIROSHI, Akira Yano] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

選択 15 時間

主な講義場所

口腔保健工学専攻 第3講義室、第2実習室、総合実習室、重合・鋳造室

授業の目的、概要等

スポーツと歯科保健医療、特にマウスガードの構造と製作法を理解する。

授業の到達目標

- 1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を説明できる。
- 2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について説明できる。
- 3. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について説明できる。
- 4. スポーツ選手のおける顎口腔系の状態とその健康管理について説明できる。
- 5. フェイスガードの構造と製作法について説明できる。
- 6. マウスガードの目的、種類、特徴について説明できる。
- 7. マウスガードの材料について説明できる。
- 8. マウスガードの構造と製作法について説明でき、マウスガードを製作する。

授業計画

| 以本印度 | 4 | | | | | | |
|-------|------|-------------|------|-------------|-------------------|--------|----------|
| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1-3 | 5/21 | 13:00-15:50 | 第3講義 | スポーツ歯科工学概論 | スポーツ外傷の特徴と予防、顎口 | 上野 俊明 | 到達目標:1-4 |
| | | | 室 | | 腔系機能と身体運動機能の関連、 | | |
| | | | | | スポーツ選手の健康管理 | | |
| 4–5 | 5/28 | 13:00-14:50 | 第3講義 | フェイスガードの製作法 | フェイスガードの目的、構造、製作 | 中禮 宏 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | 法 | | |
| 6 | 5/28 | 15:00-15:50 | 第3講義 | マウスガードの製作1 | 模型調整・咬合器装着(実習) | 中禮 宏 大 | 到達目標:6-8 |
| | | | 室 第2 | | | 木 明子 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 7–9 | 6/4 | 13:00-15:50 | 第3講義 | マウスガードの製作法 | マウスガードの目的、種類、材 | 上野 俊明 | 到達目標:6-8 |
| | | | 室 | | 料、製作法 | | |
| 10-12 | 6/11 | 13:00-15:50 | 第2実習 | マウスガードの製作2 | EVA シート製マウスガードの製作 | 中禮 宏 | 到達目標:6-8 |
| | | | 室 総合 | | (実習) | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 13-15 | 6/18 | 13:00-15:50 | 第2実習 | マウスガードの製作3 | ポリオレフィンシート製マウスガー | 中禮 宏 | 到達目標:6-8 |
| | | | 室 総合 | | ドの製作、マウスガードの完成(実 | | |
| | | | 実習室 | | 習) | | |

授業方法

講義、実習

成績評価の方法

- ・マウスガード2種の評価(各10点ずつ合計20点)と期末試験(80点)で総合的に評価し合否を判定する。
- ・期末試験が60点未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況と授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料が配布または WebClass にアップされた場合は予習してから講義に出席すること。6,10~15 回はマウスガード製作について実習を行うので、WebClass の資料を予習してから出席すること。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

教科書

要説スポーツ歯科医学/石上惠一, 上野俊明, 川良美佐雄, 前田芳信, 安井利一 編集:医学情報社, 2015 実践スポーツマウスガード:製作・調整と競技別サポート/大山喬史 監修,上野俊明 編集:医学情報社, 2014

参考書

スポーツ歯科入門ハンドブック:健康スポーツ歯科をめざして/安井利一,杉山義祥 編著姫野かつよ [ほか]著:医学情報社,2009

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 6,10~15 回には実習も行うので、インスツルメント器材を準備しておくこと。

備考

担当教員のオフィスアワー

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

上野俊明 准教授 メールにて日時を相談 tueno.spmd@tmd.ac.jp

中禮 宏 助教 メールにて日時を相談 chu.spmd@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023533 | | | | | | | |
|----------|-----------------|--|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | オーラルアプライアン | オーラルアプライアンス工学 科目 ID DE-493300-L | | | | | | |
| 担当教員 | 大木 明子[OKI MEIK(| 大木 明子[OKI MEIKO] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

選択 15 時間

主な講義場所

- 2号館3階 第3講義室
- 2号館4階 第2実習室

授業の目的、概要等

顎関節症、睡眠時無呼吸症などの治療に用いるスプリントの意義と製作法を修得する。

授業の到達目標

- 1. 閉塞性睡眠時無呼吸症(Obstructive Sleep Apnea: OSA)の症状について説明できる。
- 2. OSA の治療法について説明できる。
- 3. OSA に用いるスリープスプリント(Oral Appliance: OA)の製作法について説明でき、装置を製作する。
- 4. 顎関節症の症状について説明できる。
- 5. 顎関節症の治療法について説明できる。
- 6. 顎関節症に用いるスプリントの製作法について説明でき、装置を製作する。

授業計画

| | - | | | | | | |
|-------|------|-------------|------|---------------|---------------------|--------|---------|
| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
| 1–2 | 5/7 | 09:00-10:50 | 第3講義 | 顎関節症の症状 | 顎関節症の臨床症状 顎関節症 | 西山 暁 | 到達目標: 4 |
| | | | 室 | | の原因 | | |
| 3-4 | 5/12 | 09:00-10:50 | 第3講義 | 閉塞性睡眠時無呼吸症 | OSA の医学的背景 医科との連 | 秀島 雅之 | 到達目標:1 |
| | | | 室 | (OSA)とは | 携と歯科での対応 | | |
| 5–6 | 5/14 | 09:00-10:50 | 第3講義 | 顎関節症の治療法 | 顎関節症の治療法 スタビライゼ | 西山 暁 | 到達目標:5 |
| | | | 室 | | イションスプリント その他のスプ | | |
| | | | | | リント | | |
| 7–9 | 5/19 | 09:00-11:50 | 第3講義 | OSA の治療法 | OSA の治療法 OSA 用スプリント | 秀島 雅之 | 到達目標:2 |
| | | | 室 | | (OA)の種類と材料, 設計 | | |
| 10-12 | 5/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 顎関節症に用いるスプ | スタピライゼイションスプリントの | 西山 暁 上 | 到達目標:6 |
| | | | 室 総合 | リントの製作法 | 製作 スタピライゼイションスプリ | 條 真吾 | |
| | | | 実習室 | | ントの調整 | | |
| 13-15 | 5/26 | 09:00-11:50 | 第2実習 | OSA 用 OA の製作法 | OA 作製に用いる模型 OA の印 | 秀島 雅之 | 到達目標:3 |
| | | | 室 総合 | | 象, 咬合採得 OA の設計と製作・ | 上條 真吾 | |
| | | | 実習室 | | 調整法 | | |

授業方法

講義、実習

成績評価の方法

- ・筆記試験(80点)、製作物(OSA用OA:10点、顎関節症用スプリント:10点)で総括的に評価する。
- ・期末試験が6割未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況と授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3分の2以上の出席

参考書

写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方/鱒見進一,皆木省吾 編著、鱒見,進一,1956-,皆木,省吾,:ヒ

ョーロン・パブリッシャーズ, 2011

歯科技工実習/全国歯科技工士教育協議会編;末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬 一彦,: 医歯薬出版, 2017 いびき!?眠気!?睡眠時無呼吸症を疑ったら: 周辺疾患も含めた、検査、診断から治療法までの診療の実践/宮崎泰成, 秀島雅之 編宮崎, 泰成,秀島, 雅之,: 羊土社, 2018

参考書2は第2版がでています。(2019年3月)睡眠時無呼吸症のための口腔内装置、160-165

備考

担当教員のオフィスアワー

秀島雅之 講師 メールにて日時を相談 m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp

西山 暁 講師 メールにて日時を相談 anishi.tmj@tmd.ac.jp

| 時間割番号 | 023547 | | | | | | | |
|----------|---------------|---|---|-----|---|--|--|--|
| 科目名 | CAD/CAM システムコ | CAD/CAM システム工学実習 科目 ID DE-454700-E | | | | | | |
| 担当教員 | 土田 優美, 上條 真 | 土田 優美, 上條 真吾[TSUCHIDA Yuumi, KAMIJO SHINGO] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度前期 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 1 | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

科目名:CAD/CAMシステム工学実習

時間数:45 時間 必修 1 単位

授業形態:実習

主な講義場所

- 2号館4階 CAD/CAM 実習室、第2実習室
- 2号館4階 CAD/CAM 演習室

授業の目的、概要等

CAD/CAM 機器による補綴装置製作の流れを理解し、オーダー作成から実際の補綴装置製作に関する知識及び技術について修得する。

授業の到達目標

- 1. 歯科用 CAD/CAM システムの基礎知識を説明できる。
- 2. オーダーが作成できる。
- 3. 模型をスキャンできる。
- 4. クラウン・ブリッジデータを作成できる。
- 5. インプラントデータを作成できる。
- 6. パーシャルデンチャーのメタルフレームを設計できる。
- 7. 総義歯を設計できる。
- 8. STL データを出力できる。
- 9. CAM 工程の基本操作を説明できる。
- 10. 歯科用 CAD/CAM システムの一連の操作を行える。
- 11. ハンディ型 3D スキャナによるスキャンを行える。
- 12. ハプティックデバイスを用いた3Dモデリングを実施できる。
- 13. 三次元積層造形を行える。

| | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|------|-------------|--------|----------------|--------------------|--------|--------------|
| 1–3 | 4/13 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 歯科用 CAD/CAM シス | 歯科用 CAD/CAM システムの基 | 土田 優美 | 到達目標 1 |
| | | | M 演習室 | テムの概要 | 礎と可能性、 一般用三次元装置 | 池田 正臣, | |
| | | | | | の説明 | 上條真吾, | |
| | | | | | | 瓜生 博伺 | |
| 4–6 | 4/20 | 13:00-15:50 | CAD/CA | CAD 工程 1 | クラウンデータの作成、 ブリッジ | 土田 優美 | 到達目標 2-4 |
| | | | M 演習室 | | データの作成 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 瓜生 博伺, | |
| | | | | | | 平澤龍一 | |
| 7–9 | 4/27 | 13:00-15:50 | CAD/CA | CAD 工程 2 | インプラントデータの作成、 PD, | 土田 優美 | 到達目標 2,3,5-7 |
| | | | M 演習室 | | FD データの作成 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 瓜生 博伺, | |
| | | | | | | 平澤 龍一 | |
| 10-12 | 5/11 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 3D スキャニング 1 3D | ハンディ型3Dスキャナーの操作、 | 土田 優美 | 到達目標:11,12 |
| | | | M 演習室 | 触感モデリング 1 | ハプティックデバイスの操作 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 渡邉 健一 | |

| 13–15 | 5/18 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 3D スキャニング 2 3D | ハンディ型3Dスキャナーの操作、 | 土田 優美 | 到達目標:11,12 |
|-------|------|-------------|--------|----------------|-------------------|--------|------------|
| | | | M 演習室 | 触感モデリング 2 | ハプティックデバイスの操作 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 渡邉 健一 | |
| 16-18 | 5/25 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 松風 D2000 | クラウン、ブリッジ、インプラントア | 土田 優美 | 到達目標:1-6 |
| | | | M 演習室 | | バットメント、PD データの作成 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 青木 亮一 | |
| 19–21 | 6/1 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 松風 D2000 | CAM ソフトの操作、 補綴装置の | 土田 優美 | 到達目標:8,9 |
| | | | M 演習室 | | 切削加工 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 22-24 | 6/8 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 三次元積層造形 | 3D プリンタを用いた造形 | 土田 優美 | 到達目標:13 |
| | | | M 演習室 | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 25-27 | 6/15 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 課題演習1 | 課題データの作成 | 土田 優美 | 到達目標:1-10 |
| | | | M 演習室 | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 28-30 | 6/22 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 課題演習 2 | 課題データの作成 | 土田 優美 | 到達目標:1-10 |
| | | | M 演習室 | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 31-33 | 6/29 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 課題演習3 | 課題データの作成 | 土田 優美 | 到達目標:1-10 |
| | | | M 演習室 | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 34–36 | 7/6 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 課題演習 4 | 課題データの作成 | 土田 優美 | 到達目標:1-10 |
| | | | M 演習室 | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |
| 37–39 | 7/14 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 3,4 年生合同実習 | CAD による補綴デザイン、 ハン | 土田 優美 | 到達目標:1-12 |
| | | | M 演習室 | | ディ型 3D スキャナーの操作、 | 池田 正臣, | |
| | | | | | 3D 触感モデリング | 上條 真吾 | |
| 40-42 | 7/20 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 3,4 年生合同実習 | CAD による補綴デザイン、 ハン | 土田 優美 | 到達目標:1-12 |
| | | | M 演習室 | | ディ型 3D スキャナーの操作、 | 池田 正臣, | |
| | | | | | 3D 触感モデリング | 上條 真吾 | |
| 43-45 | 7/21 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 3,4 年生合同実習 | 3年生:三次元積層造形、4年 | 土田 優美 | 到達目標:1-12 |
| | | | M 演習室 | | 生:課題データ提出 | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾 | |

- ・提出課題データの評価(上顎 Cr 20 点、下顎 Cr 20 点、Br 30 点、PD 20 点)、手術支援モデル 10 点
- ・出席状況、実習態度を評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー/日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦,宮崎隆 編:医歯薬出版,2019

履修上の注意事項

備考

実習

| 時間割番号 | 023553 | | | | | | | | |
|----------|--------------|--|---|-----|----|--|--|--|--|
| 科目名 | 再建工学包括臨床実 | 再建工学包括臨床実習Ⅱ 科目ID DE-475300-E | | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾, 池田 正臣 | 上條 真吾, 池田 正臣, 塩沢 真穂[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度通年 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 10 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

科目名:再建工学包括臨床実習Ⅱ

時間数:450時間 授業形態:実習、演習

主な講義場所

第2実習室、総合実習室、ポーセレン室、硬質レジン室、CAD/CAM 演習室、CAD/CAM 実習室,第3講義室

授業の目的、概要等

患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる、各種補綴装置および矯正装置等の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。

授業の到達目標

- 1. 医療人としての倫理観を身につける。
- 2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。
- 3. 臨床実習に必要となる基本的歯科技工技術を確実に身につける。
- 4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。
- 5. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案できる。
- 6. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業ができる。
- 7. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作する。
- 8. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践する。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|-------|-----|-------------|------|-----------------|-----------------|--------|----------|
| 1-3 | 4/6 | 09:00-11:50 | 第3講義 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習オリエンテーション、ケ | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 第2 | Phase IV | 一ス配当、臨床実習 | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室, | | | | |
| | | | 総合実習 | | | | |
| | | | 室 | | | | |
| 4–6 | 4/6 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 7–9 | 4/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 10-12 | 4/7 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 13-15 | 4/8 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 16-18 | 4/8 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | _ | |
| 19–21 | 4/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |

| r p | , | | | | | | |
|----------------|----------|-------------|-------|-----------------------|--------------|------------------------|---------------|
| 22-24 | 4/9 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 25-27 | 4/13 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 28-30 | 4/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| | | | 実習室 | . 1.65521 | | 754 114 | |
| 31-33 | 4/14 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | 到達目標:1-7 |
| 01 00 | 7/17 | 10.00 10.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | 少是山脉.1 / |
| | | | 実習室 | THUSCIV | | | |
| 34-36 | 4/15 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 34 30 | 4/13 | 09.00 11.00 | 室. 総合 | 円建工子已行品が大自 PhaseIV | 阿外 夫目 | 工候 兵亡, 池田 正臣 | 到连口徐.17 |
| | | | | PhaseIV | | 池田 正足 | |
| 07.00 | A /4 F | 1000 1550 | 第2実習 | 五油工学与红华中中的 | 防亡中羽 | L版 古王 | 五小幸口+声 4 3 |
| 37–39 | 4/15 | 13:00-15:50 | | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室、総合 | PhaseIV | |) 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 40–42 | 4/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 」到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 43–45 | 4/16 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 46–48 | 4/20 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 49–51 | 4/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 52-54 | 4/21 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | <u> </u> | | 実習室 | | | | |
| 55-57 | 4/22 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 58-60 | 4/22 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 61-63 | 4/23 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 64-66 | 4/23 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 67-69 | 4/27 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | - | |
| | | | | | | | |
| <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> | | l . | L | <u> </u> | <u> </u> |

| 70-72 | 4/28 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
|----------|-------|-------------|-------------------|--------------------|---------------------|-------------------|---|
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 73-75 | 4/28 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 76-78 | 4/30 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1−7 |
| 70 70 | 1, 00 | 00.00 11.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | JACOBA I |
| | | | 実習室 | THOSELY | | 75H HH | |
| 79-81 | 4/30 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| /3 61 | 4/ 30 | 13.00 13.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 工候 英品, 池田 正臣 | 到廷口(赤.17 |
| | | | 実習室 | FIIGSCIV | | | |
| 00 | F /7 | 11.00 11.50 | | 五油工尚包红吃广 安丽 | 吃 | 上校 古五 | 四十一 1 7 |
| 82 | 5/7 | 11:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | g6-1-1-77 | | T.D. T. |
| 83–85 | 5/7 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 86–88 | 5/11 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 89 | 5/12 | 11:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 90-92 | 5/12 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 93-95 | 5/13 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 96 | 5/14 | 11:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 97–99 | 5/14 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 100-1 | 5/18 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 02 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 103-1 | 5/19 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 05 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 106-1 | 5/20 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1−7 |
| 08 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 109-1 | 5/25 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田 正臣. | 到達目標:1-7 |
| 103 1 | 3, 20 | 15.50 17.00 | 室総合 | PhaseIV | | 上條真吾, | ンスニロ 「赤・・・/ |
| | | | 実習室 | . 10002 | □ / | 土田優美 | |
| | | | \\ \begin{align*} | | | 工山 收入 | |
| <u> </u> | | <u> </u> | <u> </u> | | | <u> </u> | <u></u> |

| ······ | | Т | | I | T | T | T |
|--------|-------|-------------|--------------|------------------------------|---------------------|-------------------|--------------|
| 111-1 | 5/26 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 13 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 114–1 | 5/27 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 16 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 117-1 | 5/28 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 19 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 120-1 | 6/1 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田 正臣, | 到達目標:1-7 |
| 21 | | | 室 総合 | Phase IV | 習) | 上條真吾, | |
| | | | 実習室 | | | 土田優美 | |
| 122-1 | 6/2 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 24 | 0, L | 00.00 11.00 | 室、総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | ZIZZI JK. 1 |
| 24 | | | 実習室 | THASCIV | | /СШ ТЕ | |
| 125–1 | 6/2 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | |
| 27 | U/Z | 13.00-13:30 | 第2美音 室 総合 | 再建工字包括临床美音 PhaseIV | 四小大日 | 上條 具音, 池田 正臣 | 判廷口信: -/ |
| 21 | | | | Friasetv | | 一 一 | |
| 100 : | 6 /6 | 00.00 1:55 | 実習室 | 工油工光与 上示: | rkettan | LW ±- | 50未□+≖ · - |
| 128-1 | 6/3 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 30 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 131-1 | 6/4 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 33 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 134–1 | 6/8 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田 正臣, | 到達目標:1-7 |
| 35 | | | 室 総合 | Phase IV | 習) | 上條 真吾, | |
| | | | 実習室 | | | 土田 優美 | |
| 136-1 | 6/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 38 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 139-1 | 6/9 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 41 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 142-1 | 6/10 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 44 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 145–1 | 6/11 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 47 | J/ 11 | 00.00 11.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 工候 異古, 池田 正臣 | ンルエロ1ホ・1 / |
| 71 | | | 実習室 | 1 HGGCIV | | /5H LE | |
| 140 1 | 6/15 | 12.00 1450 | | 百净十兴与长吃广中羽 | 防止生羽 /De Lの公司 OAD 中 | ᇔᆱᇎᆖ | 四次 中 4 7 |
| 148-1 | 6/15 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田正臣, | 到達目標:1-7 |
| 49 | | | 室総合 | PhaseIV | 習) | 上條真吾, | |
| .=. | | | 実習室 | | r ttt | 土田優美 | T-10+ |
| 150-1 | 6/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 52 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 153–1 | 6/16 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 55 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | 1 | | | | | |

| Y | | ····· | | | | | |
|-------|-------------|-------------|------|------------------|---------------------|-------------------|---|
| 156-1 | 6/17 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 58 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 159-1 | 6/17 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 61 | -, | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| | | | 実習室 | 1 Hasciv | | | |
| 100.1 | 0.440 | 00.00 11.50 | | | rt+++122 | 1 /kg === | 不小去口上来, |
| 162-1 | 6/18 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 64 | | | 室,総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 165–1 | 6/22 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田 正臣, | 到達目標:1-7 |
| 66 | | | 室 総合 | PhaseIV | 習) | 上條 真吾, | |
| | | | 実習室 | | | 土田 優美 | |
| 167-1 | 6/23 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 69 | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 170-1 | 6/23 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| | 0/23 | 13.00-13:00 | | | 四小大日 | | 判廷口标: I / |
| 72 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 173-1 | 6/24 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 医歯学融合教育準備 | 大木 明子 | 到達目標:1-7 |
| 75 | | | 室 総合 | PhaseIV | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 176-1 | 6/24 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 78 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 179–1 | 6/25 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1−7 |
| 81 | -, | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| 0. | | | 実習室 | 1110011 | | 754 114 | |
| 100 1 | 6 /06 | 00.00 11.50 | | 再建工学包括臨床実習 | 医歯学融合教育準備 | ++ 007 | 四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 |
| 182-1 | 6/26 | 09:00-11:50 | 第2実習 | | | 大木 明子 | 到達目標:1-7 |
| 84 | | | 室、総合 | PhaseIV | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 185–1 | 6/29 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 (D6 との合同 CAD 実 | 池田 正臣, | 到達目標:1-7 |
| 86 | | | 室 総合 | PhaseIV | 習) | 上條 真吾, | |
| | | | 実習室 | | | 土田 優美 | |
| 187-1 | 6/30 | 09:00-15:50 | 鈴木章夫 | 再建工学包括臨床実習 | 医歯学融合教育 (チーム医療入 | 大木 明子 | 到達目標:1-7 |
| 92 | | | 記念講堂 | PhaseIV | 門 | | |
| 193-1 | 7/1 | 09:00-15:50 | 鈴木章夫 | 再建工学包括臨床実習 | 医歯学融合教育 (チーム医療入 | 大木 明子 | 到達目標:1-7 |
| 98 | | | 記念講堂 | PhaseIV | 門 | | |
| 199-2 | 7/2 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 01 | ,,,_ | 25.50 11.00 | 室、総合 | PhaseIV | | 上版 美品, 池田 正臣 | - A |
| | | | | 1 HGGCIV | | /CH 프론 | |
| 600 - | - /- | 1000 1:= | 実習室 | 工法一举与 上示: | (左) | LW ±- | 不心去口上来 4 - |
| 202-2 | 7/6 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 03 | | | 室、総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 204–2 | 7/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-7 |
| 06 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 207–2 | 7/7 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 09 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| L.L | L | L | | <u> </u> | <u> </u> | L | |

| r <u></u> | | | | | | | |
|-----------|-------|-------------|------|-----------------------|----------------|-------------------|--------------|
| 210-2 | 7/8 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 12 | | | 室、総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 213-2 | 7/8 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 15 | ., - | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| 10 | | | 実習室 | Triasciv | | | |
| 010.0 | 7 /0 | 00.00 11.50 | | 王冲工兴力红烁广中 羽 | 昨 中央 33 | | 7小去口+布 4 7 |
| 216–2 | 7/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 18 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 219–2 | 7/13 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 21 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 222-2 | 7/13 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 23 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 224-2 | 7/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 26 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 227–2 | 7/15 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 29 | 77 10 | 00.00 11.00 | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | JACO IX. 1 |
| 23 | | | 実習室 | Friasciv | | | |
| 000.0 | 7/15 | 1000 1550 | | 五油工尚包红纸广 字羽 | 吃 | 上校 古玉 | 五小去口+西 4 7 |
| 230-2 | 7/15 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 32 | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 233–2 | 7/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 35 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 236 | 7/16 | 13:00-13:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 237–2 | 7/20 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 38 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 239 | 7/21 | 11:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | · _ · — _ | |
| 240-2 | 7/22 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 42 | 1/22 | 00.00 11.00 | 室 総合 | 中连工子也指端水关自 PhaseIV | | 工味 吳吉, 池田 正臣 | 到走口标。17 |
| 74 | | | 実習室 | I HGGCIV | | | |
| 040.0 | 7 /00 | 10.00 15.50 | | 市油工学与北连广中型 | 防止中羽 | L 攸 古王 | 五小幸口+亜 4 7 |
| 243-2 | 7/22 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 45 | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 246–2 | 10/5 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 48 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 249-2 | 10/5 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 51 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |
| ll | L | 1 | l | I | <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> |

| r p | | | | | | | |
|----------------|-------|-------------|------|-----------------|--|-------------------|---------------|
| 252-2 | 10/6 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 54 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 255-2 | 10/6 | 13:00-15:50 | 第2実習 | | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 57 | 10,0 | 10.00 | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | ZIZZI IX. · · |
|] 37 | | | 実習室 | Friasciv | | | |
| | | | | | ###################################### | 1 th +- | T-0-1 |
| 258–2 | 10/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 60 | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 261-2 | 10/7 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 62 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 263-2 | 10/13 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 65 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 266-2 | 10/13 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | 到達目標:1-7 |
| | 10/13 | 13.00 13.30 | 室 総合 | 1 | | 工候 異古, 池田 正臣 | 到连口镖.17 |
| 68 | | | | PhaseIV | | 池田 正足 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 269–2 | 10/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 71 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 272-2 | 10/14 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 73 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 274–2 | 10/19 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 76 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 277-2 | 10/19 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | 到達目標:1-7 |
| 79 | 10/13 | 13.00 13.30 | | PhaseIV | | 工候 異日, 池田 正臣 | 到连口1东.17 |
| /9 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正足 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 280–2 | 10/20 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 82 | | | 室総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 283-2 | 10/20 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 85 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 286-2 | 10/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 88 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 289-2 | 10/21 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | 10/21 | 10.00 14.00 | | | | | 判走口1示. □ / |
| 90 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | (F | | T-0+ |
| 291–2 | 10/26 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 93 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 294–2 | 10/26 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 96 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |
| l L | L | l | l | 1 | <u> </u> | l | |

| | | r | | T | T | T | T |
|-------|---------|-------------|-------------|------------------------|---------------|-------------------|---------------|
| 297–2 | 10/27 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 99 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 300-3 | 10/27 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 02 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 303-3 | 10/28 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | |
| 05 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 306-3 | 10/28 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | |
| 07 | . 0, 20 | 10.00 | 室総合 | PhaseIV | PHILIP CL | 池田正臣 | ZIZZI IX |
| • | | | 実習室 | | | 75 | |
| 308-3 | 11/2 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | 】 到達目標:1-7 |
| | 11/2 | 09.00 11.50 | 室. 総合 | | | | 到连口标.1-7 |
| 10 | | | | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| 011 - | 4.2 /= | 1000 1=== | 実習室 | 五7 4 一 2 | "传中中 羽 | | 7小夫口4年,一 |
| 311-3 | 11/2 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 13 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 314–3 | 11/4 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 16 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 317–3 | 11/4 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 18 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 319–3 | 11/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 21 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 322-3 | 11/9 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 24 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 325-3 | 11/10 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 27 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 328-3 | 11/10 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | |
| 30 | , 10 | 10.00 | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| 55 | | | 実習室 | | | عرعد بدرت, | |
| 331–3 | 11/11 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 331-3 | 11/11 | 09.00 11:00 | 室 総合 | 中建工子也指端不美百 PhaseIV | | 工候 其音, 池田 正臣 | エリメモ口伝。 l ¯ / |
| JJ | | | 主 総合 実習室 | I LIGOCTA | | | |
| 224.0 | 11/44 | 12.00 1450 | | 五净十兴与长吃产中型 | 施庄宝羽 | LI 古玉 | 五心去口+洒.4 っ |
| 334–3 | 11/11 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 35 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | (F | | T.0+= != |
| 336–3 | 11/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 38 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 339–3 | 11/16 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 41 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |

| | | · | I | T | Τ | T | T |
|-------------|--------|-------------|----------|-----------------------------|---------------|------------------------|--|
| 342–3 | 11/17 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 44 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 345–3 | 11/17 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾 | 到達目標:1-7 |
| 47 | | | 室,総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 348-3 | 11/18 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 50 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 351-3 | 11/18 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 52 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 353-3 | 11/25 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 55 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 356-3 | 11/25 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | → 到達目標:1-7 |
| 57 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 358-3 | 11/30 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | <u> </u> |
| 60 | , 50 | 1132 11.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| - | | | 実習室 | | | 754 114 | |
| 361-3 | 11/30 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | <u> </u> |
| 63 | 11, 00 | 10.00 10.00 | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | 2000 |
| 00 | | | 実習室 | T NGCCIV | | ,CH H. | |
| 364-3 | 12/1 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾。 | |
| 66 | 12/1 | 05.00 11.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 上版 英日, 池田 正臣 | 到连口标:17 |
| 00 | | | 実習室 | THESCIV | | | |
| 367–3 | 12/1 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | |
| 69 | 12/1 | 10.00 10.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | 到连口标.17 |
| 03 | | | 実習室 | Friasciv | | | |
| 270.2 | 10 /0 | 00.00 11.50 | | 五块工 尚 勾括吃 <u></u> 字羽 | | 上條真吾, | 四十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十 |
| 370–3 72 | 12/2 | 09:00-11:50 | 第2実習室 総合 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 工味 具音, 池田 正臣 | 到達目標:1-7 |
| 12 | | | | PhaseIV | | 池田正民 | |
| 070 - | 40 /- | 1000 1:== | 実習室 | -74-24-14-4-4-77 | 昨 古典33 | LW =- | 50去口+= · - |
| 373–3 | 12/2 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1−7 |
| 74 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | 4- 1 | | 実習室 | | (F | | T-10+1- |
| 375–3 | 12/3 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾 | 到達目標:1-7 |
| 77 | | | 室、総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 378–3 | 12/3 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 80 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 381–3 | 12/7 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 83 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 384-3 | 12/7 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 86 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |

| r | | | | | | | |
|---------------|-------|-------------|------|------------------------|----------------|-------------|--------------|
| 387–3 | 12/8 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 89 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 390-3 | 12/8 | 13:00-15:50 | 第2実習 | | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 92 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| 32 | | | 実習室 | Triasciv | | | |
| 200.0 | 10/0 | 00.00 11.50 | | 王冲工兴力红味内中 羽 | 昨 中央 33 | | 7小去口+布 4 7 |
| 393–3 | 12/9 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 95 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 396–3 | 12/9 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1−7 |
| 97 | | | 室,総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 398-4 | 12/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 00 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 401-4 | 12/14 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 03 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 404–4 | 12/15 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾. | 到達目標:1-7 |
| 06 | 12/10 | 03.00 11.00 | 室 総合 | PhaseIV | | 土は 美日, | 到廷山东.17 |
| 00 | | | 実習室 | Priasely | | 池田 正庄 | |
| 407.4 | 10/15 | 1000 1550 | | 三独一兴力红吃 中的 | 昨 中中33 | | 7小去口+布 4 7 |
| 407-4 | 12/15 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| 09 | | | 室 総合 | Phase IV | |) 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 410–4 | 12/16 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1−7 |
| 12 | | | 室,総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 413–4 | 12/16 | 13:00-14:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 14 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 415-4 | 12/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 17 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 418-4 | 12/21 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 20 | | | 室、総合 | PhaseIV | | 池田正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 421-4 | 12/22 | 09:00-11:50 | 第2実習 | | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1-7 |
| | 12/22 | 09.00-11:00 | | 再建工学包括臨床実習 Phone IV | 四小大日 | | 刘廷口标:17 |
| 23 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | 4 | 10.5 | 実習室 | | (F | | T0+D-T |
| 424–4 | 12/22 | 13:00-15:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條真吾, | 到達目標:1−7 |
| 26 | | | 室総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 427–4 | 1/12 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 29 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 430-4 | 1/13 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 32 | | | 室 総合 | PhaseIV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | | | | | | | |
| I.L | l | <u> </u> | L | | L | 1 | |

| 433-4 | 1/14 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
|-------|------|-------------|------|-----------------|------|--------|----------|
| 35 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 436-4 | 1/15 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 38 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 439-4 | 1/18 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 41 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 442-4 | 1/20 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 44 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 445–4 | 1/21 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 47 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 448-4 | 1/22 | 09:00-11:50 | 第2実習 | 再建工学包括臨床実習 | 臨床実習 | 上條 真吾, | 到達目標:1-7 |
| 50 | | | 室 総合 | Phase IV | | 池田 正臣 | |
| | | | 実習室 | | | | |

- ・臨床ケース(60 点)、患者別ケースレポート(30 点)、チーム医療評価(10 点)で総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 実技評価試験対策、国家試験対策の日程は別に定める。

備考

実習、演習

| 時間割番号 | 023556 | 023556 | | | | | | | | | |
|----------|--------------|----------------------------------|-----------------------|---------------|---|--|--|--|--|--|--|
| 科目名 | 卒業研究 Ⅱ | 产業研究 II 科目 ID DE-465600-Z | | | | | | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 大木 明- | 子,塩沢 真穂[AOKI KA | ZUHIRO, OKI MEIKO, SH | HIOZAWA Maho] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度通年 | 対象年次 | 4 | 単位数 | 3 | | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | | | |

時間数:90時間 授業形態:実習

主な講義場所

口腔保健工学専攻研究室、2号館3階 第3講義室

授業の目的、概要等

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。

授業の到達目標

- 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究 I で策定した研究計画に基づき研究を実施できる。
- 2. EBM の概念と研究者しての倫理観を理解する。
- 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。
- 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。
- 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。
- 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。
- 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。
- 8. 論文の抄録を英語で表現できる。
- 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|---|------|-------------|-------|--------|----------------|--------|-------------|
| 1 | 4/17 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会1回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標:1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 2 | 4/24 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会2回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標: 1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 3 | 5/1 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会3回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標:1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |

| r- r | · | <u> </u> | | T | T | T | |
|-----------------|------|-------------|--------------|----------------|--|--------|--------------|
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 4 | 5/8 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会4回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標: 1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾. | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| 5 | 5/15 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会 5 回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木和広 | 到達目標:1,2,7 |
| | 3/13 | 13.00 13.30 | システム | 1900法 5 国日 | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋英和 | 到连口1东. 1,2,7 |
| | | | | | 安は | | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田正臣 | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 6 | 5/22 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会6回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標:1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解集 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 7 | 5/29 | 13:00-13:50 | TV 会議 | 抄読会7回目 | 論文構成の理解と論文執筆に必 | 青木 和広, | 到達目標: 1,2,7 |
| | | | システム | | 要な論文情報の収集と理解 | 高橋 英和 | |
| | | | (遠隔授 | | | 大木 明子, | |
| | | | 業) | | | 池田正臣 | |
| | | | <i>3</i> (0) | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | | |
| 0.10 | C/F | 00.00 1150 | 佐の誰辛 | | ここでは こうしゅう しゅうしゅう しゅう | 岩崎直彦 | 五小辛口+亜 4 5 |
| 8–12 | 6/5 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木和広 | 到達目標:1-5 |
| | | | 室 | 実施 | 一夕収集 | 高橋英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 13-15 | 6/12 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | l | L | <u> </u> | l | | | 1 |

| [| <u> </u> | | | I | | u+ +- * | |
|---|----------|-------------|------|------------------|---------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| 16–20 | 6/19 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木和広 | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 21-23 | 6/25 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 24-26 | 6/26 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | 0, 20 | 10.00 | 室 | 実施 | 一夕の収集・整理・分析 | 高橋英和 | Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z Z |
| | | | _ | | 7 07 ICK 12 7 7 1/1 | 大木明子, | |
| | | | | | | 池田正臣 | |
| | | | | | | 上條真吾 | |
| | | | | | | 土味、兵亡, | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| 27–29 | 7/2 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木和広 | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木明子, | |
| | | | | | | 池田正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 30–34 | 7/3 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 35–37 | 7/9 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究計画に基づく研究の実施、デ | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 一タの収集・整理・分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | 1 | | | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 池田 正臣, 上條 真吾, | |
| | | | | | | 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美 | |
| | | | | | | 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 | |
| 38-42 | 7/10 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美 | 到達目標:1-7 |

| Y | | T | | | , | | , |
|----------------|-------|--------------|------|------------------|-----------------------|--------|--------------|
| | | | 室 | 実施 | 集·整理·分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 43-45 | 7/16 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 集·整理·分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 46-50 | 7/17 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| 10 00 | ,, ,, | 00.00 1 1.00 | 室 | 実施 | 集•整理•分析 | 高橋 英和 | ZAZII IX. I |
| | | | 포 | ~//E | 木 正生 ガル | 大木明子 | |
| | | | | | | 池田正臣 | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| 51-53 | 8/6 | 13:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 集·整理·分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 54–58 | 8/7 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 集·整理·分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 59-63 | 9/4 | 09:00-14:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広, | 到達目標:1-7 |
| | | | 室 | 実施 | 集·整理·分析 | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條真吾 | |
| | | | | | | 土田優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| 64-69 | 9/11 | 09:00-15:50 | 第3講義 | 研究計画の確認・研究 | 研究の継続実施、研究データの収 | 青木 和広 | 到達目標:1-7 |
| 37 03 | J/ 11 | 55.50 15.50 | 室 | 実施 | 集•整理•分析 | 高橋英和 | ンルエロ 1ホ・1 / |
| | | | 王 | 大心 | 木・正任・ハ忉 | | |
| <u> </u> | | <u> </u> | | | | 大木 明子, | |

| | | | | | | 池田 正臣, | |
|-------|-------|-------------|------|---------|---------|--------|-----------|
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 70-75 | 9/18 | 09:00-15:50 | 第3講義 | 中間発表準備 | 中間発表準備 | 青木 和広, | 到達目標:1-10 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 76-81 | 9/25 | 09:00-15:50 | 第3講義 | 中間発表 | 中間発表 | 青木 和広, | 到達目標:1-10 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 82-85 | 10/23 | 13:00-16:50 | 第3講義 | 研究成果報告会 | 研究成果報告会 | 青木 和広, | 到達目標:1-10 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |
| 86-91 | 1/15 | 09:00-15:50 | 第3講義 | 卒業研究発表会 | 卒業研究発表会 | 青木 和広, | 到達目標:1-10 |
| | | | 室 | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 上條 真吾, | |
| | | | | | | 土田 優美 | |
| | | | | | | 塩沢 真穂 | |
| | | | | | | 岩崎 直彦 | |

- ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。
- ・2020年10月23日に開催する研究成果報告会において最終発表に近い形で発表を行い、卒業論文完成に向かう。
- ・研究成果報告会における反省を踏まえ、2021年1月8日に開催する卒業研究発表会において最終的に研究をとりまとめた発表を行う。
- ・卒業研究発表会の発表は、口腔保健工学専攻全教員による評価を行う。
- ・単位認定(3 単位)は、研究成果報告会(10 点)と卒業研究発表会(70 点)のプレゼンテーションに対する教員評価(合計 80 点)と卒業研究論文の評価(20 点)、指導教員からの評価も加味して総合評価とする。
- ・各課題の WebClass 等への提出状況も評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。

備考

この科目はすべて実習となる。

| 時間割番号 | 023557 | | | | | | | |
|----------|----------------|---------------------------------------|-----|---|--|--|--|--|
| 科目名 | 卒業製作 | 卒業製作 科目 D DE-465700-Z | | | | | | |
| 担当教員 | 上條 真吾[KAMIJO S | 上條 真吾[KAMIJO SHINGO] | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度通年 | 対象年次 | 単位数 | 3 | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | |

科目名:卒業製作

時間数:135 時間 必修3単位

授業形態:実習

主な講義場所

2号館4階 第2実習室、総合実習室、重合鋳造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM実習室、2号館3階CAD/CAM演習室、第3講義室

授業の目的、概要等

各学生が歯科補綴装置に関するテーマを設定し、習得した知識および技術を応用して作品の製作およびプレゼンテーションを行う。

授業の到達目標

- 1.製作上に必要な情報を収集し、整理できる。
- 2.症例に応じた設計および補綴デザインを選択できる。
- 3.歯科技工に関する基本的知識および製作法を説明できる。
- 4.歯科技工の基礎技術を応用し製作する。
- 5. 対象者に合わせたプレゼンテーションを作成し、発表できる。

| 回 | 日付 | 時刻 | 講義室 | 授業題目 | 授業内容 | 担当教員 | 備考 |
|----------|------|-------------|--------|----------|-----------------|-------|----------|
| 1-3 | 5/29 | 09:00-11:50 | 第3講義 | 卒業製作の概要 | 実習内容説明 | 上條 真吾 | 到達目標:1 |
| | | | 室. | | | | |
| | | | CAD/CA | | | | |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 4–6 | 10/1 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 製作テーマの検討 | 症例検討、情報の収集、製作計画 | 上條 真吾 | 到達目標:1,2 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 7–9 | 10/1 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 製作テーマの検討 | 症例検討、情報の収集、製作計画 | 上條 真吾 | 到達目標:1,2 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 10-12 | 10/2 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 製作テーマの検討 | 製作計画報告、補綴デザイン、設 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | 計 | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 13–15 | 10/2 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 製作テーマの検討 | 製作計画報告、補綴デザイン、設 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | 計 | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室,総合 | | | | |
| <u> </u> | | | 実習室 | | | | |

| r- | г | T | I | | | | |
|----------------|-------|-------------|--------|----------|----------|-------|--|
| 16–18 | 10/8 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 19–21 | 10/8 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 22-24 | 10/15 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 25-27 | 10/15 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 28-30 | 10/16 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 31-33 | 10/16 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1−4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 34-36 | 10/22 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 37–39 | 10/22 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 40-42 | 10/23 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室,総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| IL | L | l | | <u> </u> | <u> </u> | | |

| r- | | Γ | | | | | |
|----------------|-------|-------------|-----------------|--|-----------------|---------|-------------------|
| 43–45 | 10/29 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室,総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 46-48 | 10/29 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室,総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 49–51 | 10/30 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 52-54 | 10/30 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室. | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 55–57 | 11/5 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 58-60 | 11/5 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | 4 | 00.00 1: | 実習室 | ************************************** | #1/ | 1 l/x ÷ | 701年 · · |
| 61-63 | 11/6 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| 04.00 | 11 /0 | 1000 1550 | 実習室 | 大 <u>*</u> *********************************** | 制化中国 | ᅡᄻᇂᅔᆍ | 조마추모 |
| 64–66 | 11/6 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M演習室 | | | | |
| | | | 第2実習室 総合 | | | | |
| | | | 全、総合 実習室 | | | | |
| 67-69 | 11/12 | 09:00-11:50 | | 太娄制 佐宝羽 | 制作宝羽 | L修 古五 | 平心支口/声.1_4 |
| 07-09 | 11/12 | 09:00-11:00 | CAD/CA M 演習室 | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 第2美音 室, 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| <u> </u> | | | 天白主 | | | | |

| r | | r | | r | | | |
|----------|-------|-------------|--------|--------|----------|-------|----------|
| 70-72 | 11/12 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 73-75 | 11/13 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 76-78 | 11/13 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 79–81 | 11/19 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 82-84 | 11/19 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 85–87 | 11/20 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1−4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 88-90 | 11/20 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1−4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 91–93 | 11/26 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1−4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 94-96 | 11/26 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1−4 |
| | | | M 演習室 | _ | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室、総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| <u> </u> | L | l | | | <u> </u> | | |

| | | | | | 4114-77 | 1.45 | T-10+ |
|-------|-------|-------------|--------|------------|------------|------------------|----------|
| 97–99 | 11/27 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 100-1 | 11/27 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 02 | | | M 演習室. | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 103-1 | 12/4 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 05 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 106-1 | 12/4 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 08 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 109-1 | 12/10 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 11 | | | M 演習室. | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 112-1 | 12/10 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 14 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 115–1 | 12/11 | 09:00-11:50 | CAD/CA | OH 卒研発表会参加 | OH 卒研発表会参加 | 上條 真吾 | OH 卒研発表会 |
| 17 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 118-1 | 12/11 | 13:00-15:50 | CAD/CA | OH 卒研発表会参加 | OH 卒研発表会参加 | 上條 真吾 | OH 卒研発表会 |
| 20 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 121-1 | 12/17 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
| 23 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| | L | L | · | · | <u> </u> | | ······ |

| 124-1 | 12/17 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 卒業製作実習 | 製作実習 | 上條 真吾 | 到達目標:1-4 |
|-------|-------|-------------|--------|------------|-----------------|--------|----------|
| 26 | | | M 演習室 | | | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 127-1 | 12/18 | 09:00-11:50 | CAD/CA | 作品の提出、発表用ス | 作品の提出、発表用スライドの作 | 上條 真吾 | 到達目標:1-5 |
| 29 | | | M 演習室 | ライドの作成 | 成 | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 130-1 | 12/18 | 13:00-15:50 | CAD/CA | 作品の提出、発表用ス | 作品の提出、発表用スライドの作 | 上條 真吾 | 到達目標:1-5 |
| 32 | | | M 演習室 | ライドの作成 | 成 | | |
| | | | 第2実習 | | | | |
| | | | 室 総合 | | | | |
| | | | 実習室 | | | | |
| 133-1 | 1/6 | 09:00-11:50 | 第1講義 | 卒業製作発表会 | 卒業製作発表会 | 上條 真吾, | 到達目標:5 |
| 35 | | | 室 | | | 大木 明子, | |
| | | | | | | 池田 正臣, | |
| | | | | | | 塩沢真穂 | |
| | | | | | | 岩崎直彦 | |
| | | | | | | 青木 和広, | |
| | | | | | | 高橋 英和 | |
| | | | | | | 土田 優美 | |

- ・製作作品 70 点、作品発表 30 点を総合的に判断し評価する。
- ・出席状況、実習態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

- ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。
- ・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。
- ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

履修上の注意事項

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

備考

実習、課題発表

| 時間割番号 | 023558 | | | | | | | | |
|----------|----------------|---|-----|------|-------------|--|--|--|--|
| 科目名 | 口腔保健工学エクスタ | ーンシップ | | 科目ID | DE-495800-Z | | | | |
| 担当教員 | 青木 和広, 高橋 英 | 青木 和広, 高橋 英和[AOKI KAZUHIRO, TAKAHASHI HIDEKAZU] | | | | | | | |
| 開講時期 | 2020 年度 1.5 通年 | 対象年次 | 3~4 | 単位数 | 1 | | | | |
| | (秋) | | | | | | | | |
| 実務経験のある教 | 該当する | | | | | | | | |
| 員による授業 | | | | | | | | | |

海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。

成績評価の方法

それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。

単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。

準備学習等についての具体的な指示

外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと

以下の履修上の注意事項に従うこと.

試験の受験資格

- 〇単位認定条件
- 1)海外研修奨励制度による研修プログラム
- (1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。

- (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修
- (3) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(4) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。

- (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)
- 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの)
- (1) 語学能力(英語)

語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。

(2) 研修特別コースの履修

研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める)

- (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修
- (4) 研修報告書の提出

日本語および英語(詳細は別に定める)

(5) 研修報告会における発表

研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う.

(6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(可以上)

履修上の注意事項

1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。